

第三十回衆議院議事速記錄第九號

大正二年三月十三日(水曜日)午後一時五分開議

議事日程 第十號 大正二年三月十三日

午後一時開議

第一 營業稅法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 第一讀會

第三 裁判所構成法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第四 判事及檢事ノ休職並判事ノ轉所ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會

第五 裁判所廢止及名稱變更ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會

第六 裁判所管轄區域ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會

第七 判事懲戒法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第八 地租條例中改正法律案(金尾毅藏君提出) 第一讀會

第九 通行稅法廢止法律案(關直彦君提出) 第一讀會

第十 石油消費稅法廢止法律案(增田義一君提出) 第一讀會

第十一 鹽專賣法廢止法律案(相島勘次郎君提出) 第一讀會

第十二 織物消費稅法中改正法律案(高木正年君提出) 第一讀會

第十三 營業稅法廢止法律案(增田義一君提出) 第一讀會

第十四 裁判所構成法中改正法律案(請願委員長提出) 第一讀會

第十五 辯護士法中改正法律案(請願委員長提出) 第一讀會

第十六 府縣制中改正法律案(大內暢三君提出) 第一讀會

第十七 輕便鐵道法中改正法律案(豐福泰造君提出) 第一讀會

第十八 衆議院議員選舉法中改正法律案(小泉又次郎君提出) 第一讀會

第十九 土地收用法中改正法律案(武市庫太郎君提出) 第一讀會

第二十 社寺境内地下戻ニ關スル法律案(福井三郎君提出) 第一讀會

第二十一 災害地方田地租免除ニ關スル法律案(案(森茂生君外) 第一讀會

第二十二 降電被害地地租免除ニ關スル法律案(案(春田祐清君外) 第一讀會

第二十三 刑法施行法中改正法律案(高木益太君提出) 第一讀會

第二十四 新瀉築港速成ニ關スル建議案(若杉喜三郎君提出) 第一讀會

○議長(大岡育造君) 諸般ノ報告ヲ致サセマス

(書記朗讀)

一 政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

營業稅法中改正法律案

一 議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

社寺境内地下戻ニ關スル法律案

提出者 福井三郎君 清室太郎君 野添宗三君

金尾毅藏君 福田又一君 森田小六郎君

高野金重君 齋藤隆夫君 恆松隆慶君

鐵道抵當法中改正法律案

提出者 三谷軌秀君

國民ノ政治的智徳涵養ニ關スル建議案

提出者 村松龜一郎君

高層氣象觀測所設置ニ關スル建議案

提出者 根本正君 戶狩權之助君

民事訴訟法施行條例中改正法律案

提出者 岡田榮君 安村竹松君 翠川鐵三君

國有土地森林原野下戻法中改正法律案

提出者 岡田泰藏君 高野金重君

一 議員ヨリ提出セラレタル質問主意書左ノ如シ

內閣ノ政綱ニ關スル質問

提出者 犬養毅君 尾崎行雄君 關直彦君

岡崎邦輔君 林毅陸君 石田仁太郎君

加瀬禮逸君 花井卓藏君 大藏書記官 鈴木繁

一 昨十二日山本内閣總理大臣ヨリ左ノ通牒ヲ受領セリ

大藏省所管事務政府委員被仰付

一 常任委員辭任ノ申出アリタル議員左ノ如シ

第三部選出決算委員 田中數之助君

(左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)

一 去十一日議長ニ於テ選定シタル委員左ノ如シ

辯護士法改正法律案

大島寬爾君 福岡精一君 石川甚作君

小出五郎君 岡田泰藏君 石田仁太郎君

福田又一君 國光五郎君 高野金重君

登録稅法中改正法律案

帆足 隼太郎君 村田 虎次郎君 堀内 啓治君
増田 穰三君 申本 康三君 岩岡 伊代治君
高木 益太郎君 小寺 謙吉君 狩野 雄一君

一所得稅法中改正法律案委員岡八君辭任ニ付其補闕トシテ町田忠治君ヲ議長ニ於テ指名セリ
一委員長及理事左ノ通り當選セラレタリ
辯護士法改正法律案委員會
委員長 岡田 泰藏君 理事 高野 金重君

○議長(大岡育造君) 會議ヲ開イテ御諮リヲ致シマス、唯今報告ノ常任委員辭任ノ申出ニ付テハ、之ヲ許可スルコトニ御異議ハゴザイマセヌカ

○議長(大岡育造君) 御異議ガアリマセヌカラ、之ヲ許可スルニ決シマシタ、其補闕ハ其部ニ於テ本日散會後補缺選舉ノ上御居アラシコトヲ望ミマス、日程第一、營業稅法中改正法律案ノ第一讀會ヲ開キマス

〔政府委員ハドウシテト呼フ者アリ〕

○議長(大岡育造君) 第一日程及第二ニ當ル責任者ガ出席致シテ居リマセヌカラ、次ノ第三ニ移ラウト思ヒマスガ、御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(大岡育造君) 日程第三乃至第七ハ、同一委員ニ付託シタル議案デアリマスカラ、一括シテ議題ト爲スニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(大岡育造君) 御異議ガアリマセヌカラ 裁判所構成法中改正法律案、判事及檢事ノ休職並判事ノ轉所ニ關スル法律案、裁判所廢止及名稱變更ニ關スル法律案、裁判所管轄區域ニ關スル法律案、判事懲戒法中改正法律案ヲ議題ト致シマス、委員長鳩澤總明君

第三 裁判所構成法中改正法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第四 判事及檢事ノ休職並判事轉所ニ關スル法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第五 裁判所廢止及名稱變更ニ關スル法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第六 裁判所管轄區域ニ關スル法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第七 判事懲戒法中改正法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

〔法學博士鳩澤總明君登壇〕

〔拍手起ル〕

○法學博士鳩澤總明君 諸君、裁判所構成法中改正法律案外四件ノ案ニ付キマシテ、委員會ノ經過ヲ報告致シマス、此五案ニ付キマシテハ、委員會ヲ開クコト二回、其第一回ニ於キマシテ大體ノ質問ヲ終ヘタノデアリマス、ソレカラ第二回ニ於キマシテ討論ニ移リマシテ、全部原案ノ通り可決ト云フコトニナッタノデアリマス、報告ハモウソレデ

澤山デアリマスケレドモ、尙モウ少シク詳シク申上ゲマスルト、第一ノ裁判所構成法中改正法律案ハ十七箇條カラ成テ居ルコトヲ改正案デアリマス、大體ノ趣意ハ裁判所ノ權限ヲ擴張スルト云フコト、ソレカラ今マデ控訴院ノ判事ガ五人デアリマシタノヲ三人ト改メルト云フコト、ソレカラ大審院ノ判事ガ七人デアッタノヲ五人ニ改メルト云フヤウナコト、ソレカラシテ司法大臣ガ裁判ノ事務上ニ必要ナル場合ニハ、控訴院又ハ大審院ノ總會ノ決議ニ依リマシテ、判事ノ轉所ヲ命ズルコトガ出來ルト云フヤウナ案等ヲ含レテ居ルコトデアリマシテ、是ハ民間多年ノ法曹ニ於キマシテハ希望致シテ居ルコトヲ改正案ニ係ラテ居ルデアリマス、即チ案ノ箇條ハ少ナイノデアリマスケレドモ、大體ニ於キマシテハ司法ノ刷新、或意味ニ於キマシテハ憲政擁護ニ當ルベキコトヲ大ナル案ニナッテ居リマス、此案ニ於キマシテ阪本君カラ致シマシテ本案ノ決議ヲ延期シヤウト云フ動議ガ出マシタガ、成立ニ至リマセヌデアリマシタ、ソレカラ高木君花井君等カラシテ十四條ノ二百圓ヲ五百圓ニ改メルト云フコトニ付キマシテ、高木君ハ二百圓ヲ三百圓ニ改メヤウ、斯ウ云フ消極的ノ修正、ソレカラ花井君ハ二百圓ヲ千圓ニ改メヤウト云フ積極的ノ修正ガ出マシタ、何レモ否決サレテ原案通りニナッタデアリマス、ソレカラ尙十六條ノ第二ニ變更シヤウト云フ高木君ノ案ガ出マシタガ、是モ否決ニナリマシテ、結局原案通り可決スルコトニナッタデアリマス、ソレカラ第二ノ判事及檢事ノ休職並判事ノ轉所ニ關スル法律案、是ハ三箇條カラ成テ居ル法案デアリマシテ、是ニ付キマシテハ委員會ニ於キマシテハ、現在ノ判事及檢事中二百三十二人ヲ限ッテ休職ヲ命ズルト云フ案デアルガ、是ハ憲法ニ抵觸スルヤウナコトハナイカ、斯ウ云フ質問ガアリマシタガ、憲法ニ抵觸スルコトハナイト云フ答辯ガアリマシタ、併ナガラ憲法ニ抵觸スルト云フ反對論モナカッタデアリマスカラシテ、是ニ對スル反駁ハナクテ、結局原案ハ討論ヲ用井ルコトナクシテ可決ニナッタ次第デアリマス、ソレカラ第三ノ裁判所廢止及名稱變更ニ關スル法律案、是ハ區裁判所ヲ二百二十八箇所廢止スルト云フ案ニナッテ居ルデアリマス、此内ニ於キマシテ九十五箇所ハ裁判所ノ實務ヲ執ッテ居ルデアリマスガ、第一ノ裁判所構成法改正ト云フコロカラシテ、ドウシテモ此裁判事務ヲ刷新、區裁判所判事ニハ成ベク適材ヲ採ル、サウシテ此裁判事務ヲ敏活ニシテ人權ノ發達ヲ圖ル、保護ヲ圖ルト云フコトニ對シマシテハ、斯様ナル廢止ヲセンケレバナラヌト云フコトニナッテ、二百二十八箇所ヲ廢止スルト云フコトニナッタデアリマス、併シ此場合ニ於キマシテモ登記所ト云フモノハ設ケテ、其事務ヲ取扱ハシムルト云フコトニナッテ居リマスカラシテ、大體人民ノ側カラ見マシテ不便ト云フモノハ餘リ澤山ハナイノデアアル、ト云フヤウナ政府ノ答辯デアリマシタ、ソレデモ修正案ガ土方君カラ出マシタガ、否決サレマシテ原案ガ可決ニナッタデアリマス、阪本君ハ本案ニ付キマシテモ特ニ延期ヲ主張致シマシタガ、其案モ成立シナカッタデアリマス、ソレデ結果原案ガ可決ト云フコトニナリマシタ、ソレカラ第四ノ裁判所管轄區域ニ關スル法律案、是ハ名前前ハ大變長イ案デアリマスケレドモ、箇條ハナイノデアリマス、唯裁判所管轄區域ヲ別表ノ通り定ムト云フダケデ、ソレカラ附則ガ二ツダケアルト云フ案デゴザイマス、是ハ全體ニ於キマシテ、原案ノ通り可決ニナッタデアリマス、ソレカラ最後ノ判事懲戒法中改正法律案、是ハ構成法ニ於キマシテ控訴院ノ判事ヲ三人トナシ、大審院ノ判事ヲ五人トスルト云フコトヲカラ、當然ニ變更ヲセンケレバナラヌト云フコトニナリマシタノデアリマス、此案ニ付キマシテハ少數意見モ出テ居ルヤウデアリマスカラ、ソレハ後刻報告ガアルデラウト思ヒマス

○土方千種君 委員會ニ於テ本員カラ……

○高木益太郎君 議長

○議長(大岡育造君) 土方君ニ許シマシタ

○土方千種君 構成法中ノ十四條ナラハ詳シク御説明ヲ承テ十分ゴザイマスガ、刑事ニ關スル事ニ付テハ尙一應承テ置ク方ガ宜カラウト思ヒマス

○法學博士鵜澤總明君 是ハドウデス、速記録ヲ御覽下スツラ、速記ノ方ガ詳シウゴザイマスガ、委員長ハ此位御免ヲ蒙リマス

○高木益太郎君 委員長ニ御尋ラスノデスガ、委員會ニ於テ判事ノ年齡ノ調査表ヲ提出ヲ望ムデアリマスガ、委員長ノ手許マデ司法省ガ提出ガアリマシタカ、ドウデアリマスガ

○法學博士鵜澤總明君 マダアリマセヌ

○議長(大岡育造君) 福田又一君

○高木益太郎君 少數意見ノ報告ガアリマス

○議長(大岡育造君) 少數意見ノ報告ガアリマスガ

○高木益太郎君 アリマス

○議長(大岡育造君) ヲレハ高木益太郎君

(拍手起ル)

○高木益太郎君 諸君、本案ニ於ケル委員會ニ於テ少數意見トシテ御報告ヲシナケレバナラヌコトニ付キマシテ簡單ニ御報告ヲ致シマス、委員ノ中ニ政府ニ對シテ先ツ裁判官ノ年齡ト云フモノニ付テハ調査ヲスル爲メニ、表出シテ貰ヒタイト云フコトヲ要求シマシタ、殊ニ此區裁判官ノ判事ノ青年ノ判事ガ日本ニ於テ多クアリマス、然ルニ區裁判官ノ年齡ト云フモノハ、一面ニ於テ親族相續養子後見ト云フヤウナル問題ニ付テ、直接關係ヲ持テ居ル場所デアリマスガ、花井君ノ御議論ノ如クニ、裁判官ノ陶汰シテ適材ヲ適所ニ置クト云フヤウナコトハ必要デアル、ドウ云フ位ノ年齡ノ人ヲ區裁判官トシテ適材ト云フ、又現在ニ於ケルコトコノ各裁判官ノ判事ノ年齡ト云フモノハ、又地方裁判官ノ判事ノ年齡ト云フモノハ、又控訴院ノ判事ノ年齡ト云フモノハ、又大審院ニ於ケル判事ノ年齡ト云フモノハ、又斯ウフ質問ヲ致シマシタ、是ハ歐羅巴各國何レノ裁判官モ裁判官ノ觀察ニ來ル人ニ向テハ、報告書ヲ渡シマスケレドモ、其報告書ヲ見マスニ付テ、必ず判事ノ年齡、少ナクモ平均年齡ト云フモノヲ示シテアルデアリマス、ソレ故ニ本案ノ討論ニ就テハ最下級ノ區裁判官ニ重大ナル權限ヲ與ヘルト云フコトニ就テ、世間カラ常識缺クテ云フ非難モ多クデアリマスガ、注意シマシタ、單ニ裁判官ガ法律ヲ學シタト云フデハイカス、社會的教育ヲ要スル孔子モ四十二ニシテ感ハズト云フコトヲ云ツテ居ルデアリマシテ、孔子ニシテ然リ——自分ニ感テ居テ他ノ人ノ裁判官トシテ云フコトハ出來ナイノデアルカラ、ドウ位ノ年輩デアルカト云フコトノ質問ノ政府委員ニ致シマシタコトガ、唯今委員長ノ言明スルコトニ據テ見マスル、マダソレ等ニ關スルコトコノ書類ハ委員會ヘモ御提出ガナク、唯今マデモ委員長ニ交付セラレヌト云フコトデス、甚ダ本案審議ノ上ニ於テ憂慮ニ堪ヘヌト信ズルデアリマス、而シテ此(一ノノ)「ト呼フ者アリ」少數意見トシテ提出致シマシタ第一ハ構成法ノ八十一條デアリマス、構成法八十一條ニ「檢事ハ如何ナル方法ヲ以テスルモ判事ノ裁判事務ニ干渉シ又ハ裁判事務ヲ取扱フコトヲ得ヌ」ト云フコトガ、構成法第三章「檢事」ト題スル項目ノ八十一條ニゴザイマス、此項目ノ次ヘ以テ參リマシテ第二項トシテ「檢事ハ司法省ノ行政官吏ヲ兼スルコトヲ得ヌ」斯ウ云フ條文ヲ設ケタイト云フノガ修正ノ一項目デアリマ

ス、是ハ司法省ト特ニ限リマシタノハ、檢事ノ中ニハ文部省ノ商業學校ノ教授ヲシタリ、何カシテ居ル人ガアリマスガ、他ノ行政官ハ差支ナイコトデアリマスケレドモ、司法省ノ行政官吏ヲ兼スルコト云フコトハ種々弊害ヲ生ズルデアリマス、是ハ本員等ノ一個ノ意見ナクシテ、全國ノ辯護士ガ會同致シテ此點ニ於テハ決議ガアルデアリマス、是ハ簡單デアリマスガ、其一節タケテ朗讀致シマス「司法行政官カ裁判ニ干渉シテ司法權ノ獨立ヲ害スルヲ防クタメニ司法省ノ民刑局長參事官等カ檢事ヲ兼任スルヲ得サル規定ヲ設クルコト、理由、司法大臣ハ裁判所及檢事局ヲ監督スルノ任アルハ官制ノ規定スル所ナリ司法大臣ノ屬僚タル局長參事官ニ充ツルニ檢事ヲ以テスルハ監督者ト被監督者ヲ同視スルモノ惡弊從テ生ズルハ論ヲ俟タズ檢事ハ大審院控訴院地方裁判所ヲ通シテ一體タリ檢事ヲシテ司法行政官タラシムルハ檢事ヲシテ判事ヲ監督セシムルモノナリ、現今刑罰ノ峻酷ナルモノアルハ判事ニシテ往々檢事ノ意向ヲ迎フルニ依ルモノトスル風評ナキニアラス判事ノ身分進級ヲ監督スル司法行政官吏ヲシテ檢事タラシムルハ檢事ノ昇級ハ之ヲ判事ニ比シテ甚ダ速カナルモノアリ、事實ノ如何ヲ問ハス斯ノ如キ弊風ノ生シ易キ制度ハ斷然之ヲ廢止セシムル司法權ノ獨立モ亦吾輩安心スルコト能ハサル所ナリ」斯ウ云フ理由ヲ以テマシテ日本辯護士協會ハ、檢事ハ司法省ノ行政官吏タルコトヲ兼スルコトハ出來ナイト云フ趣旨ノ決議ヲシテ居ルデアリマス、ソレハ檢事ハ御承知ノ通り一體不可分、上ハ大審院ノ檢事總長カラ下ハ區裁判官ノ檢事ニ至ルマデ、殘ラズ一團トナツテ度端ガキヲ握ルヤウナ工合ニ手ヲ皆引合シテ居ル、之ニ反シテ判事ノ方ハドウデアアルカト云フコト、判事ハ終身官官制ガ別々デアリマシテ、マルテ團體ト云フヤウナモノガナイデアリマスガ、勢ヒ此檢事ノ方カラシテ壓迫ヲ判事ニ加ヘテ、裁判ノ上ニ於テモ勿論甚ダシキニ至ツテハ保障ナドモ檢事ノ方ノ鼻息ヲ窺フ弊ガアル、豫審判事ガ檢事ガ反對スルカラ許サナイト云フノガアル、裁判ドコロデハナイ、保障ヲ決スルニモ一々檢事ノ鼻息ヲ窺フ餘リ免訴ナリ無罪ナリニスル、判事ハ檢事ノ方カラ運動ヲヤツテ休職サセタリ、轉免セシムルヤウナ弊害ト云フモノハ、過去ノ歴史ガ是ヲ證明シテ居ルデアリマス、サウシテ一面ハ民事局長刑事局長デアルガ、一面ハ大審院檢事デアル、都合ノ宜イコトニ司法省(飛込)屬僚トナツテ居ル、上ノ大臣ハ政黨ノ方ヘ御忙ガシコトデアアルカラシテ、實際司法省ノ提案ト云フモノハデス、要領ヲ得ラル、大臣ハアルケレドモ、何分御多忙デアアルカラ屬僚ガ總テ此案ヲ作テ居ル、是等ノ屬僚ト云フモノハ何カゴタ／＼ヤカマシイコトニナルト云フコト、豫審ニ於テ何カ割ラレルコトニナルト云フコト、一面大審院檢事ノ肩書ヲ持テ居ルカラ裁判官ノ方ヘ逃込ムト云フヤウナ工合ニ、避難所ガ出來テ居ル狀態デアル、ウコデ一面ハ檢事デアツテ、一面ハ民事局長刑事局長デアアルカラ、全國ノ民刑裁判官ヲ監督スルヤウナ工合デアル、隨ツテ司法權ノ獨立裁判ノ保障ト云フモノハ憲法地名前ダケアツテ、其實危險ナル狀態ニアルト云フハ殆ド專門ノ法曹社會ニ於テハ疑ハヌトコロノ事實デアル、夫故ニデス、此案ニ依ツテ、司法權ノ獨立ヲ保障シテ、裁判ハ天皇ノ名ニ依ツテ裁判ヲセラル、コトデアアルカラ、最も注意シ人權尊重ノ上ニ於テハ此ノ規定ヲ設クルト云フコトハ必要デアラウト存シマス、是ニ對シテ尊敬スル友人松田君カラシテ、是ハ官制極メベキコトデアルト云フ御論ガアリマシタ、併ナガラ官制極メベキコトヲ法律極メベキコトハ差支ナイノデアル、現ニ裁判官ノ構成法ノ上ニ於テ判事ニ關スルコトヲ規定シ、行政裁判法ノ中ニ行政裁判官所評定官ノコトヲ規定シテ居ルデアリマスガ、ソレハ官制極メベキコトデアルケレドモ、事カ重大デアルトキハ法律ヲ以テ極メルコトハ差支ナイ、現ニ構成法ニ於テ判事及檢事ニ關スルコトヲ、判事ニ就テハ六十七條以下ニ規定シテアル、檢事ニ就テハ七十九條以下ニ

ス、是ハ司法省ト特ニ限リマシタノハ、檢事ノ中ニハ文部省ノ商業學校ノ教授ヲシタリ、何カシテ居ル人ガアリマスガ、他ノ行政官ハ差支ナイコトデアリマスケレドモ、司法省ノ行政官吏ヲ兼スルコト云フコトハ種々弊害ヲ生ズルデアリマス、是ハ本員等ノ一個ノ意見ナクシテ、全國ノ辯護士ガ會同致シテ此點ニ於テハ決議ガアルデアリマス、是ハ簡單デアリマスガ、其一節タケテ朗讀致シマス「司法行政官カ裁判ニ干渉シテ司法權ノ獨立ヲ害スルヲ防クタメニ司法省ノ民刑局長參事官等カ檢事ヲ兼任スルヲ得サル規定ヲ設クルコト、理由、司法大臣ハ裁判所及檢事局ヲ監督スルノ任アルハ官制ノ規定スル所ナリ司法大臣ノ屬僚タル局長參事官ニ充ツルニ檢事ヲ以テスルハ監督者ト被監督者ヲ同視スルモノ惡弊從テ生ズルハ論ヲ俟タズ檢事ハ大審院控訴院地方裁判所ヲ通シテ一體タリ檢事ヲシテ司法行政官タラシムルハ檢事ヲシテ判事ヲ監督セシムルモノナリ、現今刑罰ノ峻酷ナルモノアルハ判事ニシテ往々檢事ノ意向ヲ迎フルニ依ルモノトスル風評ナキニアラス判事ノ身分進級ヲ監督スル司法行政官吏ヲシテ檢事タラシムルハ檢事ノ昇級ハ之ヲ判事ニ比シテ甚ダ速カナルモノアリ、事實ノ如何ヲ問ハス斯ノ如キ弊風ノ生シ易キ制度ハ斷然之ヲ廢止セシムル司法權ノ獨立モ亦吾輩安心スルコト能ハサル所ナリ」斯ウ云フ理由ヲ以テマシテ日本辯護士協會ハ、檢事ハ司法省ノ行政官吏タルコトヲ兼スルコトハ出來ナイト云フ趣旨ノ決議ヲシテ居ルデアリマス、ソレハ檢事ハ御承知ノ通り一體不可分、上ハ大審院ノ檢事總長カラ下ハ區裁判官ノ檢事ニ至ルマデ、殘ラズ一團トナツテ度端ガキヲ握ルヤウナ工合ニ手ヲ皆引合シテ居ル、之ニ反シテ判事ノ方ハドウデアアルカト云フコト、判事ハ終身官官制ガ別々デアリマシテ、マルテ團體ト云フヤウナモノガナイデアリマスガ、勢ヒ此檢事ノ方カラシテ壓迫ヲ判事ニ加ヘテ、裁判ノ上ニ於テモ勿論甚ダシキニ至ツテハ保障ナドモ檢事ノ方ノ鼻息ヲ窺フ弊ガアル、豫審判事ガ檢事ガ反對スルカラ許サナイト云フノガアル、裁判ドコロデハナイ、保障ヲ決スルニモ一々檢事ノ鼻息ヲ窺フ餘リ免訴ナリ無罪ナリニスル、判事ハ檢事ノ方カラ運動ヲヤツテ休職サセタリ、轉免セシムルヤウナ弊害ト云フモノハ、過去ノ歴史ガ是ヲ證明シテ居ルデアリマス、サウシテ一面ハ民事局長刑事局長デアルガ、一面ハ大審院檢事デアル、都合ノ宜イコトニ司法省(飛込)屬僚トナツテ居ル、上ノ大臣ハ政黨ノ方ヘ御忙ガシコトデアアルカラシテ、實際司法省ノ提案ト云フモノハデス、要領ヲ得ラル、大臣ハアルケレドモ、何分御多忙デアアルカラ屬僚ガ總テ此案ヲ作テ居ル、是等ノ屬僚ト云フモノハ何カゴタ／＼ヤカマシイコトニナルト云フコト、豫審ニ於テ何カ割ラレルコトニナルト云フコト、一面大審院檢事ノ肩書ヲ持テ居ルカラ裁判官ノ方ヘ逃込ムト云フヤウナ工合ニ、避難所ガ出來テ居ル狀態デアル、ウコデ一面ハ檢事デアツテ、一面ハ民事局長刑事局長デアアルカラ、全國ノ民刑裁判官ヲ監督スルヤウナ工合デアル、隨ツテ司法權ノ獨立裁判ノ保障ト云フモノハ憲法地名前ダケアツテ、其實危險ナル狀態ニアルト云フハ殆ド專門ノ法曹社會ニ於テハ疑ハヌトコロノ事實デアル、夫故ニデス、此案ニ依ツテ、司法權ノ獨立ヲ保障シテ、裁判ハ天皇ノ名ニ依ツテ裁判ヲセラル、コトデアアルカラ、最も注意シ人權尊重ノ上ニ於テハ此ノ規定ヲ設クルト云フコトハ必要デアラウト存シマス、是ニ對シテ尊敬スル友人松田君カラシテ、是ハ官制極メベキコトデアルト云フ御論ガアリマシタ、併ナガラ官制極メベキコトヲ法律極メベキコトハ差支ナイノデアル、現ニ裁判官ノ構成法ノ上ニ於テ判事ニ關スルコトヲ規定シ、行政裁判法ノ中ニ行政裁判官所評定官ノコトヲ規定シテ居ルデアリマスガ、ソレハ官制極メベキコトデアルケレドモ、事カ重大デアルトキハ法律ヲ以テ極メルコトハ差支ナイ、現ニ構成法ニ於テ判事及檢事ニ關スルコトヲ、判事ニ就テハ六十七條以下ニ規定シテアル、檢事ニ就テハ七十九條以下ニ

規定シテアル、決シテ法律ヲ以テ極メタカラト云フテ差支ナイ次第アル、殊ニ判事ニ就テハ俸給アリ又金錢ノ利益ヲ目的トスル公務ニ就クコトハ出來ヌトカ、議會ノ議員ニナレヌトカ、商業ヲ營ムコトハナラヌトカ、種々禁制ガアルカラ檢察ニ就テモ司法省ノ行政官吏トナルコトハ、司法權ノ獨立ヲ侵害スルノ危險ガアルカラ、此ノ條文ヲ設クルコトハ決シテ差支ナイコトアラウト考ヘル、併ナガラ此條項ハ少數ニシテ否決セラレタト云フコトハ甚ダ遺憾アルカラ、諸君ハ此點ニ於テハ委員會ノ議決如何ニ拘ラズ、充分御賛成アラント願ヒタイノアル、ソレカラ第二ハ區裁判所ノ權限擴張デアリマス、是ハ從來ノ規則ニ據リマスル、民事ハ元ト百圓デットモ、先年二百圓マデ裁判權ヲ持シコトニシ、刑事ハ細カキモノニ就テハ例外デアッタケレドモ、原則シテハ一年以下ノ有期懲役又ハ禁錮又ハ二百圓以下ノ罰金デットモ區裁判所ノ判事ガ裁判スルコト云フコトニナッテ居ルノデアリマス、之ヲ今度司法省ノ提案ニ依ルト云フコト、一年以下ト云フモノヲバ、何等ノ制限ナク、有期懲役又ハ禁錮ト云フコトニ直サレタ、有期懲役又ハ禁錮ト云フコトニ直スト、總テ裁判所ノ判事ガ豫審ヲ經ザルモノニ付テハ死刑ト無期徒刑ヲ除イタモノニ付テハ、總テ裁判所ノ判事ノ權利ヲ持シコトニナル、ソレカラ今マデハ二百圓以下ノ罰金ハ言渡スコトガ出來タノ、今度ノ改正案ニ據ルト云フト、何万圓ノ罰金デットモ區裁判所ノ判事ガ言渡スコトガ出來ルコトニナル、是ハ危險デハナイカ、今日裁判所ガ四階級ニ分タレ居ル以上、最下級ノ裁判所ニ持ッテ往ッテ、豫審ヲ經ザルモノデ死刑ト無期徒刑ヲ除イテ有期懲役又ハ禁錮ハ何デモ裁判ガ出來ルト云フヤウナ廣イ權限ヲ與ヘタ、今マデハ二百圓以下ノ罰金デットモ、何万圓ノ罰金デットモ言渡スコトガ出來ルト云フ廣イ權限ヲ今日ノ區裁判所ノ判事ニ與ヘルコトハ危險アル、斯ウ云フ點カラ吾々ハ修正意見ヲ出シテ居ル、併ナガラ松田司法大臣ノ提案ガアリマスカラ、吾々ハ誠意ヲ以テ此點ニ於テハ十分ニ研究シテ民事ノ方ハ舊ハ二百圓アル之ヲ今度ハ五百圓ト云フコトニ擴張シヤウト云フノデアリカラ、五百圓ト云フコトニナルト三府五港ハ或ハ宜シイノデアリマセウケレドモ、三府五港以外ノ地方裁判所ノ管轄事件ト云フモノハ、多クハ五百圓以下ノ事件デアルカラ、五百圓マデ區裁判所ノ裁判セシムルコトニナルト、地方裁判所ト云フモノガ此點ニ於テ殆ト空キニナル、ソレカラ從來百圓ノモノヲ二百圓ニシタルデアリカラ、先ヅ二百圓位ガ適當アルト信ジマシテ、吾々同志ハ政府ノ五百圓ト云フコトヲ、第一ノ修正案トシテ提案ヲ致シマシタ、ソレカラ第二ニハ刑事ノ方ハ今ハ一年以下ノ懲役又ハ禁錮デアルカラ、何デモ有期懲役禁錮ヲ持ッテ往ッテト云フノハ危險アルカラシテ、一年ヲ二年トスルデハ一ツ奮發シヤウ、デアルカラ二年以下ノ懲役又ハ禁錮ハ裁判シテモ差支ナイト云フコトニシ、ソレカラ三百圓ヲ超過セザル罰金デットモ區裁判所ノ判事ガ言渡スコトガ出來タノ、眞面目ニ考ヘテ、斯ウ修正案ヲ出シタノ過セザル程度ニ裁判權限ヲ擴張シテモ宜イト、眞面目ニ考ヘテ、斯ウ修正案ヲ出シタノデアリマス、此點ニ於テ先ヅ第一ニ歐羅巴各國、何レノ裁判所ト雖モ此權限ノ廣イ例ハナイ、刑事ニ付テドモ死刑ト無期徒刑ヲ除イテ、豫審ヲ經ザルモノハ何デモ往ケル豫審ヲ經テ奴ハ免ニ角一應誰カ調ベタルカラ危險ガ少ナイ、危險ノ少ナイモノヲ區裁判所ニ持ッテ往ケナイデ、檢察ノ都合如何ニ依テ極マルノデアリカラ、區裁判所ノ若イ判事ニ裁判シテ云フコトハ、檢察ノ都合如何ニ依テ極マルノデアリカラ、區裁判所ノ若イ判事ニ裁判シテ賞フコトハ、非常ニ危險アル、殊ニ酒造稅ノ違反事件ノ如キ何万圓モ罰金ヲ言渡ス、ソレデ今マデハ地方裁判所デ三百圓以下ノ罰金デットモ裁判ヲシナイモノニ對シテ、何万圓ノ罰金デットモ言渡スコトガ出來ルト云フコトハ甚ダ穩カデナイ、殊ニ最モ權衡上

不當ナルコトハ民事ノ方ニ於テハドウデアルカ、五百圓ト云フ案ヲ出シテアル、然ラバ刑事ニ於テモ五百圓デットモナラヌモノヲ、民事ノ利害關係ノ輕イモノニ於テハ五百圓以下トシテ裁判スル、刑事ノ方ハ何万圓何十萬圓ノ罰金デットモ言渡スコトガ出來ルト云フコトハ、權衡ノ上カラ言ッテモ穩カナラヌコトデ、同ジ裁判官デ民事ノ方ハ五百圓以下デナケレバナラヌ、刑事ヲ裁判スルコトキハ何十萬圓デットモ裁判ガ出來ル、ソレナ不權衡ノ規定ト云フモノハ世界各國此案ヨリ外ニナイト信ズルノデアリマス、ソレ故ニ此案ニ對シテハ最モ眞面目ニ考ヘマシテ此修正ヲ致シタノデアリマス、是ハ日本ノ古代法ニ依リマシテモ、徳川時代ニ於テ町奉行ノ裁判ト云フノハ必ズ與力同心ト云フモノガ參加シテ裁判ヲシタノデ、今度松田司法大臣ガ出サレタ案ノ如ク、青年ノ單獨判事ガ一人テ勝手次第ナ裁判ヲスルコトガ出來ルト云フノデアリマス、殊ニ與力同心ハ世襲アル、八丁堀ナラハ八丁堀ニ居ッテ、代々世襲デアッテ其中敏腕ナル者ガ吟味役ニナッテ、鈍腕ナル者ガ火消掛リトカ何トカ云フコトニナル、代々裁判ト云フコトニ付テハ研究ヲシテ居ル、然ルニ今日ノ時代ハドウデアアルカト云フト、吾々ガ喋々言ハスシテ、青年ノ判事ガ殆ト國民ノ生命財產ト云フモノヲ、自分ガ手習草紙ニスルヤウナ狀態ニ於テ區裁判所ガ裁判所ヲシテ居ルト云フコトハ疑ノナイ事柄デアアル、此點ニ於テ委員會司法大臣ノ言明セラレルトコロニ依ルト、精々良イ判事ヲ以テスルト云フ御話ガゴザイマシタ、併シハ言フベクシテ行フベカラザルモノデアアル、若シ行フコトガ出來ルト云フナラバ、茲ニ居ラル、トコロノ民事局長ナリ刑事局長ナリハ、一面大審院ノ檢察事デアアル、大審院ノ檢察事ガ直チニ區裁判所ノ檢事ニナルカト云フト、先ヅ第一ニ司法大臣カラ區裁判所ノ權限ヲ擴張シテ、何万圓ノ事件デモ裁判ガ出來ルカラ、前ガ第一ニ區裁判所ノ判事ニナレト云ハレタトコロガ、御免蒙ルト言ハル、ト私ハ信ズル俸給ノ地位ノ高イ所ノ裁判所ノ判事ヲ謂レナク下ヘ下ロスト云フコトハムズカシイ、免ニ角一一般ノ行政官ト違ッテ終身官ト云フ憲法上ノ保障ガアルノデアリカラ、其意ニ反シテ轉所ハ出來ナイ、尊敬スベキ先輩、如何ニ有力ナル松田司法大臣ノ命令ト雖モ、大審院ナリ控訴院ナリノ判事ヲ、最下級ノ區裁判所ノ判事ニナレト云ッテモ容易ニナルモノデアリ、又俸給ノ融通ノ餘地アルカト云フト司法省ノ豫算ハ御承知ノ通り、連モ其餘地ノナイト云フコトハ明白デアアル、昨日迄ノ鈍腕ガ明日敏腕ニナルト云フコトハ想像ガ出來ナイ次第デアリマス、ソレ故ニ私ハ本案ニ付テハ慎重ニ一ツ御考ノ上、此少數意見ニ賛成アラムコトヲ願ヒタイノデアリマス、ソレカラ最後ニ此裁判所廢止及名稱變更ニ關スル法律案、裁判所管轄區域ニ關スル法律案、是ニハ吾々ハ絕對ニ反對ヲ表シタノデアリマス、此反對モ少數デ否決ニナリマシタ、此案ハ全國區裁判所ノ中百何箇所ヲ廢サウト云フ案デアリマス、此案ニ付キマシテハ餘程慎重ニ御考ヲ願ヒマス、二三回前ノ本會ノ議場ニ於テモ、政友會ノ諸君カラ區裁判所増設ニ關スルコトコロノ請願ガ出デ、委員長ハ之ハ採擇スベキモノデアルト云フコトノ御報告ガアリマシタ、一面ニ於テ松田司法大臣ハ廢サウト云フ案ヲ出スト云フニ、他面ニ於テ諸君カラシテ「出張所デ」ト呼フ者アリ「出張所デモ同ジ事デアリマス、裁判所ヲ増加シヤウト云フヤウナ案ガ出ルト云フコトハ——是ハ實ニ國民ノ要求ト云フモノガ何處ニアルカト云フコトヲ窺ヒ知ルコトガ出來ルノデアリマス、一ノ裁判所ヲ拵ヘルト云フコトニ付テハ、司法省ハ豫算ガ無いモノデアリカラ、或ハ土地ノ富豪ニ家屋ノ建築ヲサセルトカ、土地ヲ寄附サセルトカシテ、サウシテ拵ヘタモノデアッテイロ……」

○議長(大岡育造君) 唯今ハ少數意見デアナイデセウ……

○高木益太郎君 ソレデハソレハ後刻更ニ申上ゲマス

〔政府委員法學博士小山溫君登壇〕

○政府委員(法學博士小山溫君) 唯今高木君ヨリ御報告ニナリマシタ少數意見ニ對シマシテ、極メテ簡單ニ政府ノ意見ヲ申述ベテ置キマス、此改正案ハ元來區裁判所ノ單獨判事ノ權限ヲ擴張致シマシテ、ソレニ重キ責任ヲ持タセルト云フ大體ノ基本カラ出來テ居ル案デゴザイマス、然ルニ少數ノ御意見ニ依リマシタルト、却テ區裁判所ノ權限ヲ縮小スルコトニ相成ルノデゴザイマス、唯民事ニ於キマシテ二百圓以上ト申シマスノガ、三百圓以上トナリマスカラ、幾分民事ノ方ハ擴張ニナリマスガ、刑事ニ於テ明治四十四年度ノ計數ヲ調ベテ見マスルト、丁度二萬九千七百六十六件ケケ今區裁判所ノ管轄シテ居リマスモノガ、地方裁判所ノ管轄ニ移ルコトニナリマス、概數デ四万件程トナリマス、ソレデゴザイマスカラ若シ此案ノ如クニ致シマスレバ、二百何十人ノ判事檢事ノ減少ハ愚カナ事、却テ二百四五十人ノ増加ヲシナケレバ運バスコトニナリマス、左様御承知ヲ願ヒタイノデアリマス、ソレカラ又檢事ノ司法省ノ高等官ノ兼任ノコトデゴザイマスガ、是ハ唯今デハ成程檢事ヨリ兼任致シテ居リマス高等官ガゴザイマスガ、司法省ノ參事官ノ數ト云フモノガ勅令ニ依レバ三人デゴザイマス、此項ノ繁劇ナル事務ニ三人デハドウシテモ行ヒ難イノデアリマスカラ、已ムラ得ズ兼任者ヨリ採ツテ居リマスガ、是ハ一般ノ行政整理ニ伴ヒマシテ、何レ勅令ノ改正ガアルデアラウト信シマスガ、其節ニ何トカ工夫ノ途ガアラウト信シマス、之ヲ構成法中ニ御加ヘニナルコトハ反對セザルヲ得マセヌ、ソレカラ御參考ニナルデアラウト思ヒマスカラ、高木君ヨリ申サレマシタ判事ノ平均年齡調ガ漸ク出來致シマシタカラ、此處デ一般ニ申上ゲテ置キタイト思ヒマス、判事ノ平均年齡デゴザイマス、是ハ何月マデハ出シマセヌデ唯數ヘ年テ勸定シテ見タノデスガ、判事ノ平均年齡ガ區裁判所ニ於テ四十四歲、地方裁判所ノ判事が却テ若ウゴザイマシテ四十歲九分ト云フコトニナツテ居リマス、控訴院ノ判事が四十五歲四分、大審院ノ判事ハ五十三歲二分、斯ウ云フコトニ相成ツテ居リマス、ソレデケラ申上ゲマス

○法學博士花井卓藏 贊成演說ヲシタウゴザイマス

○議長(大岡育造君) 然ラバ前ニ通告ガアリマスカラ、通告ニ依テ許シマス、福田又一君

〔福田又一君登壇〕

○福田又一君 裁判所構成法中改正法律案以下四案ニ對シマシテ、吾々ハ反對ノ意見ヲ有シテ居リマス、吾々同志ハ山本内閣ノ存立ヲ安全ナラシムルガタメニ、豫算不實行ノ汚名ヲ避ケシメント欲シマシテ、豫算ニ大削減ヲ加ヘマシテ之ヲ山本首相ニ差出ス考デアリマス、ソレハ今日モ各分科會ニ於テモ其意ヲ表示致サレマシテ、何レ明日ノ豫算總會ニ於キマシテ諸君ノ御耳ニ達スルコトデアラウト考ヘマスガ、此意味ニ於テ吾々ハ此ノ如キ姑息ナル整理ニハ反對スルト云フ主意ニ過ギナイノデアリマス、此間小山政府委員ノ答辯ニモ、此案ハ一面ハ對裁判所ノ改善ヲ計ルト云フコトデアルケレドモ、一面ハヤハリ行政整理ヲスルト云フコトニ在リト、斯ウ述ベラレテ居ル果シテ然ラバ吾々ハ是以上ノ大削減ヲ加ヘルト云フ考ヲ持ツテ居ル以上ハ、此ノ如キ姑息ナル案ニハ反對ヲシナケレバナラヌノデアリマス、又此間判檢事及辯護士法改正法律案ノ際ニ、小山次官ハ何ト吾々ニ答ヘラレタカト申シマス、吾々ガ大學ノ卒業生モ猶且試験ヲ致サナケレバ、判檢事若ハ辯護士ニ採ルコトハイケンイト云フコトヲ述ベタ時分ニ、之ニ對シテ小山次官ハ各私立大學ノ毎年ノ卒業生ガ一千八百人位ハアラウト思ハレ、而シテ試験ヲ受ケル者ガ八百人ヤウコラデナカラウト思フカラ、試験制度改正即チ大學ノ特權廢止位ハ些々タル問題デアツデ、モウ少シ根本問題カラ 其問題ヲ解決シナケレバナラヌカラ、此ノ如キ些

些タル改正ハ寧ロ却テ妨害ニナルト答ヘラレテ居リマス、左様致シマスレバ私ハ其論ヲ藉リマシテ、大削減ヲ加ヘルト云フ意見ガアルナラバ、此ノ如キ小改正ニハ決シテ贊成ガ出來ナイト云フコトヲ司法次官ノ答辯ヲ藉リテ御答スル譯デアリマス(「モウ宜イデセウ」ト呼フ者アリ)諸君、裁判所ノ數ヲ二百二十八ト云フ多數ヲ廢メマシテ、サウシテ吾々ガ財源ノ上ニ於キマシテ、金ノ負擔ニ於テドレデケ減ズルカト申シマスルト實ニ驚クベキ程ノ少額デアル、總體ニ於テ五十萬圓デアツデ、而シテ其内カラ十七萬圓ト云フモノヲ休職給トシテ支出スルト、僅ニ二十三萬圓ニシカ過ギナイノデアリマス、而シテ此區裁判所ノ多數百二十八ト云フモノヲ廢スルニ付テノ費用ヲ分割スルト、僅ニ二十萬圓、私ハ是ニ於テ驚カザルヲ得ナイノハ、大藏大臣ハ先達テ豫算委員會ニ於テ所得稅問題デアツタカト思ヒマスガ、タツタ一千萬圓ト云ハレタコトガアツタ、ドウモ實ニ大藏大臣ハエライ抱負デアル、日本ノ今日ノ豫算ニ於テタツタ一千萬圓、此ノ如ク仰シタル所ノ藏相ガ一面ニハ稅制ノ整理ノ結果デアルト云ウテ三十三萬圓ノ内僅ニ二十萬圓ヲ減ズル位ノ事柄ハ、私ハ今日之ヲ行フベキ時機デナイト信シマス、加之區裁判所ノ數ヲ一面ニ於テ百二十八ヲ減ジテ、而シテ權限ガ今高木君ガ述ベラレタ通り頗ル擴大ヲシテ居ル、既ニ數ヲ減ラシ權限ヲ擴大スレバ、從ツテ事務ガ滯滯スルト云フコトハ是ハ三尺ノ童子ト雖モ知リ得ルコトデアル、數ヲ減ラシテ而シテ權限ヲ殖ヤス如キ矛盾シタ事柄ハ何レニアリマスカ、私ハ此ノ如キ改正——數ヲ減ラスト云フコトデアルナラバ、權限ヲ少クスルト云フコトナラバ理屈ニ合フノデアル、數ヲ減ラシテ權限ヲ廣グスル、此ノ如キ事ハ實ニ私ハ笑フベキ事デアラウト思フ、而シテ一面ニ於キマシテハ刑事事件ニ於テモ權限ガ頗ル擴張サレテ、是マデハ二年以下ト云フコトデアツタノガ有期徒刑有期禁錮ト云フモノガ、之ニ判決スルコトガ出來ルコトニナツタノハ、是ニ於テ最早吾々ガ反對ヲシナケレバナラヌノデアリマス、諸君、此ノ如キ粗造ナル此改正案ニハ吾々ハ絕對反對ヲ表スルト云フコトヲ考ヘマス、而シテ此裁判所ノ廢止ノ問題ニ至ツテハ、實ニ杜撰極マデ居ル、僅ニ二十萬圓ヲ減ラスト云フタメニ——今日長野縣デケラ取調ベマシタコトガ、頗ル杜撰ヲ極メテ居ルデアリマス、是ガ實際ノ問題デアリマスカラ、諸君ノ御清聴ヲ請ヒタイノデアリマス、諸君長野縣ノ中ニ岩村田ト云フ區裁判所ガゴザイマスコトハ御承知ノ通りデアル、此岩村田ノ區裁判所ノ取扱ヒマシタコロノ事件、即チ今回廢止サレル區裁判所ノ事件ヲ茲ニ申上ゲテ見マスレバ、此ノ如ク多數ノ事件ヲ取扱フ區裁判所ヲ廢止スルト云フコトハ甚ダ理由ノナイコトデアルト云フコトガ御分リニナルト思ヒマス、ソレモ澤山ノ金デアルナラバ別問題デアリマス、民事ノ數ガ明治四十五年ノ一月カラ大正元年ノ十二月マデニ、四百九件取扱ツテ居リマス、又刑事ノ數ガドレデケアルカト云フト、刑事ノ數ガ百五十八件ヲ取扱ツテ居ル、是ハ諸君ガ輕々ニ御感覺ニナリマスケレドモ、私ノ所ヘ唯今電報ガ澤山來テ居ル、此等ノタメニ裁判所ヲ廢スルト云フコトハ不當デアルト云フコトヲ訴ヘテ居リマス(「簡單々々」ト呼フ者アリ)差押假處分ノ數ト云フモノガ、唯今申シマシタ裁判所デ二百五十一件、禁治產及準禁治產ノ數ガ九件、支拂命令ガ千百四十件、此ノ如キ澤山ノモノヲ取扱ツテ居ル、諸君此ノ如ク裁判所ニ於テ而シテ其裁判所ノ管轄區域ヲ申上ゲテ見タナラバ、ドレデケアルカト云フト九十九里、九十九里ノ司法事務ヲ取扱ツテ居マス、サウシテ内南佐久ガ五十一方里、内北佐久ガ二十八方里アリマス、此一例ニ依リマシテモ諸君ガ此區裁判所ヲ廢止スルト云フ法案ノ不適當ナルコトヲ御承知ナランケレバナラヌト思ヒマス、現在ノ最遠ノ距離即チ岩村田ノ區裁判所ヨリ近イ所ハ十四里餘アル、是ガ若シ合併ヲサレテ上田ト云フ所ニ行ツタナラバ、ドレデケニナルカト云フト二十一里十餘町ニナリマス、諸君、僅ニ二十萬圓ノ金ヲ五六億ノ豫

算ヲ鵜呑ニスルトコノ吾ニガ 諸君ガ、之ヲ減スルニ(笑聲起ル)之ヲ減シナケレバ
ナラヌト云フコトハ諸君ニ對シテ吾ニハ甚ダ慙愧ニ堪ヘナイと思フ、諸君私ハ諸君ガ
此問題ヲ冷笑ヲ以テ迎ヘテ居ルナラバ、私ハ誠意ヲ以テ此問題ヲ論ズルノデアリマス
ラ、何處マデモ此壇ヲ降りマセヌ、政府案デアリサヘスレバ一句デモ修正ヲシテ通過スル
ト云フヤウナ吾ニハ考テ持ッテ居ラスノデアリマス、諸君、私ハ是ガ法律案デハナクシテ豫
算案ニ出ルコトヲ恐レルノデアリマス、是ダケノコトヲ諸君ニ私ハシカリ言ッテ置キマス、諸
君ソレ故ニ吾ニハ此構成法改正案カラシテ以下ノ關係ヲ有ッテ居ルコトコロ、四案ト云
フモノハ、全然茲ニ廢止サレテ、而シテ國民ノ輿論ニ對シテ考ヘルノデアリマス、二十万
圓ノ金ガドレデケデアリマス、此等ノコトヲ考ヘテ此國民ノ不便ハドレデケデアリマス、一ツ
ノ裁判所ニ僅ニ判事檢事一人ガ居レバ宜シ、茲ニ裁判所トキニハ原被ガ來ナケレバ
ナラヌ、訴訟關係者ガ來ナケレバナラヌ、證人ヲ喚バナケレバナラヌ、此二十万圓ノ金ヲ
四百ノ區裁判所ニ 一百二十八ノ區裁判所ニ割ッテナラバ、僅カノ金デアリマス、而
シテ人民ノ不便ハドレデケデアリマス、金ヲ減ラスト云フコトハ吾ニハ希望デアリケレドモ、
吾ニハ不便ヲ考ヘナケレバナラヌ、國民ノ不便ヲ考ヘナイデ金ヲ僅ニ減ラシテ、裁判所構
成法ヲ改正シテ御土產ニシヤウト思ッデモ、國民ハ左様ナ愚ナコトニハ瞞著サレマセヌ
○議長(大岡青造君) 横田千之助君

(横田千之助君登壇)

○横田千之助君 同憲ノ先輩タル福田又一君ガ誠意アル御反對ニ對シテ、私ガ本
案賛成ノ意ヲ述ベルノハ甚ダ敬意ヲ失シマス、餘リニ其議論ガ違ヒデゴザイマスル
カ、聊カ本案ノ精神ヲ識場ニ發揮紹介シヤウト思フノデアリマス(御苦勞様)ト呼フ
者アリ、福田又一君ハ本案ニ付テ豫算ガ定マラヌカラ、ドレデケ金額ヲ豫算ノ上デ減ズル
ヤウニナルカモ知レヌカラ、此案ニ反對ト言ハレタ、何ノ意味タルカ分ラヌノデアリマス、
(ノウ)ト呼フ者アリ、抑、本案ハ十年間朝野ヲ通ジテ法曹界ニ於テ宿題トナツタ
問題ヲ解決シタモノデアリマス(拍手起ル)即チ本案ノ第一ニ含マレテ居ル點ハ、言フマデ
モナク法律ノ解釋ヲ統一シテ、人民ヲシテ法律ノ解釋ニ對シテ適從スルコトヲ知ラシムル
ト云フノガ、本案第一ノ要點デアリマス、今マデノ裁判所構成法ニ依リマスレバ、
上告審ガ全國數箇ノ控訴院ニ分ッテ居リシテ、左ノ控訴院ニ於テ是ナリト云フ判決ガ
右ノ控訴院ニ於テ非ナリトスル 斷定ヲ受ルコトガアツタデアリマス、此場合ニ於テ司法
當局ハ茲ニ見ル所ガアツテ、此上告審ト云フモノヲ統一シテ、一ニ大審院ノ管轄ニ屬ス
ルト云フコトガ、本案第一ノ精神デアリマス、第二ニハ裁判官ノ數ヲ減シ、サウシテ其
質ヲ良クスルト云フ 數ヲ減シテ質ヲ良クスルト云フノガ本案第二ノ精神デアリマ
ス、即チ大審院ノ七八ノ合議制ヲ五人ニ減シ、控訴院ノ五人ノ合議制ヲ三人ニ減シ
テ、長ク民間ニ於テ船頭多クシテ船ヲ山ニ漕グト云フガ如キ、苦シキ經驗ヲ當メタルコ
ロノ此裁判所ノ構成ト云フモノヲ變更スルト云フノガ、本案第二ノ精神デアリマス、第
三ニハ小ナル事件簡易ナル事件、手輕ナル事件ヲ單獨裁判所タルコノ區裁判所ノ
管轄ニ移シテ、費ヲ輕減シ、日月ヲ短カクシテ事案ヲ終結スルト云フノガ本案第三ノ精
神デアリマス、第四ニハ今マデ此裁判官ノ獨立ト云フコトニ重キヲ置イテ、司法行政上判
事檢事ノ配置運轉ト云フコトニ頗ル窮乏ノ感シタモノデアリ、然ルニ本案ハ司法官ノ獨
立ノ保障ヲ傷ケザル程度ニ於テ、司法行政ノ運用ノ妙用ヲ達セシムルト云フコトガ、本
案第四ノ精神デアリマス、此等ノコトハ單リ司法行政上、及司法省ニ向ッテ國民ガ
求メテ居ル聲デハナイノデアリ、曰ク人材登用ノ道ヲ開ケ、曰ク官廳ノ事務ヲ敏活
ニシテ、官廳ノ事務ヲ刷新シテ政費ヲ節減セト云フコトハ、諸君ガ一般ノニ普遍的

ニ我ガ政府ニ向ッテ要求シテ居ル所デアリマセヌカ、裁判所構成法改正案ハ實ニ此
國民ガ普遍的ニ一般的ニ要求シテ居ルコトコロ、此要求ニ耳ヲ傾ケ此民意ヲ迎ヘテ司
法當局ガ發案提出シタルコトコロ第一矢デアリノデアリ、區々タル二十五萬圓ノ削減三
十萬圓ノ削減ト云フ如キ譯デハナイノデアリ、實ニ此人權ヲ保護スル上ニ於テ、民利ヲ
増進スル上ニ於テ、國民ノ輿論ニ聽從シタルコトコロ第一聲デアリニ拘ラヌ、新政黨ノ
諸君ガ敢テ此案ニ反對セラルト云フコトハ、恐ラクハ新政黨ノ諸君ハ官制ノ改革ニモ
文官任用令ノ修正ニモ御反對デハナイカト云フコトヲ私ハ疑フノデアリマス、諸君、福
田又一君ハ曩ニ豫算ニ大ナル削減ガアルカラシテ此案ニ反對スルト云フニ拘ハラヌ、演
壇ヲ下ルニ臨シテ、僅カ政費ヲ削減シテ民利ヲ増進スルコトハ惡イト云フコトヲ言ッ
タル、ドレデケ本當デアリカ、議論ノ本旨ト云フモノガ吾ニハ分ラヌノデアリマス、現
ニ國民黨ノ高柳君モ是ト同一ノ案ヲ提出セラレ、此案ヲ發案セラレタルコトコロ當初
ニ於テ、司法大臣ノ德ヲ歎美シテ退カレタル位ノ善良ナル法案デアリマス、若夫此案ニ反
對スルガ如キ者アリトセバ、彼等ハ國民要求ノ一般的ノ政費節減、官制改革、文官任
用令ノ修正ニモ反對ヲスベキ素質ヲ有ッテ居ルモノト云フコトヲ斷言シテ、此壇ヲ下ル
トニ致シマス

(高木益太郎君登壇)

○高木益太郎君 簡單ニチヨット申上ゲマス、松田司法大臣ノ御提案ニナリマシタル
案ニ付テハ、黨派ト云フ考ヲ全ク捨テ、私ハ國民ノ一人トシテ眞ニ誠意ヲ以テ申ス
デアリマス、松田司法大臣ハ新刑法ヲ御作リニナツドウ云フ結果ヲ生シマシタカ、此演
說デ友人ノ花井卓藏君ガ痛論セラレタ如ク、新刑法ニ於テハ懲役一箇月以上十五年
ト云フ長期ノモノヲ拵ヘタタメニ、裁判官ノ改良ト云フコトヲ爲サシテ、子供ニ正宗ノ
刀ヲ與ヘタト同様、其刑期ノ範圍ノ廣キ爲メニ罪人ガ増加シ、我國ノ司法行政ノ監
獄ノ標準ト云フモノハ、五萬人ノ收容力シカナイ監獄ニ向ヒテ、七萬五千人ノ罪人ヲ容
レタ、其爲メニ本議會ニ於テドウ云フ攻撃セラレタカト云フコトハ、諸君ガ御記憶ノ新
ナル所デアリ、花井君ハ此壇上ニ於テ我日本帝國ハ罪人ノ一等國監獄國デアルト云フ
コトヲ言ハレタ、本員ハ罪人ノ一等國デアナイ罪人製造ノ一等國監獄國デアルト云フ
獄費ニ於テ本員ハ在監人ノ食糧ニ割減說ヲ唱ヘテ、結局衆議院ハ一割減ト云フコト
ニ御決議ニナツタコトハ、一昨年ノ議會ニ於テ甚ダ明白ナル次第デアリ、是ハ何デアルカ
ト云ヘバ、此責任ト云フモノガ刑法ト云フモノヲ粗雑ニ作ラレタメデアリ、刑法ヲ運用ス
ル上ニ於テ吾ニ同志カラ一昨年豫算委員會ニ於テモ、裁判官改良ノ問題ニ付テ種々
ナル提案ヲシタケレドモ、司法當局ハ此點ニ付テ何等ノ考慮ヲ用ヒシテ唯法律ハカリ
改正シタ結果、此ノ如キ慘憺タル有様ニナツタデアリ、今度ノ案ハドウデアルカ、今度
ノ案モ亦豫審ヲ經ナイモノデ、死刑ト無期徒刑ヲ除イタモノ、即チ有期ノ懲役若クハ禁
錮ハ總テ區裁判所ノ極ク青イ判事ニ向ッテ十年モ二十年モノ刑ノ裁判ガ出來ル權利ヲ
與ヘル、是程危險ナコトハナイデハアリマセヌカ、私ハ必ズ松田司法大臣ハ若シ此案ガ
此儘通過スルト、又監獄費問題ヤ何カノコトデ非常ニ御困リニナルコトガ生ズルト
云フコトヲ斷言シテ憚ラヌデアリマス、又大臣ノ御提案ニナツタ裁判所管轄區域變更
ニ關スル案、ツレカラ又裁判所廢止及名稱變更ニ關スル案、是ハ吾ニハ親友デアリ横
田君ガ費用輕減ノコトヲ先刻此席ニ於テ御話ニナリマシタ、ケレドモ司法部ニ於テ費用
ヲ輕減スルト云ヘバ、漫ニ裁判所ノ廢合ナドヲ爲サシマダ他ニアル、刑事被告人ノ
爲メニド位費用ヲ抛ッテ居ルカ、一千万圓監獄警察ニ關シテ費用ヲ抛ッテ居ル、監獄
ノ今日ノ有様ヲ御覽ナサイ、若シ監獄デモウ少シ收入ヲ取ラウト云フナラバアルノデア

ル、民間ノ者ハ半ドンノ日モ休マズ日曜ノ日モ休マズ働イテ居ル、然ルニ懲役人ハドウデアルカ、吾々良民ヨリハ樂ナ状態デアル、夜間ハ全ク仕事ヲシナイノデアル、其作業ハドウデアルカト云フト、近頃ノ機械ノ仕事ハ少シモヤツテ居ラス、外ハ出レバ大工トシテ一圓ナリ一圓五十錢取レル人間ガ、監獄デ仕事ヲスルト一日二十錢カ二十五錢ノ工賃シカ取レルト云フ状態デアル、ソナ風デアリマスカラ若シ本當ニ誠意ヲ以テヤルト云フナラバ、監獄費警察費ノ上ニ於テ一千萬圓カラ大ナル削減モ出來ル、又收入ヲ得ヤウト云フナラバ、何万人ト云フ囚徒ニ向テモ少シ勉勵ヲサセル様ニ作業ノ方法ヲ改良スレバ、コンナ裁判所ノ廢合ヤルト云フケチナコトハナイ、之ヲヤツタ所ガ幾ラ出ル、三萬圓カ五萬圓デアル、尤モ吾々ノ提案セシ大審院ノ判事七名ヲ五名トシ、控訴院ノ判事五名ヲ三名ニスルト云フコトハ別ニシテ、區裁判所ノ廢合ノ如キハ五萬圓カ七萬圓ノ金デアル、而シテ之ヲ本當ニヤルナラハ根本的ニ控訴院地方裁判所ノ廢合等ノ大キイ所ノ廢合ヲ圖ルガ良イ、第十八議會ニ於テ四十八ノ地方裁判所ニ對シテ二十減ズルト云フ案ガ出テ居ル、サウ云フ強イ高イ處ヲヤズニ弱イ低イ處ヲヤルノハ何事デアルカ、其故ニ此案ヲ通過スルコトニナルト僅カ七萬圓カ八萬圓ノ爲メニ當事者證人、ソレカラ被告人ノ護送費、ソレカラ臨檢等ノ差支、其他裁判所ガ遠クナルト親族會議ヲ開クトカ、何デアルカンデアルト云ウテ、非常ニ當事者ノ費用ト云フモノヲ費マ、甚ダ困ル者ガ多イノデアル、若シ之ヲ細カク論ズルト千葉ニシテモ滋賀ニシテモ、長野ニシテモ、餘程論ズルコトガ出來ルノデアリマスガ、此案ハ要スルニ司法省ノ關係ガ民刑局デ繪圖ヲ披イテヤツタ難極マル案デアリマス、斯ノ如キトコロノ案ハ斷然否決ベキモノデアルト云フコトヲ、私ハ諸君ニ御願ヒマスノデアリマス(拍手起ル)

○議長(大岡育造君) 花井卓藏君

(法學博士花井卓藏君登壇)

(拍手起ル)

○法學博士花井卓藏君 諸君、本員ハ本案ニ對シテ聽クベキ反對說ノアランコトヲ豫期致シテ居リマシタ、而シテ又聽カント欲シテ居タノデアリマス、ソレハ高木君、福田君、横田君ノ論議セラル、ガ如キ小問題ニハアラスシテ、寧ろ憲法上ノ大問題ガ議場ニ必ズ現ハル、コトデアラウト信ジテ居タルデアアル、悲シムベシ帝國議會ノ面目トシテ、反對論者ガ戰ハサルベカラザル憲法上ノ問題ハ棄テ、些々タル小問題ニ立入テ殆ド理由ヲ爲ササル演說ヲ贊否雙方ノ上ニ承ラントハ、實ニ意外ノ感ニ堪ヘヌデアリマス(笑聲起ル)本員ハ本法ノ制定ニ關シマシテ之ヲ迎フル論者デアリマス、而シテ憲法上ノ問題ニ關シマシテハ感クトコロ、疑フトコロ、甚ダ少ナカラザルガ故ニ、十二分ニ研究ヲ盡シマシテ、安シテ迎ヘテ宜シト云フノ感ヲ描イタモノデアリマス、此場ニ高木益太郎君立タレ、福田又一君立タレ、而モ兩君トモ相應ニ知名ナル法律家デアリマス(笑聲起ル)而シテ之ニ對シテ一ノ反對ノ意見ヲ述ブル者ガナイト致シマシタナラバ、在野ノ法曹ハ兩君ノ代表ニ依リテ本案ノ最モ批難スベキモノデアルト云フコトヲ國民ニ知ラシムルト云フコトハ不本意デアリマスルカラシテ、通告モ何も致シテ居リマセヌ、唯私ガ贊成スル理由ヲ述ベヤウト思フ此處ニ立ッダ次第デアリマス、私ハ直チニ高木君ノ意見ニ向ッテ一言ヲシヤウト思フ、高木君ノ主タル改正案ハ裁判所構成法第八十一條ノ次ニ檢事ヲシテ司法省ノ行政官吏更タラシムルコトヲ禁ズルノ明文ヲ設ケタイト云フノデアリマス、此點ニ付キマシテハ高木君ノ論ゼラル、トコロノ事實上ノ理由ハ本員モ認ムルノデアアル、高木君ノ論ゼラル、通リニ檢事ハ何處何處マデモ獨立ノ權域ヲ守ルヤウニ致シタイト云フ感想ハ抱イテ居リマス、嘗テ衆議院ニ於テ私が唱ヘタコトガアルノデアリマス、然レドモ凡ソ立法

ヲ成スニ當リマシテハ、其事項ヲ規定スベキモノ、果シテ大權事項ニ係ルベキモノナラヤ、立法事項ニ係ルベキモノナリヤト云フコトノ分界ヲ明カニシナケレバナルマイト思ヒマス、裁判所構成法ハ判事檢事ニ關スルコトノ資格權限ニ關スルコトノ法律規定ニ係ルノデアリマシテ、行政官吏ノ如ク、大權事項トシテ官制ニ規定スベキモノト混同スルコトヲ我ハ避ケナケレバナラヌノデアアル、高木君ハ裁判所構成法ニ檢事ノ行政官吏タルコトヲ禁ズル旨ヲ明記シヤウトセラル、ノデアリマスガ、斯ノ如キ事柄ハ立法ノ上ニ於テ當ニ體裁ノ宜シキヲ得ザルノミナラズ、理論ト致シマシテモ一貫セザルモノト私ハ信ズルノデアアル、此故ニ御趣旨ニハ無論贊成デアリマスカラシテ、高木君ハ然ルベキ途ヲ求メテ歩ムベキ道ヲ歩マレンコトヲ希望スルノデアリマス、又高木君ハ權限ノ擴張ヲ憂ヘラレテ、歐米各國斯ノ如キノ制度絶無アリト云フコトヲ絶叫セラレタノデアアル、私ハ高木君ノ如ク歐米各國ヲ漫遊ハ致シマセヌガ、歐米各國ノ法律ハ相當ニ知ッテ居ル積リデアアル、單獨裁判制ヲ認容スル國ニ於テ、本案ニ認メテ居ルガ如キ權限ヲ授ケザル國ハ世界列國絶無ナリト私ハ斷言致スノデアリマス、(何處ニアリマス)ト呼フ者アリ、英吉利ニアリマス(英吉利ニアリマセヌ)ト呼フ者アリ(笑聲起ル)諸君抑、單獨裁判ノ問題ハ當テ裁判所構成法ノ發布セラレシ當時ニ於テ、在野法曹ハ一齊ニ之ヲ叫ンダノデアアル、裁判所構成法ノ改正ノ聲ノ盛ナリシ事ハ高木君モ御記憶デゴザイマセウ、是ハ合議裁判制ヲ廢シテ以テ合議裁判制ヲ認メズシテ、單獨裁判制ニ則ラウト云フノ聲デアッタノデアアル、明治二十三年ニ帝國議會が開カレマシテ、議員ヨリ提出セラレマシタル第一ノ案、合議裁判制ヲ單獨裁判制ニスベシトノ構成法ノ改正案デアッタ本員ハ記憶シテ居ルッ今ハ堂々タル遞信大臣デアリマスルガ、其頃ハ只ノ代官人デアアル元田肇君ガ熱心ニ主張セラレタトコロモノハ是デアアル(笑聲起ル)爾來此說ハ幾多ノ變遷ハゴザイマシタケレドモ、幾多ノ變遷ハゴザイマシタケレドモ、理論ノ關係ニ於テ實際ノ問題ト致シマシテ、在野法曹ノ意見ト致シマシテハ、格別ノ變更ハゴザイマセヌ、併ナガラ急激ノ變更ハ難キガ故ニ姑ク人員ヲ減ジテ、例ヘバ七人ノモノハ五人トシ、五人ノモノハ三人トス、而シテ主ニ輕易ノ事件ニ付テハ民刑通ジテ單獨ノ制度ニ則リタイト云フコトガ、在野法曹ノ希望デアッタノデアリマス、本案ハ其通りノ事ガ此處ニ揭ケラレタアルノデアアル、唯文句ヲ云ヘバ我々が常ニ案ヲ具シテ提出シテ此議場ニ出シテ居ル際ニ、政府ハ贊成ラサルコトヲナサズシテ、議員自ラノ立テタル案ヲ政府案トシテ出ストハ不都合ナ話デアルト云フ位ノ小言ハ言ジテモ宜シイノデアリマスガ(笑聲起ル)物ガ宜シイ以上ハ私ハ其様ナル苦情ハ言ハイデモ宜イト思フ、又豫審ヲ經ザル事件ト云フノデアリマスルガ、豫審ヲ經ザル事件ト云フモノハ多クハ竊盜デアリマス、是ガ罪人ノ數ノ殆ド七八分ヲ占メテ居ルノデアリマス、竊盜ヲナシタル被告事件、其數ハ頗ル多イ單獨裁判制ニ則ッテ以テ判斷セザルベカラザルモノハ、此種ノモノニ限ラレテ居ルト云フテモ宜イノデアリマス、今日ノ區裁判所ノ判事ヲ入替ヘテ、ドウモ高材逸足ノ士ナドト云フモノハ司法部ニハ一人モ居リマセヌカラシテ、サウ高木君ノ望マル、ガ如キ司法官ヲ辭シテ區裁判所ノ判事ニナルモノハ勿論デアリマスマイ、又高木君ガ如何ニ登庸ノ途ヲ開カレタイト云ツテ、區裁判所ノ判事ニオナリニナルトハ心得ナイ、是ハ程度ノ問題デ、今日ヨリハ稍善良ニ而シテ堅實ニ職務ヲ執リ得テ常識ノ軌道ヲ逸セナイ、所謂老朽若朽ヲ棄テタル中庸ノ者ヲ得ルト云フダケノ希望ニテ私ハ満足シテ宜イト思フ、是等ノモノニシテ足リルノデアアル、竊盜被告事件ヲ審判スル裁判官トシテハ今日ノデモ足リルノデアアルガ、ソレヲヨリ善クシテ充テヤウト云フノデアリマスカラ、

私ハ此案ノ如キハ公平ノ見地ニ立テ研究シテ戴キタイモノデアリマス、私ハ現内閣ニハ反對、政友會ニモ多クハ反對デアリケレドモ、案ノ可ナルモノヲ感情ノ爲メニ葬ルト云フ事柄ニナリマス、惜イモノヲ空シク捨テラウナコトニナルデアリマス、本案ハ是非私ハ迎ヘタイト思フ、虚心坦懷ニ御研究ヲ願ヒマシタラバ、明治二十三年以來議會ノ聲トシテ叫バレテ居ル所ノ大部分ガ、此法案ニ合マレテ居ルデアル、而シテ權限ヲ擴張スルト言フ所デ、其及ブ所ノモノハ多クハ竊盜犯デアル、單獨ノ裁判所ニテ足リルデアル、ソレヲ現在ノ判事ヨリ善クスルデアル、是ダケノコトデモ私ハ満足シテ宜カラウト思フデアリマス、ソレノミナラズ高木君ハ民事ニ付テ訴額二百圓トアルヲ三百圓ニスル、五百圓ニスルコト云フ政府案ニ反對スルト云フデアリマスガ、私ハ民事ノ訴訟關係ニ於テ二百圓ガ五百圓ニナラウガ、千圓ニナラウガ、又ハ一万圓ニナラウガ、事實トシテモ法律關係トシテモ數字ニ差ガアルダケニ過ギナイデアリマシテ、論爭關係研究關係ニ於テ殆ド異所ハ無イデアアル、是等ハ司法省ノケテナル所ヲ證明シテ居ルデア、私ハ千圓ト云フ修正ヲ出シタガ賛成ヲシナイ、斯ウ云フ事柄ハ手落トシテ答メテモ宜イデアリマスケレドモ、遠慮シテ五百圓ニ致シテ居ルノ他年千圓ニスル前程ニナルデアリマセウ、是等ハ私ハ今日忍ビタイ積リデアル、要スルニ横田君ノ演說ニモアリマシタガ、最モ大切ナル法律統一日本ノ法律解釋ガ五ツニモ六ツニモ分レテ居ルノヲ統一スルト云フ問題ノ如キニ至リマシテハ、是モ多年ノ宿題デ、最モ法曹社會ノ迎フル所デアアルデアリマスケラシテ、私ハ本案ハ全體ヲ迎ヘテ而シテ人ト云ヘル事柄ガ高木君ノ心ヲ安シメ又福田君ノ心ヲ安シメル所以デアリマスケラ、假令案ハ私ガ論ズル通り美ナルモノト致シマシテモ、要スルニ運用ハ人ニ依ルデアアル、其人ト云フコトヲ憂ヘラル、結果、高木君福田君ノ熱心ナル御演說——熱心ト云フ點ニ於テハ聽クベキ點ガアル——論ハ聽クベキ點ハナイガ——熱心ト云フ點ニ於テ聽クベキ點ガアル、唯是ハ憂ヘラル所ハ人ニ存スルデアリマスケラ、人ト云フモノニ付テハ、今ノ司法當局ハ大ニ考ヘナケレバナラス、私ハ兩君ト同ジク今日ノ司法部ニ於テハ人宜シキヲ得テ居ルト云フコトハ認メマセヌ——斷ジテ認メマセヌ、現ニ高木君ガ茲ニ朗讀ニ相成リマシタル、裁判所構成法八十一條ノ次ニ加フル改正案ノ如キモノモ、人ノ問題、檢事ハ如何ナル方法ヲ以テスルモ判事ノ裁判事務ニ干渉シ又ハ裁判事務ヲ取扱フコトヲ得ズ、斯ウ云フ規定ガアル、此規定ガアルニモ拘ラズ、行政官吏ヲ兼ヌルヲ得ズト云フ改正案ヲ提出セラル、所以ノモノハ、全ク人ノ問題デアアルデアリマス、此構成法ノ法規ヲ嚴守シテ、司法大臣選拔ヲ慎ンデ人宜シキヲ得シナラバ、此法文ガ——八十一條ガ直チニ保障シテ居ル判事檢事ノ職ニ在リテ裁判事務ニ干渉スルハ憲法構成法ノ條規ニ反ケルニ非ズヤ、汝檢事ノ職ニ在リテ裁判官ヲ指揮シ恰モ裁判事務ヲ取扱フカ如キコトヲ爲スハ憲法、裁判所構成法ノ條規ニ反ケルニ非ズヤト云フデア、叱ルコトノ利ケル程ノ監督官ヲサヘ得タラバ、高木君ノ此條文ヲ修正スルト云フノ必要ハ無クナルデアアル、人ノ問題デアアル、人ト云フ點ニ付キマシテハ福田君ノ意見、高木君ノ意見ハ各々私ハ賛成スルデアリマスケラ、人ヲ得ルト云フ途ヲ司法當局ニ責メテ、而シテ法ノ美ナルモノハ之ヲ迎ヘテ、サウシテ公平ニ立法府ノ面目ヲ保チタイト云フノガ私ノ意見デアリマス、私ハ劈頭ニ惜ムベシ、大ナル憲法問題ヲ閉却セリ——言ヒシコトハ裁判所構成法並ニ外三件ノ法律案デアリマスガ、試ミニ御紹介致シマスレバ、判事及檢事ノ休職並ニ判事ノ轉所ニ關スル法律案、此法案コソ私ハ安シテ居リマスガ、今福田君今高木君ガ論ゼラル、ガ如キ理由ノ下ニ意見ガ立ツナラバ、ソレヨリハモウ少シ——モウ少シ力アル、モウ少シ理由アル意見ガ立テラレルデアリマスケレドモ、私ハ憲法違反ニ非ズト云フコトヲ確信シテ居リマスケラ、反

對說ヲ豫想シテマデ意見ヲ述ベル程ノ暇ガアリマセヌカラ、コ、テ壇ヲ降ルデアリマス
○議長(大岡育造君) 松田司法大臣

(司法大臣松田正久君登壇)

○司法大臣(松田正久君) 本案ニ對スル賛成並ニ反對ノ御意見ヲ承リマシタ、司法當局者トシテ原案ヲ維持スルコトハ無論ノコトデゴザイマスガ、併シ本案賛成ノ御意見ニ依テ大概モウ盡キテ居リマスケラ、私ハ茲ニ原案ヲ維持說ヲ唱ヘル積リデモナイ、併ナガラ今人ノ問題モゴザイマシタカラ、之ニ付テ一言ヲ加ヘテ置キタイデアリマス、抑司法省ノ高等官ニ檢事ヲ採用シ來タト云フモノハ、是ハ司法省ノ經費ノ都合ヨリシテ斯クナッテ居ル次第デアリマス、若シモ司法省ノ參事官ハ經費サヘアリマシタラバ、五人モ十人モソレハ使フコトハ出來ルデアリマスガ、是マデノ所ニ於テ事務ノ多端ナルニ拘ラズ、參事官ト云フモノハ嚮ニ司法次官ガ述べタル如ク、僅ニ三人ナラバハナイデアアル、是デハ司法事務ノ取扱ガ出來ヌ、故ニ已ムヲ得ズ檢事ヨリシテ兼任ヲ致スト云フ習慣ニナッテ居タデアリマス、然レドモ是ハ極ク面白クナイ、故ニ官制改正ノ場合行政整理ノ場合ニ於テ、此習慣ハ改正致サナケレバナラスト云フコトハ、既當局者ニ於テ考ヘテ居ル譯デアリマス、且又司法省ノ高等官ガ檢事ヲ兼テ居ルカラト云フ檢事ノ勢力ヲ一般ノ司法官ニ及ボスデアリマシタ、決シテナイデアリマス、ヤハリ司法省ニ居レバ司法省ノ高等官トシテ仕事ヲスル、檢事ノ職務ヲ一般司法官ニ之ヲ持ッテ行クト云フコトハ決シテナイデアリマス、ソレデ此點ハ餘程取違ヘテ居ラル、ノデハナイカト思フカラ、茲ニ一言ヲ致シテ置クデアアル、尙又二百圓ヲ三百圓ニ改ムルト云フヤウナコトガアリマスガ、花井君ハ委員會ニ於テ之ヲ千圓ニ致サウト云フコトヲ言ハレタデアアル、是モ或ハ宜イカモ知レマセヌ、既ニ朝鮮ニ於テサヘモ千圓ニナッテ居ルデアアル、朝鮮ト内地ト致シタラウデアルカ、即チ千圓ニ致シテ宜イカモ知レマセヌガ、サウドウモ俄ニ二百圓ヲ千圓ニナスト云フコトハ餘リ急激ニ過ギルカラ、姑ク五百圓ニ止メテ置ク譯デアリマスケラ、是等ノコトモ能ク御承知アデ、ドウカ公平ニ御判斷ヲ願ハナケレバナヌデアリマス

○松田源治君 討論終結ノ動議ヲ提出致シマス

(討論終結賛成)ト呼フ者アリ

○岡田泰造君 發言ヲ御許シテ願ヒタイノデス

○議長(大岡育造君) 討論終結ノ動議ガ出テ居リマスケラ決ヲ採テ見マス、其上デ許シマス、討論終結ノ動議ガ出マシタガ御賛成ガアリマスケラ

(賛成々々)ト聲起ル

○議長(大岡育造君) 討論終結ノ動議ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

起立者 多數

○議長(大岡育造君) 多數、依テ討論ハ終結サレマシタ、決モ五案一括シテ採リマス、本案ノ第二讀會ヲ開クベシト云フニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

起立者 多數

○議長(大岡育造君) 多數

(「多數」少數)ト聲起リ「異議アリ」ト呼フ者アリ

○議長(大岡育造君) 唯今ノ確ニ立派ナ多數デアリマスケラ、二讀會ヲ開クコトニ決シマシタ

○松田源治君 唯今ノ修正意見ニ付キマシテハ、一讀會ニ於テ討論ハ盡サレテ居リマスケラ、私ノ通告ハ取消シマス、直チニ二讀會ヲ開キ讀會ヲ省略シテ……

(「ノウ」ト呼フ者アリ)

○議長(大岡育造君) マダ二讀會ヲ開キマセヌ、直チニ二讀會ヲ開クヤ否ヤノ説ガ未
ダ出ナイノデアリマスカラ……
○松田源治君 直チニ二讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シテ委員長報告通り可決確定
セラレンコトヲ望ミマス
(「ノウウ」)「賛成々々」ノ聲起ル

○議長(大岡育造君) 先ヅ五案ニ付テ二讀會ヲ開クノ宣告ヲ致シマス
第二讀會
裁判所構成法中改正法律案(政府提出)
判事及檢事ノ休職並判事ノ轉所ニ關スル法律案(政府提出)
提出) 第二讀會
裁判所廢止及名稱變更ニ關スル法律案(政府提出) 第二讀會
裁判所管轄區域ニ關スル法律案(政府提出) 第二讀會
判事懲戒法中改正法律案(政府提出) 第二讀會

○議長(大岡育造君) 少數意見ニ就テ定規ノ賛成ノ有無ヲ見マス、高木君等ノ少
數意見ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス
起立者 多數
(「多數々々」ノ聲起ル)
○議長(大岡育造君) 多數デアリマス、即チ修正トシテ成立ツダケノ賛成者ガアルト
認メマス、即チ少數意見ハ問題ニナリマシタ、依テ可否ヲ……
○松田源治君 問題ニナレバ討論致シマス
(「討論ノ必要ナシ」ト呼フ者アリ)
○議長(大岡育造君) 松田源治君
○松田源治君 直チニ高木君ノ修正説ハ否決セラレンコトヲ希望致シマス
(「採決」ト呼フ者アリ)
○議長(大岡育造君) 少數意見ハ日程第三ノ十四條、十六條、八十一條トスウア
リマスガ、別々ニ問フニ及バスト思ヒマスガ、如何デセウ別々ニ致シマセウカ
○松田源治君 一括シテ採決セラレンコトヲ希望致シマス
○議長(大岡育造君) 一括シテ可否ヲ問ヒマス、少數意見ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ求
メマス

起立者 少數
(「多數」ノ聲起ル)
○議長(大岡育造君) 少數
(「異議アリ」)「異議ノ申立ヲ致シマス」(「點呼々々」ト呼フ者アリ)
○議長(大岡育造君) 唯今異議ノ申立ガアリマスガ、異議ノ申立ニ定規ノ賛成ガア
リマスカ
(「賛成々々」ト呼フ者アリ)
○議長(大岡育造君) 異議ノ申立ニハ定規ノ賛成ガアルト認メマス、依テ記名投票
ヲ用井マス 閉鎖 靜肅ニ 宣告ヲ致シマス、修正説ニ賛成ノ諸君ハ白票、修
正説ニ反對ノ諸君ハ青票
(「開エマセヌ」ト呼フ者アリ)
○議長(大岡育造君) 高木益太郎君ノ修正説ニ賛成ノ諸君ハ白票 點呼
(書記氏名ヲ點呼ス)
○議長(大岡育造君) 投票漏ハアリマセヌカ 無イト認メマス、開鎖 書記官

長ヨリ投票ノ結果ヲ御報告致シマス
(林田書記官長期讀)

出席總員三百十七
可トスル者 百三十五
否トスル者 百八十二
(拍手起ル)

(本案少數者意見ヲ可トスル議員ノ氏名左ノ如シ)

岡田 泰藏君	犬養 毅君	高木 益太郎君	清水 仁三郎君
大口 喜六君	小西 和君	大内 暢三君	關 直彦君
古島 一雄君	高木 正年君	紫安 新九郎君	野添 宗三君
伊藤 英一君	平野 龜之助君	増田 義一君	田中 左司馬君
柏原 文太郎君	關 和知君	相島 勘次郎君	石田 仁太郎君
中山 梅治郎君	奥山 寛平君	濱田 國松君	青地 雄太郎君
市川 文藏君	柴田 源左衛門君	人見 米次郎君	中小路 與平治君
伊東 知也君	吉田 圓助君	有森 新吉君	守屋 此助君
山谷 虎三君	西村 丹治郎君	金尾 稜嚴君	村松 恆一郎君
土方 千種君	野半 介君	大原 義剛君	水野 正己君
高橋 義信君	河野 廣中君	中安 信三郎君	齊藤 隆夫君
福田 又一君	瀬野 軍之佐君	平井 熊三郎君	七里 清介君
中辰 之助君	島田 三郎君	小寺 謙吉君	神藤 才一君
大森 與三郎君	肥塚 龍君	加藤 政之助君	本田 恆之君
坂口 仁一郎君	川合 直次君	小野 貫一君	目黒 孝平君
坂島 八郎君	川上 淳一郎君	加藤 政之助君	綾部 惣兵衛君
矢島 次郎君	須藤 嘉吉君	辻 小勝君	鶴澤 宇八君
原 脩次郎君	岡 龍八君	杉 東太郎君	根津 嘉一郎君
安東 敏之君	岡 久次郎君	大野 龜三郎君	矢島 浦太郎君
山田 眞澄君	岡 善三郎君	村上 龜一郎君	鈴木 萬次郎君
山田 寅彦君	福田 貞造君	森上 覺平君	齋藤 宇一郎君
添田 飛雄太郎君	眞館 久次郎君	石田 孝吉君	野村 嘉六君
奥田 柳藏君	高橋 久次郎君	阪本 彌一郎君	秋田 謙次郎君
山道 襄一君	國光 五郎君	富田 幸次郎君	木下 謙次郎君
武内 作平君	片岡 直温君	狩野 雄一君	山田 謙次郎君
井手 三郎君	箕浦 勝三君	松村 時次郎君	安達 謙藏君
肥田 景之君	守 又三君	尾崎 行雄君	岡崎 邦輔君
森田 小六郎君	淺山 靖君	菊池 武徳君	岡崎 邦輔君
竹越 與三郎君	福澤 桃介君	田中 善立君	安田 伊左衛門君
牧野 彦太郎君	笠原 忠造君	岡部 次郎君	八田 裕二郎君
岩岡 伊代治君	澤來 太郎君	平出 喜三郎君	
小山 谷藏君	中川 虎之助君		

(本案少數者意見ヲ否トスル議員ノ氏名左ノ如シ)

奧繁三郎君	伊藤大八君	野田卯太郎君	山本悌二郎君
粕谷義三君	春田祐清君	吉田虎之助君	菅原傳君
三土忠造君	松田源治君	稻茂登三郎君	森久保作藏君
望月右内君	漆岡昌巖君	村野常右衛門君	本出保太郎君
植場平君	秋岡義一君	若尾幾造君	安村竹松君
井上篤太郎君	福井準造君	改野耕三君	丸尾光春君
高鍋篤郎君	安藤新太郎君	永見寛二君	横山寅一郎君
帆足隼太郎君	則元由庸君	中倉萬次郎君	若杉喜三郎君
高橋光威君	田邊熊一君	齋藤勝彌君	丸山豐治郎君
佐野喜平太君	指田義雄君	齋藤安雄君	大島寛爾君
齋藤圭次君	武藤金吉君	根岸悌太郎君	鶴澤總明君
吉植庄一郎君	板倉中君	長島鷺太郎君	小山田信藏君
小久保喜七君	飯田新右衛門君	太田直次君	關信之介君
濱名信平君	石川甚作君	横田千之助君	友常敏三郎君
田村順之助君	八木逸郎君	岩本平藏君	井上敏夫君
森茂生君	川村曄君	石黒磐君	三輪市太郎君
清水市太郎君	吉原祐太郎君	福岡精一君	伊東要藏君
清峯太郎君	岩崎勳君	堀内啓治君	松浦五兵衛君
小泉策太郎君	佐竹作太郎君	堀川鐵三君	岩崎總十郎君
佐々木文一君	早川六三郎君	日下義雄君	堀切善兵衛君
田代進四郎君	遠藤眞吉君	松本孫右衛門君	工藤善次君
吉田定之助君	井深彦三郎君	樋口喜輔君	工藤善太郎君
阿部德三郎君	鈴木源右衛門君	廣澤辨二君	戸狩權之助君
伊藤源藏君	長橋晴登君	熊谷五右衛門君	相川久太郎君
山本七朗君	米田大郎君	松田吉三郎君	上埜安太郎君
岩田大中君	木津太郎君	武部其文君	福岡世徳君
濱本義顯君	西谷金藏君	法橋善作君	福井三郎君
恆松隆慶君	島田俊雄君	小川藏次郎君	井上角五郎君
小出五郎君	申本康三君	佐々木仙一君	兒玉亮太郎君
土井重吉君	渡邊祐策君	林一坂俊太郎君	川真田徳三郎君
西風重遠君	中村啓次郎君	増田穰三君	渡邊修君
板東勘五郎君	白川友一君	白石直治君	岡田典常君
武庫太君	有馬秀雄君	友枝梅次郎君	樋口新次郎君
鶴原定吉君	吉原正隆君	富安保太郎君	加藤茂輔君
藏内治郎作君	元田正隆君	三浦覺一君	川原哲藏君
永江純一君	高田肇君	飛岡卯十郎君	江藤慶二君
松田政壯君	瀬戸山清彦君	志々目藤彦君	武満義雄君
奥田榮之進君	肥後靜雄君		

麓純義君 高嶺朝敬君 岸本賀昌君 高橋直治君

東武君 内山吉太君 三輪信次郎君 小泉又次郎君

濱岡光哲君 三谷軌秀君 石橋爲之助君 大西五一郎君

大竹貫一君 加瀬禎逸君 阿由葉鎗三郎君 松本恆之助君

尾崎元次郎君 橋本太吉君 花井卓藏君 久保通猷君

小田知周君 才賀藤吉君 横尾輝吉君

○議長(大岡育造君) 依テ高木君提出ノ修正ハ否決セラレマシタ

(拍手起ル)

○松田源治君 直チニ三議會ヲ開キ二議會ニ於テ決定セシ通リ可決確定セラレムコトヲ望ミマス

(賛成々々ト呼フ者アリ)

○議長(大岡育造君) マダ原案ヲ採リマセヌカラ、原案カラ採リマス、原案ニ對シテ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(大岡育造君) 御異議ナキモノト認メマス、松田君ヨリ直チニ三議會ヲ開クノ動議ガ出マシタ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(大岡育造君) 御異議ガアリマセヌカラニ議會ヲ開キマス

裁判所構成法中改正法律案 第三議會

判事及檢事ノ休職並判事ノ轉所ニ關スル法律案 第二議會

裁判所廢止及名稱變更ニ關スル法律案 第二議會

裁判所管轄區域ニ關スル法律案 第二議會

判事懲戒法中改正法律案 第三議會

○議長(大岡育造君) 三議會ニ於テ別ニ御異議モアリマセヌカラ……

(「異議アリ」ト呼フ者アリ)

○議長(大岡育造君) 何等ノ修正モ議論モ出マセヌカラ御異議ハナイモノト見ルノ外ハアリマセヌ、三議會ニ於テ可決シタルコトヲ宣告致シマス(拍手起ル)依テ五案トモ確定シマシタ、第一ノ營業稅法ヲ討議ニ付スコトニ致シタイト思ヒマス、御異議ハゴザイマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ日程ノ第一、營業稅法中改正法律案ノ第一議會ヲ開キマス

第一 營業稅法中改正法律案(政府提出) 第一議會

營業稅法中改正法律案ノ次ニ一證券買賣業ヲ加フ

第二條第二項中第二號ヲ左ノ如ク改ム

一定ノ製造場ヲ設ケス物品ヲ製造シテ販賣スル者

第二條ノ二 營業稅ヲ課スヘキ證券買賣業ハ一定ノ店舗其ノ他ノ營業場ヲ

設ケ公債券、社債券又ハ株券賣買ノ業ヲ營ム者ヲ謂フ
 第五條ノ二中「及輕便鐵道法」ヲ「輕便鐵道法又ハ軌道條例」ニ改ム
 第十二條 營業稅ハ左ノ課稅標準及稅率ニ依リ毎年之ヲ賦課ス

業名	課稅標準	稅率
物品販賣業	賣上金額 從業者ノ內職工勞役者 小賣(甲)五分ノ十二 小賣(乙)五分ノ二十 一千分ノ八十 一八分ノ二五	卸賣(甲)五分ノ八 卸賣(乙)五分ノ十二 一八分ノ二五
證券買賣業	賣上金額 從業者ノ內職工勞役者 萬分ノ一 一千分ノ八十 一八分ノ二五	一八分ノ二五
銀行業	資本金 從業者ノ內職工勞役者 萬分ノ三 一千分ノ八十 一八分ノ二五	一八分ノ二五
保險業	資本金 從業者ノ內職工勞役者 千分ノ二 一千分ノ八十 一八分ノ二五	一八分ノ二五
金銀貸付業	運轉資本金 從業者ノ內職工勞役者 千分ノ六 一千分ノ八十 一八分ノ二五	一八分ノ二五
物品貸付業	運轉資本金 從業者ノ內職工勞役者 千分ノ八十 一八分ノ二五	一八分ノ二五
印刷製造業	資本金 從業者ノ內職工勞役者 千分ノ三 一千分ノ八十 一八分ノ二五	一八分ノ二五
寫真業	資本金 從業者ノ內職工勞役者 千分ノ八十 一八分ノ二五	一八分ノ二五
製造業	資本金 從業者ノ內職工勞役者 千分ノ五 一千分ノ八十 一八分ノ二五	一八分ノ二五
運送業、運河業、機械業、船舶業、貨物搬揚業	資本金 從業者ノ內職工勞役者 一八分ノ二五	一八分ノ二五
倉庫業	從業者ノ內職工勞役者 一八分ノ二五	一八分ノ二五
鐵道業	從業者ノ內職工勞役者 一八分ノ二五	一八分ノ二五
請負業	從業者ノ內職工勞役者 一八分ノ二五	一八分ノ二五
席業	從業者ノ內職工勞役者 一八分ノ二五	一八分ノ二五
料理店業	從業者ノ內職工勞役者 一八分ノ二五	一八分ノ二五

旅人宿業	收入金額
從業者	千分ノ一 一八分ノ二五

物品販賣業中、米、麥、豆、石油、肥料、鹽、煙草ヲ販賣スル者ノ賣上金額ニハ卸賣、小賣共ニ甲ノ稅率ヲ適用シ、繭、生絲、白絹布、棉花、綿、白綿絲、白綿布、紙、砂糖、麥粉ヲ販賣スル者ノ賣上金額ニハ卸賣ニ在リテハ甲、小賣ニ在リテハ乙ノ稅率ヲ適用シ、其ノ他ノ物品ヲ販賣スル者ノ賣上金額ニハ卸賣、小賣共ニ乙ノ稅率ヲ適用ス
 營業者ヲ除クノ外從業者中十五歲未滿ノ者ニ付テハ第一項稅率ノ二分ノ一トス
 第十五條中「物品販賣業」ノ下ニ「證券買賣業、倉庫業」ヲ加ヘ同條第二項但書ヲ左ノ如ク改ム
 但シ內國ト外國トニ涉リ店舖其ノ他ノ營業場數箇所アルモノニシテ資本ヲ區分セサルモノハ內國ニ於ケル課稅標準ヲ見積リ主タル店舖其ノ他ノ營業場內國ニ在ルトキハ合算シテ之ヲ課シ內國ニ在ラサルトキハ各別ニ之ヲ課ス

第十六條 課稅標準ト爲スヘキ賣上金額、收入金額、請負金額及報償金額ハ前年中ノ總額ニ依リ之ヲ計算ス但シ前年中ニ開業シタル者ハ豫算ニ依ル
 第十六條ノ二 課稅標準ト爲スヘキ資本金額ハ左ノ區別ニ依リ之ヲ計算ス
 一 銀行業及保險業ヲ除クノ外會社ニ在リテハ前年中各月末ニ於ケル出資金額、拂込株式金額各種ノ積立金額其ノ他積立金ノ性質ヲ有スル資產金額ノ月割平均額ニ依リ個人ニ在リテハ他ヨリ借入レタルト否ト問ハス前年中各月末ニ於ケル固定資本及運轉資本ノ月割平均額ニ依ル
 二 銀行業及保險業ニ在リテハ前年中各月末ニ於ケル出資金額、拂込株式金額、各種ノ積立金額其ノ他積立金ノ性質ヲ有スル資產金額ノ月割平均額ニ依ル但シ保險責任準備金ノ二分ノ一及保險支拂備金ハ之ヲ控除ス

第十六條ノ三 課稅標準ト爲スヘキ借入金額ハ前年中各月末ニ於ケル各種ノ預金額、社債金額其ノ他ノ借入金額ノ平均現在高ノ二分ノ一ニ依リ之ヲ計算ス但シ日本銀行及橫濱正金銀行ノ政府預金ハ之ヲ控除ス
 第十六條ノ四 課稅標準ト爲スヘキ運轉資本金額ハ前年中各月末ニ於ケル貸付金及貸付ヘキ金額又ハ物品ノ見積價格トシ月割平均ヲ以テ之ヲ計算ス

第十六條ノ五 課稅標準ト爲スヘキ建物賃賃價格ハ貸主カ公課、修繕費其ノ他土地又ハ建物ノ維持ニ必要ナル經費ヲ負擔スル條件ヲ以テ店舖其ノ他營業用ノ土地建物ヲ賃賃スル場合ニ於テ貸主ノ收得スヘキ金額ノ前年中ノ平均額ニ依リ之ヲ算定ス
 同一區域內ニ在ル住居用其ノ他ノ土地建物ニシテ間接ニ營業ニ使用スルモノハ營業用トシテ計算ス

營業稅法中改正法律案 第一讀會

第十六條ノ六 課稅標準ト爲スヘキ從業者ハ名義ノ何タルヲ問ハス總テ營業ニ從事スル者ノ前年ニ於ケル最多數ノトキニ依リ之ヲ計算ス

第十六條ノ七 新ニ開業シタル者ニ付テハ豫算ヲ以テ其ノ課稅標準ヲ計算ス

第十七條 第一條ニ掲ケル營業ト同條ニ掲ケサル營業トヲ兼營シ又ハ資本金額ヲ課稅標準ト爲ス營業ト之ヲ課稅標準ト爲ササル營業トヲ兼營スルトキハ第十六條ノ二ノ規定ニ依リ計算シタル資本金額ヨリ第一條ニ掲ケサル營業又ハ資本金額ヲ課稅標準ト爲ササル營業ニ對スル見積資本金額ヲ控除シタルモノヲ以テ課稅標準トス

第十八條 第十六條ノ二ノ規定ニ依リ計算シタル製造業ノ資本金額カ前年ノ資本金額ニ對シ五分ノ一以上増加シタルトキハ其ノ増加額ハ二年間之ヲ課稅標準ヨリ控除ス但シ二年繼續シテ資本金額ヲ増加シタル場合ニ於テ前年ノ資本金額ニ對シ五分ノ一以上増加シタルトキハ其ノ年ニ限り之ヲ控除ス

第十九條 納稅義務ヲ有スル營業者第十三條ノ届出ヲ爲ササルトキ又ハ其ノ届出テタル課稅標準ヲ不相當ト認ムルトキハ政府ハ其ノ課稅標準ヲ算定スルコトヲ得

第二十條 其ノ年五月、十一月「第一期ハ其ノ年五月一日ヨリ三十一日限第二期ハ其ノ年十一月一日ヨリ十五日限」ニ改ム

第二十九條 中「資本金額」ヲ「資本金額、運轉資本金額、借入金金額」ニ、「以上」ヲ「未滿ニ」ニ、「以下」ヲ「未滿ニ」改メ「届出人員」ヲ削ル

第三十條 中「翌年一月迄」ヲ削ル

第三十一條 中「資本金額」ヲ「資本金額、運轉資本金額、借入金金額」ニ改メ「届出人員」ヲ削ル

第三十三條 中「營業者ニ尋問」ヲ「營業者若ハ之ト取引關係アル者ニ質問」ニ改ム

第三十四條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ五十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

一 第十三條ノ届出ヲ爲サス又ハ虛偽ノ届出ヲ爲シタル者

二 第三十二條ノ帳簿ヲ調製セス、之ヲ隱匿シ又ハ虛偽ノ記載ヲ爲シ若ハ記載ヲ怠リタル者

三 收稅官吏ノ質問ニ對シ答辯ヲ爲サス若ハ虛偽ノ陳述ヲ爲シ又ハ其ノ職務ノ執行ヲ拒ミ、之ヲ妨ケ若ハ忌避シタル者

第三十四條ノ二 營業稅ヲ逃脫シタル者ハ脱稅金高三倍ノ罰金又ハ科料ニ處ス但シ自首スル者ハ其ノ稅金ヲ追徵シ其ノ罪ヲ問ハス

第三十四條ノ三 營業稅ノ調査又ハ審査ニ參與シタル者其ノ調査又ハ審査ニ關スル事項ヲ他ニ漏洩シタルトキハ二十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

前項ノ規定ニ依リ處罰セラレタル者ハ其ノ職ヲ失フ

附則
本法ハ大正三年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

○大藏大臣(男爵高橋是清君) 諸君唯今議題ニ上リマシタ營業稅法中改正法律案ノ提出ニ付キマシテ、其理由ノ大體ヲ説明致シマス、營業稅法ハ先キ明治四十二年法律第四號ヲ以テ修正シ度改正ニナリマシタ……

○議長(大岡育造君) 靜肅ニ願ヒマス、私語ヲ禁ジマス

○大藏大臣(男爵高橋是清君) ヲレト同時ニ非常特別稅法中營業稅ニ關係シマスル規定ハ廢止ニナリマシタ、併シ其改正ハ營業稅ヲ課スベキ各業體ヲ通ジマシテ、略々均一ノ割合ヲ以テ稅率ヲ輕減致シマシタルモノデゴザイマス、而シテ其各業體ニ於ケル課稅ノ標準及稅率ノ不均衡ヲ矯正スルニハ至リマセマデゴザイマス、又其減額ノ高モ約二百萬圓ニ止リマシタ、今回第一ニ負擔ノ權衡ヲ保タシムル方針ヲ以テマシテ、課稅標準ノ種類及其算定ノ方法並ニ稅率ノ按排ヲ改正致シマシテ、併セテ負擔ノ輕減ヲ計ルノ目的ヲ以テマシテ、各業體ニ互テ稅率ヲ輕減スルコトニ致シマシタ、且其他現行法ノ不備ナル點ニ付キマシテ改正ヲ爲シタルモノデゴザイマス、而シテ此改正ニ依リマスル所ノ減稅ノ高ハ、約三百十三萬圓デゴザイマス、而シテ明年即チ大正三年一月一日ヨリ施行スルコト、致シマシタ次第デゴザイマス、何卒速ニ御協賛ヲ與ヘラレムコトヲ切ニ希望致シマス

○石橋爲之助君 質問ガアリマス

○議長(大岡育造君) 石橋爲之助君

○石橋爲之助君 唯今負擔ノ輕減ヲ計ルノ目的ヲ以テ、營業稅法中改正法律案ノ御提出ニナリマシタガ、其目的トセラル、所ノ負擔ノ輕減ト云フコトハ、最も必要ヲ感ズルコトハ中スマデモナイコトデアリマス、併シ此所ニ御尋ナシナケレバナラヌコトハ、政府ハ其必要ヲ感ジテ負擔ノ輕減ヲ爲スノ案ヲ提出シテ居ルニ拘ラズ、現時ノ實情ヲ見マスレバ、折角ノ此減稅案ヲ其效果ナカラシムルガ如キ事實ガ存在シテ居ルノデアリマス、ツレハ明治四十二年度ノ歲入歳出總決算ニ就テ、事實ヲ舉ゲテ見マスレバ歳入ノ部ニ於テ四十二年度ニ營業稅ハ不納稅額トナシテ居ルトコロノモノガ、約九萬圓アリマス、租稅ノ全體ノ不納稅額ハ不納稅額トナシテ居ルトコロノモノガ、約九萬圓アリマス、租稅ノ全體ノ不納稅額ハ不納稅額トナシテ居ルトコロノモノガ、約九萬圓アリマス、其不納稅額ノ多キコト推シテ知ルベシデアリマス、是ハ抑、何ニ原因スルノデアリマスカト言ヘバ、無論此營業ノ稅率其モノガ過重ニ失シテ居ルト云フコトハ一ツノ大ナル理由ニ相違アリマセヌ、併ナガラ他ノ一方ニ尙此不納稅者ヲ多カラシムル所ノ原因トナレムモノハ、稅務官吏ノ苛斂誅求ト云フコトデアリマス、他ノ稅ニ付テモ其弊害ハハリ無キニシモアラズデアリマスケレドモ、最も其弊ノ甚ダシキモノハ此營業稅デアリマス、現ニ此項稅務署ニ申告ヲ爲シテ、サウシテ其決定ヲ與ヘル時期ニ際シテ居リマスルガ、近頃地方ニ於ケル新聞ノ報ズルトコロヲ見マシテモ、此苛斂誅求ノ弊ハ依然トシテ革ラザルコトヲ證據立テ、居ルノデアリマス、是ハ一方ニ稅率ヲ減ジテモ、稅務官吏ノ手心ヲ以テ認定權ヲ以テ其課稅ヲ多クシタルト云フコトデアラナラバ、此法律案ガ可決サレテモ何等ノ效ヲモナサヌコトニナルノデアリマス、殊ニ稅務官吏ガ如何ナル方法ニ依テ苛斂誅求ヲスルカト云ハバ、多クノ實例ハ前年度ノ約一割若クハ二割ヲ増加シテ居出ツベシト云フコトヲ、命令的ニ申渡スノデアリマス、營業ノ盛衰ニ拘ラズ前年度ノ一割若クハ二割ヲ増スト云フヤ

ウナ方針ヲ以テ國民ニ臨ムノデアリマス、サウシテソレニ對シテ到底堪ヘ切レナイトコロノ實情ヲ申シテ、相當ナル居出ヲセントシテモ、稅務官吏ハ斷乎トシテソレヲ聞入レナイノデアリマス、サウシテ稅務官吏ハ恣ニ營業時間ニ營業者ノ店ニ侵入ヲ致シテ、帳簿ヲ勝手氣儘ニ披見シテ、營業ヲ妨グ且ツハ食事ノ時間ニ附込シテ、或種ノモノヲ暗ニ要求スルガ如キ態度ヲモ示シテ居ルノデアリマス、斯ウ云フヤウナ實例ヲ以テ、官吏ハ誅求至ラザルナシト云フ現狀デアリマスガ故ニ、政府ハ此案ヲ提出スル以上ハ斯ノ如キ事實ヲ放任シテ置カ、若シ之ヲ許シテ置クト云フコトデアラナラバ、吾ハ先キニアリマスニコロノ營業稅廢止案ニ贊成シナケレバナラヌト云フヤウナコトニ立到ラフト思フノデアリマス、故ニ政府ハ此際ソレニ對シテ如何ナル態度ヲ持スベキヤト云フコトノ言明ヲ得タイノデアリマス、今日ノヤウナ實情デアッ見レバ、政府カラ斯ノ如キ方針ヲ授ケテ稅務官吏ニ増收ヲ獎勵スル結果デハナカラウカト云フコトヲ疑ハシメルノデアリマスカラ、其邊ニ對シテ充分ナル御辯明ヲ承リタイト思ヒマス

(政府委員菅原通敬君登壇)

○政府委員(菅原通敬君) 唯今石橋君ヨリ御尋ニナリマシタコトニ付テ御答致シマス、營業稅ノ徵收成績ノ不良デアルト云フコトハ、全ク御述ニナツタ通りデアリマス、從テ四十三年度ノ決算等ニ於テ、納稅缺損額ガ他ノ諸稅ニ比較シテ多イト云フコトモ事實デアルノデアリマス、是ハ政府ニ於テモ心配ヲ致シテ居ルトコロデアリマス、此納稅缺損額ノ多イ徵稅成績ノ不良デアルト云フ原因ハ、一ツハ租稅ノ負擔ノ重イト云フコトモ原因致シテ居ルニハ相違ナイノデアリマス、併ナガラ又一方ニハ他ノ諸稅トハ違ヒマシテ、是等ノ納稅者ハ常ニ轉出入ノ甚ダ頻繁ナルモノデアリマス、故ニ地租デアルトカ、或ハ所得稅デアルトカ云フガ如キ一定ノ納稅場所ニ於テ、常ニ變リナク納付スルト云フヤウナコトニ參ラヌ向キガ多イノデアリマス、此事モ納稅不成績徵收不良ト云フコトノ原因ヲナスコトニナツテ居ルノデアリマス、勿論政府ニ於テモ營業稅ノ負擔ノ餘リ輕キニアラズト云フコトヲ認メテ居リマスガ故ニ、今回輕減ノ意味ニ於テ整理スルト云フコトニナツタノデアリマス、ソレカラ又收稅官吏ノ苛斂誅求ト云フコトガ、今日ノヤウナ有様デアル以上ハ、更ニ法律ヲ改正シテ稅率ヲ引下ケテモ、少シモ減稅ノ實ヲ舉ゲルト云フコトニハナラヌデハナイカ、ソレ等ニ對シテハドウ云フ考デアラカト云フ第一ノ御尋デアリマスガ、此收稅官吏ノ取扱ニ付テハ常ニ皆樣ヨリ御警告ヲ頂戴スルノデ、常ニ最モ注意ヲ致シテ居ルノデアリマス、ソレデアリマスガ故ニ御批難ノアルコトニ付テハ常ニ意ヲ用井テ矯正ヲ計ツテ居ルノデアリマス、收稅官吏ニ對シテモ常ニ其訓令ヲ怠ラヌノデアリマス、就キマシテ今回稅率ヲ改正シマシテ租稅ノ負擔ヲ輕減スルト云フコトヲ計畫シマシタ以上ハ、此法律ノ實行ノ上ニ於テ必ズ減稅ノ實ヲ舉ガルコトヲ期スル積リデアリマスカラ、御安心ヲ願ヒマス

○松田源治君 本案ハ重大ナル案ナルニ依リ議長指名二十七名ノ委員ニ付託セラレシコトヲ望ミマス

○議長(大岡育造君) 第二ノ日程ニ移ツテ委員ノ選舉ニ移リマス

第二 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○議長(大岡育造君) 松田源治君ノ議長指名二十七名ノ委員ニ付託スルト云フ動議、之ニ御異議アリマセスカ
(異議ナシト呼ブ者アリ)

○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ松田君ノ動議ノ如ク決シマシタ、日程第八、地租條例中改正法律案ノ第一讀會ヲ開キマス、提出者金尾稜嚴君

第八 地租條例中改正法律案(金尾稜嚴君外四名提出) 第一讀會

地租條例中改正法律案

地租條例中左ノ通改正ス

第一條第一項中「田畑地價百分ノ四箇七」ヲ「田畑地價百分ノ四箇」ニ改ム
同條第二項中「田畑地價百分ノ三箇四」ヲ「田畑地價百分ノ三箇」ニ改ム

附則

本法ハ大正二年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

(金尾稜嚴君登壇)

○金尾稜嚴君 諸君、本員外四名ヨリ提出致シマシタル地租條例中改正法律案提出ノ理由ヲ述ベマス、地租條例中改メマス箇條ハ第一條第一項ノ「田畑地價百分ノ四箇七」トアリマスノヲ改メテ「田畑地價百分ノ四箇」ニ改メマス、同上第二項中ノ「田畑地價百分ノ三箇四」トアリマスノヲ「田畑地價百分ノ三箇」ニ改メマス、御承知ノ通り現行ノ地租ハ日露戰役ノ當時三十八年ニ於テ戰時非常特別稅トシテ前後二回ノ増稅ヲセラレタノデアリマス、其結果田畑地租ノ如キハ地價百分ノ五歩五厘ニマデナツテ居リマシタトコロ、第二十七議會ニ於キマシテ其中ノ八厘ヲ減ジマシテ、現在百分ノ四箇七ニナツテ居リマスコトハ申上ケルマデモナク皆御承知デアリマス、此日露戰役ノ當時非常特別稅トシテ増サレマシタ稅ハ其後段々改メタモノモアリマスシ、今日以後稅制ノ整理ヲシテ之ヲ改メネバナラヌト云フコトハ、皆御異論ノナイコト、思ヒマス、然ルニ地租ノ如キハ最モ急激ノ變化デアリマシテ、一歩五厘ノモノガ一年ノ間ニ二歩増シタノデアリマス、八厘ヲ減ジマシテモ尙非常特別稅トシテ増サレマシタ稅ハ尙二歩二厘殘ツテ居ル譯デアリマス、之ヲ悉ク舊ノ稅ニ戻スト云フコトハ財政ノ狀態ニ於テ許シマセヌガ、セメテ四歩七厘ニナツテ居リマスルトコロノ七厘ガケラ減ジタイト云フノガ田畑地租ニ對スルトコロノ改正案ノ趣意デゴザイマス、反對ノ論カラ申シマスルト、今日ハ米價ガ非常ニ騰貴致シテ居ルデ、農民ハ極メテ裕デアル、之ヲ輕減スル必要ハナイト云フトコロノ御論モアルカモ存ジマセヌガ、米價騰貴ノタメニ喜ビマスル農民ハ大地主デアリマス、一番ニ農村ノ骨子トナツテ居リマスル基礎トナツテ居リマスルトコロノ中農小農ノ如キハドウデアラカト申シマスルト、決シテ米ノ高イガタメニ樂デナイノデス、一番全國デ多數ヲ占メテ居リマスルトコロノ小農ハ所謂五段百姓ト唱ヘマス、彼ノ一町未滿ノ田地ヲ持ツテ居ル百姓デアル、此等ノ今日ノ狀態ヲ極ク簡單ニ述ベマスガ、先ツ田地ヲ五段持ツテ居ルトコロノ百姓、ドレホド米ガ出來ルカト言ヒマスルト先ツ平均一段ニ付テ二石デゴザイマセウ、又麥ハ一段ニ付テ一石五斗出來ル、此米ガ五段ニ付テ十石出來マスル中カラ、家族五人アルモノト看マシテ一人分ノ飯米ガ即チ一人ニ付テ一日二合五勺ノ米ヲ食ヘルモノトシマシテモ、一年ニ四石五斗ノ食料ヲ除ケテ置カネバナラヌ、麥ハ一段ニ付テ一石五斗デゴザイマスカラ、七石五斗ノ中カラ是亦麥一人ニ付テ二合五勺、ノ食料ヲ除ケテ置キマスルト四石五斗、之ヲ引イテ置カネバナラヌ、アトニ殘リマスモノガ米ガ五石五斗ト麥ガ二石デゴザイマス、之ヲ假ニ米ガ二十圓致シマスルモノト致シマシテ、即チ五石五斗デゴザイマスカラ此代ガ即チ百十圓、麥ガ二石アリマスルモ

ノヲ一石十圓ト見マシタコト此代ガ三十圓、合セテ百四十圓ノ中デノ負擔ハドウデアルカト申シマス、法定地價ノ四十圓ニ對シマスルコト四歩七厘ト申シマスレバ、五段ノ地租ガ即チ九圓四十錢、之ニ地方稅町村費等ノ總テノ掛リ物ヲ合セマスルト云フト十八圓八十錢デゴザイマス、百四十圓ノ中カラ先ツ是デケハ是非引カネナリマセヌガ、此外ニ何ガ要ルカト申シマスレバ即チ農民ノ一番大切ナ肥料、此肥料ハ近來最モ高クナッテ居リマス、先ツ一段歩ニ付テ六圓ノ肥料ヲ要スルモノト見マス、是ニ又麥ノタメニ肥料ノ要リマスルモノガ一圓五十錢ト見マシテ七圓五十錢デゴザイマス、是ト前ノ租稅地方稅町村費等ノ負擔ヲ合セマスルト云フト、五十五圓五十錢ト云フモノハ通レルコトノ出來ナイ支出額デアリマス、殘リハ八十五圓デゴザイマス、此八十五圓ノ中デ農民ノ營繕モ致サネバナラス、牛モ飼ハネバナラス(「簡單々々」ト呼ビ又「委員會デ願ヒマス」ト呼フ者アリ)衣服家屋ノ修繕費、薪炭、副食物、小供ノ教育費「簡單」ト呼フ者アリ)冠婚葬祭等ノ費用ニ充テマスルノ一箇月七圓ニシカ當リマセヌ、是ハ眞ニ實際農家ノ狀態デアル、而モ此困難ナル可憐ナル農民ガ日本ノ基礎トナッテ居リノデアリマス、斯ウ云フ有様デゴザイマスルカラ、年々小農ハ百姓ヲ止メマシテ他ノ業務ニ移ル、年々五十万人内外農業ヲ止メルト云フ有様ニ今日ナッテ居リマスルコトハ、統計上ノ示ストコロデ明カナコトデゴザイマス(「小農保護デスカ此案ハ」ト呼フ者アリ)ソレ故今日ノ有様デ參リマスルト農村ノ荒廢、從テサナキダニ内地ニ於テ食料品ノ不足ヲ益、此上ニ感ズルヤウニナリマシテ(「日程ガ澤山アリマス」ト呼フ者アリ)海外ヨリ輸入シナケレバナラス結果ニナルノデゴザイマス、故ニセメテハ七厘ヲ減ジテ地價百分ノ四ト改メテ民力ヲ休養シタイ、況ン關稅ノ撤廢ナド、云フ意見モ段々ゴザイマス、斯ウ云フコトガ行ハレマスレバ尙更ノコト、ソレハ行ハレマセヌニシテモデス、今日ノ既ニ米ガ二十圓スル當時ノ有様ガ、唯今略シテ申上ゲタヤウナ次第デゴザイマスカラ、ドウカ百姓ハ至ッテ進ンデ事ヲ爲スコトノ出來ナイ者デアリマスカラ、何モ今日地租輕減ヲシテ貰ヒタイ杯ト云フヤウナコトヲ他ノ者ト同ジヤウニハ申シマセヌガ、此機ハベキ農民ノためニ、セメテハ臨時非常特別稅ノ中デ、殘ジテ居リマスル今日ノ中尙七厘ガモ減シタイ、是ガ改正ノ趣意デゴザイマス、御贊成下サルヤウニ御願ヒ致シマス、是デケ申シマス(拍手起ル)

○松田源治君 本案ハ議長指名十八名ノ委員ニ付託セラレムコトヲ望ミマス

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ議長指名十八名ノ委員ニ付託致シマス

日程第九、通行稅法廢止法律案、土方千種君

第九 通行稅法廢止法律案(關直彦君外三名提出) 第一讀會

通行稅法廢止法律案
附則
通行稅法ハ之ヲ廢止ス

本法ハ大正二年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

(土方千種君登壇)

(拍手起ル)

○土方千種君 本案ハ極ク簡單ニ理由ヲ申上ゲテ置キマス、大體本案ノ通行稅廢止ト云フ事柄ニ關シマシテハ、モウ長ク口ヲ費ス程ノコトデヤナイ、世ノ中ニ惡稅ト云フモノハ何ダト云ツタナラバ、誰デモ是ハ惡稅デアルト云フコトヲ稱シテ居ル、ソレデ政府モ

既ニ其事ニ就テハ現政府ガ既ニ此三稅ノ惡稅ダト云フコトニ就テハ稍々悟ラレタ模様が見エル、既ニ鹽稅ニ關シテハ輕減ヲシヤウト云フマデ進マレタ、吾々ハ大イニ喜ンデ、併ナガラ之ヲ以テ決シテ満足スルノデヤナイ、而シテ茲ニ提案ヲスルノ已ムヲ得ナイト云フハ、彼ノ三稅中惡稅トシテ呼バレル織物稅ニ關シマシテハ、世ノ進運ニ從ッテ幾ラカ又寬恕スベキ點モ出デ居ル、併ナガラ此通行稅ト云フ點ニ就テハ最モ諸君ト共ニ攻究ヲ要スル點デアル、ト云フモノハ既ニ政府ニ於テモデス、餘程進ンデ——減稅ト云フ事柄ニ就テハ進ンデ頭ヲ持ッテ來ラレタト云フコトニ就テ悅ブトコロデゴザイマスガ、此惡稅トカ何ト云フ點ニ就テ、モウ既ニ數回殆ド六七七年ト云フモノハ、此議會ニ鳴ラサレタコトデアッテ、諸君ノ耳ヲ聾ニシテ居ルノデカラ、惡稅デアル此法律ノ制定ガ惡ルカッタカ、手續ガ惡ルカッタカト云フコトハ全ク論ゼズ、僅ニ此處ニ立ッテ一ノ例ヲ舉ゲテ置カウト云フモノハ、政府ガ此議會ニ提出シナリマシタ所得稅改正法案、此方カラ一ツ論ジテ見ヤウト思フ、所得稅改正法案ニ依リマスルト、吾々ノ満足スル程度デハゴザイマセヌガ、免二角三百圓マデノ收入ニ關スル從來ノ稅率ヲ改メテ、是ガ免除スルコト云フコトニナル、サウシテ三百圓ニ對スル一箇年ノ稅率ト云フモノハドノ位ニ當リマセウカ、百分ノ一即チ三圓、是非非常稅——特別稅ヲ加ヘマシタコトデ、六圓カ七圓ニハ當ラナイ、地方稅共ニツレ位ノモノデアル、然ルニ此通行稅ニ就テマス、吾々ハドウカ忍ブベキデゴザイマスガ、朝ニハ星ヲ戴キ夕ニハ月ヲ仰イテ歸ッテ來ル、此ノ細民勞働者職人等ノ此法被律天ト云フヤウナ人間ガ一日ニ於テ何回ツ、往復ニ——假リニ往復二回ダケト見マシテモ日々僅カノ給料ノ中カラ一錢ツ、仕拂シテ居ル、此日ニ二錢ト云フモノガ、假リニ本人ダケトシマシテモ月ニ六十錢、一年ニ六圓以上ニ當ル、而シテ是等ニハ家族ガナイデハナイ、實ニ憐ニベキ家族ガアル、夫ノ歸ッテ來ルノヲ待ッテ——釜ヲ洗ウテ待ッテ居ル、是等ノ細民ニ對シマシテ吾々同様に稅ヲ課ケルト云フガ如キコトハ實ニ惡然デアル、惡稅コトハ此點ニ於テモ分ラウト思フ、而シテ今政府ハ幸ニモ三百圓乃至ノ腰辨當ト云ツテハ甚ダ惡ルイカ知ラヌガ、免二角小役人、ヤハリ小商人トニ致シテハ相當ナル保護ヲ與ヘルコトニナツタ、併ナガラ此小商人小役人ニ對シテ保護ヲ與ヘテ、彼ノ法律被服連中ニハ保護ヲ與ヘナイト云フコトハ甚ダ遺憾ナ次第デアル、最モ此通行稅ノ法律ノ中ニ回數券ト云フモノガアツテ、之ニ付テ幾ラカ別段便利ナ方法ガアルデヤナイカ、斯ウ云フ問題ガ出ルカモ知レナイ、併ナガラ前ニモ申ス通り彼ノ勞働者ノ如キハ全ク夫等ヲ買フ餘地ヲ持タナイ、小役人トカ或ハ商人トカ云フモノハ、或ハ月末トカ云フ場合ニナツタナラバ、回數券ノ二十回ヤ五十回買フ餘地ガ出テ來ルカモ知ラヌガ、併ナガラ日雇ノ勤勞シテ居ル者ハ夫等ノ餘地ガ出ナイ、餘地ガ出ナイカラ却ッテ税金ヲ拂ハナケレバナラス苦境ニ陥ルノデアル、苦境ニ居ルノデアル、是等ニ對シテ回數券ヲ買ヘトカ云フヤウナコトヲ強ユルコトハ、或一派ニ對シテ憲政擁護ヲ強ユルヨリモマダ難カラウカモ知レヌト私ハ思フ、故ニ宜シク細民ヲ保護スベシ、併シ此細民ヲ保護スルト同時ニ全廢ヲシタナラバ、中流以上ノ人間マデ便宜ヲ得ルデハナイカ、斯ウ云フコトニナルカハ知ラヌ、併ナガラ此點ニ就テハ全廢致シマシテ行政整理ノ結果トシテハ充分餘地ヲ得ルコト、信ズルノデゴザイマス、萬一是ハ餘地ガナイトシマシテモ、補填スベキ餘地ガナイトシマシテモ、マダ中流以上ノ使フコトノ奢侈稅ニ付テ——奢侈物等ニ就テマダ課稅ノ餘地アルコトヲ信シマス、宜シク諸君ニ御贊成ヲ得タイ、是マデ申シテ置キマス簡單ニ……

○松田源治君 本案ハ前ノ日程地租條例中改正法律案ト同一ノ委員ニ付託セラレ

○議長(大岡育造君) 本案ハ前日程ト同一委員ニ付託スルニ御異議ナシト呼フ者アリ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長(大岡育造君) 御異議ナシト呼フ者アリ前ノ日程ト同一委員ニ付託スルコトニ致シマ
ス、日程第十、石油消費税法廢止法律案第一讀會ヲ開キマス、増田義一君

第十 石油消費税法廢止法律案(増田義一君外五名 第一讀會 提出)

石油消費税法廢止法律案
石油消費税法ハ之ヲ廢止ス

附則
本法ハ大正二年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

(増田義一君登壇)
(拍手起ル)

○増田義一君 本案ハ讀テ字ノ如ク、石油消費税法ヲ全廢スルコト云フノデアリマス、本
税法ハ明治四十一年三月ヨリ實施サレタノデ、石油一石ニ付テ一圓、課税サレテ居
ルノデアリマス、申スマデモナク此ノ石油消費税法ノ負擔者ハ、所謂石油ノ消費若シモ酒
ヲ飲ム人ガ酒ノ税ヲ拂フト同一ナコトデアリマス、所デ近來電燈瓦斯ノ事業ガ著シク發
達シテ來マシテ、大都會、中都會、小都會ニ至ルマデ、此電燈瓦斯ノ消費スル人ガ殖エ
テ來マシタノデ、是ニ向テハ無論消費税法課税デアリマセヌ、ソレハ「アカリ」ニ向テ税ヲ課
スルコト云フコトハ非文明デアル、極端ニ云ヘバ日光ニ向テ之ヲ與ヘルコトヲ惜ムト同シ
結論ニナルノデアリマス、ソコデ今日ノ石油消費者ノ狀態ニ付テ見マスレバ、地方ノ農家
ノ細民ナドニ於キマシテハ夜業ニ藥細工ヲヤル、或ハ又小サナ工業家、殊ニ日本ハ家
庭工業ガ多クイデゴザイマス、少サナ家庭工業ヲヤルモノ、是等ノモノガ五分心ノ
「ランブ」ヲ二分心ニ儉約シテ使ッテ居ルヤウナ有様デアル、又大都會ニ於テ大道デ夜
店ヲ張ッテ居ルモノ、是ガ石油ヲ使ッテ居リマス、而シテ税ヲ負擔シ居ル所ガ、其傍ニ堂々
タル商店ガ電燈瓦斯ノ赫々タル燈火ヲ使フ、是ハ消費税法課税サレテ居ラヌト云フ、此
比較ヲ見マスルト如何ニモ不公平ナ話デアル、ソレデ今日國民生活上最モ必要品デア
ル石油ニ税ヲ課セルコト云フコトハ、更ニ非文明ノモノデ且ツ細民ヲ苦シメルト云フ結果
ニナリマスカラ、此税ヲ全廢シタイト云フノデアリマス、冀クハ諸君御賛成アラント希
望致シマス

(拍手スル者アリ)
○松田源治君 本案ハ第八ノ日程、地租條例中改正法律案ト同一ノ委員ニ付託セ
ラレムコトヲ望ミマス

(賛成)又ハ「異議ナシ」ト呼フ者アリ
○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ、本案モ第八日程ノ委員ニ付託スルコトニ
決シマス、日程第十一、鹽專賣法廢止法律案第一讀會ヲ開キマス——相島勘次郎君

第十一 鹽專賣法廢止法律案(相島勘次郎君外五名 第一讀會 提出)

鹽專賣法廢止法律案
鹽專賣法ハ之ヲ廢止ス

附則
本法ハ大正二年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

官報號外 大正二年三月十四日

衆議院議事速記第九號

石油消費税法廢止法律案 第一讀會 鹽專賣法廢止法律案 第一讀會 一二五

(相島勘次郎君登壇)

○相島勘次郎君 諸君、此鹽專賣法ノ問題ハ、幾度カ此議場ニ於テ繰返ヘサレタル問
題デアリマス、カラスシテ、餘リ詳ク説明スル必要ハナカラウト思ヒマス、鹽專賣法ノ惡法
デアルト云フコトハ今更説明スルマデモナク、何人ニモ同ジ負擔ヲサセルモノデアッデ、殆
ド、人頭税以上ノ惡税デアルト云フコトハ世間ノ認ムルコトデアリマス、而シテ此鹽
ト云フモノハ何人モ必要トスルモノコロノデアリマス、殊ニ不公平ヲ感ズルノデア
リマス、鹽ノ高イメニイロノ鹽ノ高イト云フ苦情ヲ聞クト云フコトハ誠ニ苦シキ
次第デアリマス、何トモ吾々ハ國家ノ選良トシテ自分自ラ政治ヲ爲スノデアリマセヌケ
レドモ、細民ノ鹽ノ高イト云フ苦情ヲ聞イテハ實ニ同情ノ念ニ堪ヘナイデアリマス、若
シ此專賣ナルモノニ致シマシテモ、是ガ阿片デアルトカ或ハ樟腦、酒精、煙草ト云フヤウ
ナモノデアリマス、格別ノ弊害ハアリマセヌケレドモ、日常米鹽ノ資ト言ヒ、鹽ヲ低メテ
暮スト云フ誠ニ世智辛イコトニ使フトコロノ此鹽ニ向テ專賣ヲシテ、サウシテ直段ヲ引
上ゲテ置クト云フコトハ不都合デアルト云フコトハ、皆様ノ認ムル所デラウト思ヒマス、
故ニ私共ハ生活難ノ緩和ノためニ、社會政策ノ一トシテ又此立法部ナルモノガ選舉權ナ
キモノニ同情ヲ表シ、選舉權ナキモノノ議論ヲ聞クトコロノ一ツ保障トシテ專賣法ヲ撤廢
シタイト思フノデアリマス、此鹽專賣ト云フモノハ諸君モ御存ジノ通り、百斤一圓十四錢
餘デ買收シ、即チ買上ゲテ之ヲ二圓四十三錢六厘ニ賣ルノデアッデ、詰リ平均一圓二十
八錢七厘ト云フモノヲ政府ガ上前ヲ割ルト云フヤウナ形ニナッテ居リマス、洵ニ人ニ聞カ
シテ感ズル惡稅デアリマシテ、是ハ今日、如キハ或ハ社會主義ト云ヒ、或ハ種々ノ險
惡ナル思想ノ發達スル時分ニハ、是非共廢サナケレバナラヌトコロノ税ト考ヘルデアリマ
ス、又申マデモナク此鹽原料トスル方カラ考ヘマシテモ、鹽ノ高イ爲メニ日本ノ化學工
藝ノ此發達ヲ妨ゲテ居ルト云フコトハ、諸君ノ御存ジノ通りデゴザイマス、私ガチヨット
調べマシタガ、此日本ノ化學工業ノ中デ其ノ最モ主ナルモノトスルコトヲ曹達、此
曹達ノ種類バカリデモ去年二百萬圓餘ノ輸入ガアルノデアリマスガ、全ク是ハ鹽ノ高イ
タメデアリマス、更ニ財政上ノ見地カラ之ヲ申シマシテモ、鹽ノ專賣ト云フモノハ千萬圓
ナレバ千萬圓ト云フ定額ヨリ外ニ取レナイトコロノ、所謂伸縮自在デナイトコロノ税
デアリマスカラシテ、是ハ財政上ノ見地カラ申シマシテモ、決シテ良稅デアナイト私ハ思ヒ
マス、或ハ鹽ノ税ト云フモノハ洵ニ微細ノ稅デアラカラシテ、格別人ガ負擔ノ困難ヲ感
ズルコトナク、而モ總額一千万圓以上ニ上ルトコロノ良稅財源デアラカラシテ、是ハ廢止
ハ出來ナイト云フヤウナ論者モアリマスケレドモ、併ナガラ私ラ以テ見マスレバ決シテ微細ナ
ル稅デアナイノデアリマス、現三十七年專賣實施前ノ鹽ノ價ト、今日ノ價ト較ベテ見タ
ナラバ、實ニ非常ナル相違デアリマシテ、私ノ計算ニ依レバ一家五口トシテ一年三圓三
十五錢ノ負擔ヲスルコトノ計算ガ出デ居リマス、然ラバ鹽專賣ト云フモノハ能ク行ハレテ
居ルカト云フニ、決シテ能ク行ハレテ居リマセヌ、現ニ此議場ニ於テ或ハ廢止法案ガ出、
或ハ鹽田整理ノコトニ付テ非常ノ議論ノアツタト云フコトヲ私共承認シテ居ルノデアリ
マス、デ二十五議會ニ於テ非常ニ議論ノアツタ時分ニ、當時ノ大藏大臣ガ財源ガアレ
ハ撤廢スルコトニ異議ハナイト申シタノデアルガ、今日ハ財源ガアルノデアリマス、財源ト
言ッテ別ニ財源トシテハアルノデアリマセヌケレドモ行政整理ノ結果トシテ此位ノ金ハ假令
吾々ノ黨ノ案ガ通りマセヌデモ必ズ、此位ノ金ハ出來ルノデアリマスカラシテ、私ハ是等ノ
案ヲ決シテ黨派問題トセズ、宜シク皆様ノ御賛成ヲ得テ此案ヲ通シタイト思フノデアリマ
ス、現ニ鹽專賣ノ不都合デアルトハ、今日ハ各國之ヲ認メマシテ專賣ナドヲヤルトコロ

ノ本家本元タル獨逸ニ於テモ、之ヲ廢シテ居ルト云フコトデアリマス、唯伊太利埃太
利ノ二國ハ今日モ之ヲヤテ居リマスケレドモ、併シナガラ是ハ鹽坑即チ此山鹽ノ鹽ノ坑
ヲ政府自ラ所有スルタメニ、其附帶事業トシテ之ヲヤテ居ルノデアリ、日本ノ如ク或ハ
鹽製造人ヲ保護スル目的ヲ以テ、或ハ政府ノ收入ヲ取ル目的ヲ以テシテ居ルノデアリ
マセヌ、又英國アタリニ於キマシテハ、日本ノ如キ文明國ガ鹽ノ如キ人間ノ必要品ニ向
テ稅ヲ課ケテ高ク賣ラナケレバナラヌト云フコトニ付テハ、非常ニ驚イテ居ルノデアリマス、
日本ハ借金國デアラカシテ英國ノ信用ヲ博シ、將來大ニ此便利良キ公債デモ募集
シヤウトスルニハ、日本ノ財政ト云フモノハ貧民ノ口ヲツネデマデモシナケレバナラヌト云
フノデアリ、財政整理ノ結果トシテ日本ノ財政ハ非常ニ確立サレタト云フコトヲ知ラ
セル一ツノ手段トシテモ、又鹽ノ專賣ヲ廢スルコトハ必要ダラウト私ハ思フノデアリマス、
其外朝鮮ニ於キマシテハ政府自ラ鹽ヲ採ヘマスケレドモ、是ハ鹽ヲ廉ク供給スル目的ヲ
以テ採ヘテ居ルノデアリマス、同ジ日本ノ政府ニ於テ朝鮮ニ於テハ人民モ鹽ヲ廉ク供給
セシガ爲メ鹽ノ官營ヲナシ、日本内地ニ於テハ貧民ヨリ勞動階級ヨリ多ク稅ヲ徵收セム
ガ爲メ、斯ウ云フコトヲシテ居ルト云フコトハ、政策上ノ矛盾デアリマス、要スルニ此鹽專
賣ト云フコトハ理論上ヨリ申シマシテモ、今日ノ生活難ヲ救フ點カラ申シマシテモ、政府
及立法府ガ勞動階級ニ向テ非常ニ同情ヲ表スルコト云フ點カラ申シマシテモ、又財政
上公債政策ノ見地カラシマシテモ、化學工藝ノ獎勵ヲスルコト云フ點カラ申シマシテモ、
ウシテモ廢サナケレバナラヌトコロノ稅ト私ハ考ヘル諸君是ハ國民黨ヨリ申シ出マシテモ、
決シテ國民黨ノ案デアリマセヌ、又國民黨ヨリ出シタトコロノ多クノ案ガ通過スルコト
ハナクテモ、此位ノコトハ必ス通過ガ出來ルノデアリマス、ドウゾ皆様ノ勞動階級ニ對ス
ル同情ト云フ點ニ於テ御贊成ヲ下サイマシテ、サウシテ此案ダケハ大正二年ノ議會ト
云フモノハ洵ニ文明の DEAL、洵ニ新思想ノ入ッテ居ル議會デアルト云フコトヲ現ハシ、サ
ウシテ新ラシキ議會ノ誇トシテ世界ニ向テ誇リトシタイト思ヒマス、ドウゾ皆様ノ御贊成
ヲ仰ギタイト思ヒマス

○松田源治君 本案ハ第八ノ日程同一ノ委員ニ付託セラレシコトヲ望ミマス

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ日程第八ノ委員ニ本案ヲ付託スルコトニ決
シマス、日程第十一、織物消費稅法中改正法律案、第一讀會ヲ開キマス、八見君

第十二

四名提出

織物消費稅法中改正法律案(高木正年君外 第一讀會)

織物消費稅法中改正法律案

第二條中「價格百分ノ十」ヲ「價格百分ノ五」ニ改ム

附則

本法ハ大正二年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

(八見米次郎君登壇)

○八見米次郎君 諸君本員ハ此織物稅ニ對シテハ全廢ノ意見ヲ有シテ居ル者デゴザ
イマス、然レニ之ヲ半減致シマスルコトヲ案ヲ提出シタルモノハ、一ハ現下ノ財政狀態
ニ鑑ミ、一ハ政府當局者ヲ實行ニ易カラシメルガ爲メ、此ノ如ク已ムヲ得ズ半減案ヲ
提出致シマシテ譯デゴザイマス、故ニ先ヅ本員ノ意見ト致シマシテ、第一ニ全廢ノ主意
ノ根柢ヲ以テ諸君ニ説明ヲ致シテ敢テ差支ナイト思ヒマス、抑、此織物稅廢止ノ聲ハ

三十八年以來、年々止ム時ガゴザイマセヌ、每期議會ニ之ヲ唱ヘラレテ居リマシタガ、不
幸ニモ未ダ之ヲ實行スル機會ニ遭遇シナイノデアリマス、本來此稅ホド徵收ニ困難ニシ
テ又實業ノ發達ヲ害スルコトノ甚シイモノハナイノデゴザイマス、營業稅或ハ所得稅ノ如キ
モノハ隨分徵收ニ手數ヲ要シマスケレドモ、是ハ最初一年ニ一回調査スルダケノ手數ニ
止マリマシテ、サノミ此織物稅ニ比較シマスレバ、ウレ程著シキ手數ハナイノデアリマス、
然レニ此織物稅ハ製造品ヲ他ノ運搬スル度毎ニ、或ハ販賣スル度毎ニ、日々検査ヲ
要スルノミナラズ、千差萬別ノ品物ヲ一々檢スルノデアリマス、非常ニ手數ガ掛ルノ
デアリマス、而モツレガ爲メ公平ヲ失フコトデゴザイマス、サウシテ之ニ伴ウテ來ルトコロ
ノ弊害ハ頗ル多イモノデゴザイマシテ、是ハ一々舉ゲマセヌデモ諸君ハ御承知ノコトデゴザイ
マセウガ、此弊害ハ成ベク除去センガ爲メニ營業者或ハ稅務監督局ノ役人ナドノ
協議ヲ致シマシテ、種々方法ヲ講ジテ居リマスケレドモ、未ダ之ニ付テハ完全ナル方法モ
ナイノデアリマス、然レニ此稅其モノガ複雜ナルガ爲メニ、種々商人ニ於キマシテハ賣買
ノ機會ヲ失ヒマシタリ、或ハ運送ノ機會ヲ失フコトガアリマスノミナラズ、頗ル不公平ノ
コトガゴザイマス、其不公平ナルコトニ付テ一例ヲ舉ゲテ申シマス、京都ニ於テ產出
スル帶地ノ如キモノハ其價ハ頗ル高價ナルモノデアリマス、本來此種ノモノハ意匠ノ如
何、我ハ細工ノ難易、或ハ流行ニ當レルヤ否ヤ、是等ノ點カラシテ織物ノ價ヲ割出シテ
來ルモノデアリマス、唯單純ニ原料ヲ以テ知ルコトガ出來ヌモノデアリマス、ウレ故ニ
此直段ニ等差ヲ付ケル場合ニ於テ頗ル不公平ナルコトガゴザイマス、又伊勢崎足利地
方ニ於キマシテ證認方法トシマシテ、一相何程ト云フコトコロノ稅ノ取ル方法ガゴザイマス、
是ハ一見頗ル便利ナルヤウデゴザイマスケレドモ、是モ亦頗ル不都合ナルコトガアリマシテ、
若モ其中ノ品物ガ展品トシテ販賣人ヨリ製造者ヘ戻テ來タ時ニ、再ビ之ヲ賣出ス時
ニ於テ、一重ノ稅金ヲ拂ハナケレバナラヌト云フ結果ヲ見ルノデゴザイマス、又海外ノ輸
出品ニ致シマシテモ、戻稅ノ規定ハゴザイマスケレドモ、此戻稅ヲ請求スル手續ガ頗ル煩
雜ナルガ爲メニ、往々自分ノ受取ルべき戻稅ノ權利ヲ拋棄スル者ガアリマス、又此稅務
署アリニ於キマシテ取扱振ガ頗ル不同デアリマシテ、甲ノ土地ハ嚴重ニ致シマスルカト
思ヘバ、乙ノ土地ハ寛大ニ失スルコト云フヤウナコトガゴザイマス、之ヲ一例ヲ舉ゲテ申シ
マス、滋賀縣長濱縮細ノ如キハ一反毎ニ目方ヲ掛ケマシテ一匁違ッテモ稅金ノ上ニ爭
フ起シマス、岐阜縣ノ如キニナリマスト同ジ縮細ニテモ多數ノモノヲ一括シテ課稅スル
コトニナッテ居リマス、又何レノ製造人ニ致シマシテモ製品ヲ金融ノタメニ利用スル場合
ニ於テ、一旦此稅金ヲ納メマセヌト質入ヲスルコトガ出來マセヌ、擔保ニ差入レルコトガ
出來マセヌ、故ニ資本ノ少ナイ製造人ハ、之ヲ擔保ト致シマスルニハ、先ヅ稅金ヲ拂ヒ、
サウシテ一年中稅金ニ向ッテ利子ヲ支拂ハナケレバナラヌト云フヤウナ、頗ル小資本家ヲ
苦メルヤウナコトガゴザイマス、此ノ如キ不公平ナル點ヲ列舉致シマスレバ、澤山アリマシ
テ殆ド舉ゲ盡セナイ程デアリマス、世ノ政治家諸君ガ見テ以テ之ヲ惡稅ト云フノハ決シ
テ無理デハナイト思ヒマス、諸君ハ度々議會ニ殊ニ去ル二十五議會ニ於テ此織物稅ニ
付テハ大ニ可否ヲ爭ッタコトガアルノハ、諸君モ御承知ノコトデアラウト思ヒマス、本來生絲
及ビ蠶業獎勵ノ政府ノ方針カラ考ヘテ見マシテモ、貿易發展ノ希望ノ上カラ見テモ、亦
農家ノ副產物ヲ獎勵スル精神ヨリシテモ、此織物稅ノ稅金ヲ織物稅ヲ課スル程世ノ公
利公益ヲ害スルモノハナイト思ヒマス、然レニ此ノ如キ稅金ガ今日マデ生命ヲ保ッテ來タ
ト云フモノハ、我國ノ財政上ニ之ニ代ユルトコロノ財源ガナイト云フ一點張テ以テ、何時
モ反對者ガ反對スルタメニ此廢止案ガ倒レテシマフノデアリマス、凡ソ國ノ柔順ナル國民

ガ政ヲ爲ストコロノ當局者ニ向テ、恨ヲ懷クトコロノモノハ不法ナル税金ヲ取ルヨリ最モ甚ダシイモノハナイノデアリマス、一度不當ナル税金ニ向テ當局者ニ歎願シ、再ビ之ヲ哀訴シ、二度四度五度之ヲ繰返シモ尙其目的ヲ達シナカッタラバ、如何ニ柔順ナル國民ト雖モ己ノ希望ヲ抛擲シマシテ自暴自棄ニ陥ルノデアリマス、此等ノコトハ政ヲ爲ス方ハ深ク警メナケレバナラヌト思ヒマス、織物稅ノ廢止ニ付テ政府ニ一片誠實ナル同情心ガアツタナラバ、是マデニ早ク財政ノ整理ヲシテ少ナクモ此等ノ惡稅ヲ廢シテ國民多事ノ希望ニ副ハル、答デアルガ、未ダ不幸ニシテ此處ニ至ラヌハ諸君ト共ニ本員ノ遺憾トスルコロデアリマス、今ヤ本期ノ議會ニ於テ十分ナル行政整理ヲ爲シテ、幾多ノ政費ヲ節約スル途ヲ講ジツ、アルノデアリマス、若夫レ政府ニ於テ之ヲ容レラレタラバ、此等ノ税金ヲ全廢スルコトハ決シテ難クナイノデアリマス(簡單々々ト呼フ者アリ)併ナガラ是ガ實行ヲ期スルタメニ尙一步ヲ譲リマシテ、不本意ナガラ全廢ハ近キ將來ニ譲リマシテ、本年度ヨリ之ヲ半減シテ國民多事ノ希望ヲ實行スル階梯ヲ得タイト思ヒマス、即チ此税金ハ飽マデ全廢ヲスベキモノデアリマスケレドモ、常ニ財源ヲ口實トスル政府ニ對シテ、之ヲ實行セシメ易カラシメンガタメニ特ニ半減ニシタ次第デアリマス、今一ツ之ヲ半減ニシテ理由ニ付テハ、一時ニ之ヲ廢稅ヲ行ナッタラバ、當業者ニ於テ其價格ニ激變ヲ來ステメニ、却テ市場ニ恐慌ヲ起サントラ虞レマシテ、漸次此税金ヲ輕メタガ宜カラウト云フ考カラ半減說ヲ持出シタノデアリマス、此ノ如キ問題ハ國民ノ利害ニ重大ナル關係ノアルモノデアリマシテ、先刻相島君ノ言ハレタ如ク、黨派ノ行掛リトカ、或ハ感情ヲ以テスルコトナク、速ニ可決サレンコトヲ希望致シマス、尙終リニ臨ンデ一言申上ゲテ置キタイノハ、稅率ガ百分ノ五トナリテアリマス、是ハ從來ノ慣例ニ依リマシテ工費ヲ引去ルヤウナ計算法ニシタイノデアリマス、實際ノ價格ニハ五歩引ノ計算法ニ順ヒタフノガ、是マデノ計算法ニナツテ居リマスカラ、ソレノ同様に内五歩引ノ計算法ニ順ヒタイト思ヒマス、ソレカラ又序デナガラ 諸君ガ簡單ト云フ御註文ガアリマスケレドモ、序デナガラ喋ラシテ貰ヒマス、此日程ニ載ツテ居ル通行稅ノ外、石油消費稅、營業稅及ヒ鹽專賣ニ向テ何レモ廢止案又ハ減稅案ヲ提出シテ居リマスノデゴザイマス、現内閣總理大臣ハ國民ノ輿論ヲ尊重スルコトハ、憲法運用上最モ必要ナリト明言セラレテ居リマス、故ニ今同大英斷ヲ以テ多年ノ懸案タルコロノ此惡稅ノ廢止ヲ實行サレンコトヲ希望致シマス、サウシテ更ニ租稅ノ改廢ヲ實行スルニ付キマシテハ、ドレダケノ資源ヲ要スルカト云ヘバ、僅カニ年額六七千萬圓ニ過ギヌノデアリマス(笑聲起ル)一般會計及ヒ特別會計ノ八億餘萬圓ニ對照致シマスレバ、一割ニギモ達セナイノデアリマス、果シテ國民ノ輿論ヲ尊重スルコト云フヤウナ内閣デアリマシタラバ、本年ヨリ之ヲ實行セラレタイノデアリマス、然ルニ現内閣ハ宣言ノミ大キクシテ、本年ハ僅カニ鹽ノ價ノ引下ノ二百万圓ト、裁判所ノ廢合ニ依ツテ僅カニ三十萬圓位ノ政費ノ節減ヲナサレテ、一方ニハ陸海軍ニ向テ多大ノ新要求ヲセラレテ居ルノデアリマス、來年ヨリ多少ノ減稅ヲナサント明言サレテ居リマスケレドモ、其時ニ至ツテ又モヤ歲出ノ上ニ於テ澤山ノ新要求ヲセラレタナラバ、未來永劫此惡稅ヲ廢スル時機ヲ見ナイノデアリマス、此ノ如キコトハ國民ニ親切ナル閣臣トハ信ジマセヌ、況ヤ來年ノコトヲ今カラ言ハル、ニ至ツテハ、尙更ニ信ズルコトガ出來ヌノデアリマス、下世話ニ來年ノコトヲ云ヘバ鬼ガ笑フト云フコトガアマス、現二前内閣ハドウデアッタカ、僅ニ四箇月ヲ以テ倒レタハアリマセヌカ、過日來ノ大藏大臣ノ演說ヲ拜聽致シマスレバ、財政方策ニ付テ私ハ頗ル心細ク感ズルノデアリマス、冀クハ現内閣ハ健全ナル其生命ノ間ニ此實行ヲ取テセラレムコトヲ希望致シマス

(拍手起ル)
○松田源治君 本案モ第八ト同一委員ニ付託セラレムコトヲ希望致シマス
〔贊成々々ト呼フ者アリ〕
○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ本案モ第八ト同一委員ニ付託スルコトニ決シマス、日程第十二、營業稅法廢止法律案ノ第一讀會ヲ開キマス、高木正年君
第十三 營業稅法廢止法律案(増田義一君 外五名提 第一讀會 出)
營業稅法廢止法律案
附則
營業稅法ハ之ヲ廢止ス
本法ハ大正二年七月一日ヨリ之ヲ施行ス
〔高木正年君登壇〕
○高木正年君 私人咽喉ヲ痛メテ居リマスカラ、失禮デスケレドモ咽喉ヲ蔽フテ居リマスカラ、暫ク 今日ハ重要ナル討論ノ引續キマシタ後ニ於キマシテ、成ベク私ハ此問題ノ趣旨ヲ申上ゲルニモ簡單ニ要ラザルヲ申上ゲテ見タイト思フノデアリマス、暫ク御清聴ヲ願ヒマス、此營業稅ハ三十九年ニ初メテ國稅トナッタデアリマスルガ、由來十數年間未ダ曾テ廢止ノ聲ヲ聞カナイノデアリマス、營業稅廢止ノ聲ヲ聞カナイノハ、營業稅ナルモノガ惡稅ニアラズト云フ意味デハナイト思フノデアリマス、今日提出セラレタコロノ鹽、織物、通行、石油等ノ如キハ何レモ惡稅タルヲ失ハナイノデアリマス、然レドモ營業稅ハ曾テ惡稅タル聲ヲ以テ廢止ノ言葉ノ無カリシハ、ドウ云フ次第デアルカト云フト、如何ニモ其金額ノ大キクシテ一朝之ヲ廢スルコト云フトノ時機ヲ得ルト云フトガ頗ル得難キタメニ、今日マデ營業稅廢止ノ聲ハ聞カナイノデアリマス、ソレナラバドウ云フトガ營業稅ナルモノ、最モ惡シキ性質ヲ持テ居ルカト云ヘバ、營業稅ヲ査定スルニ當ツテ殊ニ甚ダシキハ個人ニ對スル收稅ノ方法デアリマス、疑ハシキ資本ニ依ツテ之ヲ課シ、疑ハシキ收入ニ依ツテ之ヲ課スト云フトガ、營業稅其モノ、最モ最惡ナルコロノ性質ヲ含シテ居ルノデアリマス、是ニ於テ若シ納稅者ノ申告ニ委ヌルト云フトニナッタラバ、恐ラクハ今日ノ稅額ノ半分デモ徵收スルコトガ出來ナイノデアリマス、此ニ於テ稅務吏ガ是非共謀求ノ方法ニ向ツテ進マナケレバナラヌト云フ徑路ヲ執リツ、アルノデ、營業稅査定ノ上ニ付テ如何ナル事ガ最モ有力ナル働ヲナシテ居ルカト云フト、即チ認定ナルモノガ營業稅其他ニ付テ、所謂誅求ノ道ヲ辿ラシムルコトヲ欲スルモノト言ハナケレバナラヌノデアリマス、斯ノ如キ方法ニ依ツテ營業稅ヲ徵收セラレツ、アルノデアリマス、是ガ如何ニシテ三十九年ニ國稅トナッタカト尋ネテ見マス、當時 監獄費ヲ國庫支辨トナス其代リニ、却テ地方稅ナリシ營業稅ヲ國稅トナスト云フトニ付テ、恰モ交換的ニ之ヲ承諾シタル如キ傾ガアツタノデアリマス、サリナガラ當時營業稅ヲ委員會ニ於テ審査スルニ當ツテハ、今日ノ如キ誅求ノ狀態、稅務吏ガ査定及ヒ調査ニ於ケルコロノ態度ノ如キハ夢想デニモ思ハザリシコトデアルノデアリマス、先刻石橋君ガ御質問ニタツタコトハ、事實ニ於テ營業稅ノ最モ査定ノ上ニ付テ惡シキ傾向ヲ有ツテ居ルト云フトヲ露白セラレタノデアリマス、凡ツ稅 議論ニ當ツテハ若シ其惡シキモノガアルナラバ之ヲ撤廢シ、之ヲ改正スルト云フトハ採ルベキ手段デアリマスガ、營業稅ニアツテハ若シ今日ノ査定ノ上ニ付テ、今日執リツ、アルトコロノ方法ヲ變ヘルト云フトハ到底出來ナイノデアリマス、若シ認定セザル他ノ標準ニ依ツテ營業稅ヲ取ラントスレバ、即チ申告者ノ意思ニ任セルヨリ外ハ

ナイノアリマス、斯様ナコトニナッタラバ、今日ノ營業稅ハ半バ以上ハ減ズルノデアリマス、其惡シキ性質ヲ取り除クニハ、斷然之ヲ廢止スルノ外ハ無イノデアリマス、營業稅ガ初メテ國庫ノ收入トナツタ時ノ豫算ハ七百五十萬圓、此七百五十萬圓ハ如何ナル標準ニ依ツタカト云フト、自分ノ記憶ヲ遡リテ當時ノ狀況ヲ考ヘテ見マス、委員會ニ於テ我が國人ノ働カス資本ハ七億五千萬圓アル、其百分ノ一ヲ査定シテ七百五十萬圓ト云フ金額ヲ產出シタノデアアル、此事ハ現ニ河島靜君ガ當時委員長トシテ此議場ニ述ベラレタ言語ノ一ツデアリマス、然ルニ今日ハ殆ド四倍弱ニ當リ居ル、我國ノ營業モ發達シテ居ルニ違ヒナイケレドモ、所謂誅求ノ結果一割増シニ割増シ、二倍ト爲リ三倍以上ト爲リ、殆ド今日ハ四倍弱ノ營業稅ハ誅求サレシ、アルノデアリマス、幸ニ今日我が國ノ財政ハ大整理ヲスベキコトノ時代ニナツタノデアリマス、政友會諸君モ前々内閣ニ於テ、制度整理ト云フコトニハ御熱心デアリ、新政黨モ、他ノ黨派モ、總テ此傾キヲ以テ進ミツツアル今日ニ當リテハ、此機會ヲ外サズ、斯カル最惡ノ稅ガ廢止スルヲ適當ナル手段ト私ハ信ズルノデアリマス、以上ハ營業稅廢止ニ付キマシテ申上ゲタコトデアリマスガ、尙其細カイ事ニ付テハ委員會ニ於テ述べルトコロガアルト思フノデアリマス

○松田源治君 本案ハ政府提出營業稅法中改正法律案、即チ第一ノ日程ト同一ノ委員ニ付託セラレコトヲ望ミマス

（贊成々々）（聲起ル）

○議長（大岡育造君） 松田君ノ動議ニ贊成ガアツテ反對ガアリマセヌカラ、即チ本案ハ第一ノ日程ニ於テ付託シタル委員ニ託シマス——日程第十四及第十五ハ關聯シタル議案デゴザイマスカラ、一括シテ議題トナスニ御異議ハアリマセヌカ

（異議ナシ）（聲起ル）

○議長（大岡育造君） 御異議ガナケレバ一括シテ議題ト致シマス、裁判所構成法中改正法律案、辯護士法中改正法律案、請願委員長植場平君

第十四 裁判所構成法中改正法律案（請願委員長提出） 第一讀會

裁判所構成法中改正法律案

第五十七條中「競爭試驗」ヲ「資格認定試験」ニ改ム
第五十八條第一項中「競爭試験」ヲ「資格認定試験」ニ改ム
同條第二項中「第一回試験」ニ及第シタル者ハ第二回試験ヲ受クルノ前「ヲ」
「第一回試験」檢事資格認定試験ニ及第シタル者ニシテ第二回試験ヲ受ケム
トスルコトキハニ改ム
第六十二條中「競爭試験」ヲ「資格認定試験」ニ改ム
第六十五條第二項ヲ削ル

第十五 辯護士法中改正法律案（請願委員長提出） 第一讀會

辯護士法中改正法律案

辯護士法中左ノ通改正ス
第四條第二號中「帝國大學法律科卒業生、舊東京大學法律部卒業生、司法省舊法學校正則部卒業生」ヲ削ル

（植場平君登壇）

○植場平君 日程ノ第十四第十五、此兩案ニ付テ提案ノ理由ヲ一言説明致シタイト思ヒマス、本案ハ先日御手許ハ差上ゲテ置キマシタカラ、諸君ハ既ニ御覽ニ相成ツタモノト存ジマス、故ニ此議案ノ内容ニ付テハ説明ヲ省略致シマシテ、請願委員會ノ經過ヲ説明申上ゲヤウト存ジマス、サウ致シマスレバ提案ノ理由ガ自カラ明カニナル次第デアリマス、此兩案ノ基所ハ司法官及辯護士試驗制度改正ニ關スル請願書ニ依リマシタモノデゴザイマシテ

（議長大岡育造君退席副議長關直彦君著席）

○植場平君 請願者ハ東京市京橋區日吉町二十番地原嘉造君外數百名デアリマス、而シテ此中ノ大部分ハ在野ノ法曹家諸君デアリマス、又紹介議員ハ松田源治君、横田千之助君、小出五郎君、高野金重君、高木正年君、黒須龍太郎君、小久保喜七君、小林源藏君、高橋光威君、福井三郎君等ノ諸名士デアリマス、此案ヲ審議致スニ當リマシテ分科ニ於キマシテハ特別委員會五名ヲ置カレマシテ審査致サセ、此案ノ請願書ノ趣旨ヲ分科シテ、或ハ裁判所構成法中改正法律案トナリ、或ハ辯護士法中改正案トナツテ現ハレ來ツタデゴザイマス、而シテ分科會ノ特別委員會ニ於キマシテハ、司法當局ノ意見ト互ニ折衝シテ審議熟慮致シマシタ結果、前段申シマシタ如ク此請願書ノ一部ヲ割リテ法律案改正ノ必要ヲ認メマシテ、本案ヲ提出致シタ次第デアリマス、諸君本案ノ成立如何ハ都下ニアリマスコロノ私立學校卒業生數千人ニ對シ、救濟如何ノ大關係ヲ有ツモノデゴザイマスカラ、請願委員會總會ニ於キマシテ審議熟慮ノ上、滿場一致ヲ以テ兩案トモ可決致シタ問題デゴザイマス、本會ニ於キマシテモ滿場一致ヲ以テ即決アランコトヲ希望致ス次第デアリマス（贊成々々）（呼フ者アリ）又終リニ一言ヲ加ヘテ置キマス、若シ本案ニ付テ御質疑等ガゴザイマスナラバ、分科會ノ特別委員會諸君ヨリ御説明ヲ申上ゲル答デアリマス、ドウカ左様ニ御諒承ヲ願ヒマス（拍手起ル）

○松田源治君 本案ハ請願委員長ノ説明ノ如ク、帝國大學ノ特權ヲ廢止シマシテ、私立大學ト同様ニ判檢事辯護士試験ヲ受ケサセルト云フ案デアリマシテ、時勢ノ要求ノ上カラ見テ當然ナル案ト考ヘルノデゴザイマス、所謂學閥ヲ打破シテ私立大學モ帝國大學モ同一ナル取扱ノ下ニ試験ヲ受ケサセルト云フ、最モ適當ナル案ト考ヘマスルデ、且ツ此案ニ付キマシテハ……

○副議長（關直彦君） 松田君チヨット伺ヒマスガ、御議論デゴザイマス通告ノ順序ガアリマスガ……

○松田源治君 サウデスカ

○副議長（關直彦君） デハ其次ニ願ヒマス——福田又一君

（福田又一君登壇）

○福田又一君 此問題ハ十數年前ヨリノ懸案デアリマシテ、諸君ニ向ツテ理由ヲ述ブル必要ハナイト考ヘマスルガ、如何セン當局者ハ請願委員會ニ於テモ此案ニ贊成ラシテ居リマセヌノデアリマスカラ、國民ノ希望アルコロ當局者ニ知ラスト云フ事柄ハ多少效能ガアラウト考ヘマス（ヒヤ／＼）（呼フ者アリ）其趣意ニ於テ極ク簡單ニ申述ベマスカラシテ、暫ク御聞キヲ願ヒタイノデアリマス、殊ニ此問題ハ（贊成シテ居ルノガヨ）（呼フ者アリ）數千人ガ議院マデ押掛ケタ問題デアリマスカラ、我々ガ同情ヲ以テ居ルト云フコトヲ數千人ノ學生ニ知ラセルト云フコトモ、是亦必要ト思ヒマス、此案ノ改正ノ趣意ハ別デハゴザイマス、唯今松田君ノ述べラレマシタ如ク、帝國大學ノ卒業生ノ特權ヲ廢止

スルト云フノガ一ツト、ウレカラ是マデハ競争試験デアリマシテ、判檢事ノ必要ノ數ダケシカ採用致シマセヌデアリマシタケレドモ、學力ノアル者ニハ資格認定ノ證書ヲ授ケテ置キマスレバ、假令判檢事ニナリマセヌデモ社會ノ需要スルデアリマスカラ、學力ノアル者ニハ證書ヲ與ヘテ置クノガ必要デアルト云フノデ、資格認定試験ト云フコトニ致シタノデアリマス、其他ハ判檢事ニナルニモ試験ヲ要スルト云フコトガ極マリマスレバ、辯護士ニナルニモ試験ヲ要スルトハ當然ノコトデアリマスカラ、左様ニ修正ヲ致シタノデアリマス、御贊成ヲ願ヒマス

○松田源治君 議長……

○副議長(關直彦君) マダ野添サンノ通告ガアリマス

○松田源治君 討論終結ノ動議ヲ提出致シマス

(「ヒヤ」ト呼フ者アリ)

○野添宗三君 我ハ唯熱心ナル贊成者デアルト云フコトヲ申上ゲテ、演說ヲ終リマス(拍手起ル)

○副議長(關直彦君) 討論終結ニハ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○副議長(關直彦君) 討論終結ナリマシタ

○松田源治君 此案ハ請願委員會ニ於テ慎重ニ審議シタル案デゴザイマス、即チ特別委員會ニ移サシテ直チニ二讀會ヲ開キマシテ、三讀會ヲ省略シ可決確定セラレンコトヲ希望致シマス

(「贊成」ト呼フ聲起ル)

○副議長(關直彦君) 松田君ノ動議ニ御異議ハゴザイマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○副議長(關直彦君) 松田君ノ動議ニ御異議ハゴザイマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

第十四 裁判所構成法中改正法律案(請願委員會提出) 第二讀會(確定讀)

第十五 辯護士法中改正法律案(請願委員會提出) 第二讀會(確定讀)

○副議長(關直彦君) クレナラハ直チニ第二讀會ヲ開キ、第三讀會ヲ省略シテ可決確定ト云フコトニ滿場御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○副議長(關直彦君) クレデハ確定トナリマシタニ一案トモデス——「一案トモ確定致シマシタ」次ハ日程第十六、府縣制中改正法律案、大口喜八君

第十六 府縣制中改正法律案(大内暢三君外二名提出) 第一讀會

府縣制中改正法律案

府縣制中左ノ通改正ス

第十八條第三項中「ノ對照ヲ經投票簿ニ捺印シ」ヲ「又ハ其ノ抄本ノ對照ヲ經テ」ニ改ム

第五十五條第一項中「法律命令ノ規定ニ依リ府縣會ニ於テ選舉ヲ行フトキハ」ノ下ニ「此ノ法律中別段ノ規定アル場合ヲ除ク外」ヲ加フ

第六十六條 名譽職參事會員ハ府縣會ニ於テ議員中ヨリ之ヲ選舉スヘシ其

ハ違ヒマシテ、納稅資格モ低イコトデゴザイマス、故ニ其人數ト云フモノ頗ル多數ナモ

ハ違ヒマシテ、納稅資格モ低イコトデゴザイマス、故ニ其人數ト云フモノ頗ル多數ナモ

ハ違ヒマシテ、納稅資格モ低イコトデゴザイマス、故ニ其人數ト云フモノ頗ル多數ナモ

ハ違ヒマシテ、納稅資格モ低イコトデゴザイマス、故ニ其人數ト云フモノ頗ル多數ナモ

ハ違ヒマシテ、納稅資格モ低イコトデゴザイマス、故ニ其人數ト云フモノ頗ル多數ナモ

ハ違ヒマシテ、納稅資格モ低イコトデゴザイマス、故ニ其人數ト云フモノ頗ル多數ナモ

ノ選舉ニ關シテハ第十八條、第二十七條、第二十九條ノ規定ヲ準用シ投票ノ效力ニ關シ異議アルトキハ府縣會之ヲ決定ス
名譽職參事會員中關員アルトキハ直ニ補闕選舉ヲ行フヘシ
名譽職參事會員ノ任期ハ府縣會議員ノ任期ニ依リ但シ府縣會議員ノ任期滿了ノ場合ニ於テハ後任名譽職參事會員選舉ノ日マテ在任ス
附則
此ノ法律ハ各府縣ニ於ケル次ノ府縣會議員總改選ノ時ヨリ之ヲ施行ス
(大口喜八君登壇)

○大口喜八君 我ハ提出者ノ一人ト致シマシテ本案提出ノ理由ヲ簡單ニ申述ベタイ

ト存ジマス、本案ノ主要ト致シマスルコトハ三ツノ點デアリマシテ、其第一ノ點ハ府縣ニ於キマスル名譽職參事會員ノ選舉方法ヲ單記ニ致シタイト云フノガ一ツデアルト、其次ハ現在ノ名譽職參事會員ニ補闕員ナルモノヲ選シ居ルノデゴザイマスガ、之ヲ廢シタイト云フノガ第二ノ點デアリマス、第三ノ點ハ議員ノ選舉ニ當リマシテ選舉人ハ悉ク此投票簿ニ捺印スルモノデアリマスガ、之ヲ廢シテ單ニ選舉名簿ニ對照ヲ受クルダケニシテ此手續ヲ省キタイ、此三點デアルノデアリマス、御承知ノ通り現在ノ府縣制ニ於キマシテハ、府縣制ノ第五十五條ニ依リマシテ、名譽職參事會員ノ選舉ヲ行フノデゴザイマスガ、之ハ其精神ガ連記ノ方ニ相成ッテ居ルノデアリマス、其結果府縣會ニ於キマスル多數ノ團體ガアリマシタ場合ハ、參事會員ナルモノヲ獨占スルト云フ結果ヲ現ハシテ居ルノデアリマス、其結果ニ於キマシテ頗ル弊害ヲ出シテ居ルト云フコトハ、昨年ノ二十八議會ニ於キマシテ是殆ト同一ノ案ヲ提出致サレマシタ場合ニ、委員會ニ於キマシテ委員諸君ハ勿論政府委員マデモ此弊害ノ點ハ認メテ居ラル、是ハ明カニ其當時ノ會議錄ニ書イテアルコトデアルト私ハ承知シテ居ルノデアリマス、御承知ノ如ク昨午市制ノ改正モ行ハレタデアリマスガ、市參事會ナルモノハ舊來ハヤハリ此府縣制ト同シ事デ、連記ノ方ヲ用キ居ッタノデゴザイマスガ、政府ノ結果單記無記名ト云フコトニ相成リマシテ、少數代表ヲ出スコトニ相成ッタルデアアル、此時ハ我衆議院ハ勿論貴族院モ贊成ヲサレテ、是ガ通過ヲ致シタ次第デゴザイマスガ、言フマデモナク此府縣制ナルモノ市制ナルモノトハ、私共ハ絕對ニ同一性質ノモノデアルトハ解釋ヲセヌデアリマス、併ナガラ其職務權限ノ中ノ一ツハカリ微細ナル點ヲ除キマスレバ、歸スルトコロハ市參事會ト府縣參事會トハ殆ト此地方制度ノ上ニ於キマシテ同一性質ノモノデアルト、斯様ニ私ハ信ジテ居ルノデアリマス、即チ此地方制度ノ中ニ於キマシテ市制ニ於ケル市參事會員ナルモノガ、單記無記名ノ方ニ變リマシテ、少數代表ヲ出スコトニ相成リマシタル以上ハ、府縣ニ於キマシテモヤハリ此單記無記名ノ方ヲ用フルコトニ相成ルノガ、是ガ舊來ノ弊害ヲ除クノミナラズ、地方制度ノ均衡ヲ得マスル上ニ於テ最モ適當ナルデアルト私共ハ確信スルノデアリマス、又此補闕員ノ事デアリマスガ、此補闕員アルガタメニ非常ナル弊害ヲ各府縣會ニ於テ流シテ居ルト云フコトハ、是亦昨年ノ委員會ニ於テ諸君ノ御認メニナッタコロデアルト思ヒマスガ故ニ、私ハ喋々議論ヲ此處ニ致サヌデアリマスガ、免二角是モ此處ニ全廢ヲシテ、市制ト同シヤウナモノニ致スコト云フコトガ當然ナル處置デアルト私共ハ考ヘルトコロデアアルノデアリマス、又モウ一ツノ此投票簿ニ捺印スルト云フ事柄ハ、是非非常ナ煩雜ナコトデアリマシテ、僅カナ時間ニ於キマシテ多數ノ選舉人ガ選舉ニ押掛クルノデアリマスガ、此府縣會ノ選舉人ナルモノハ衆議院ノ選舉人トハ違ヒマシテ、納稅資格モ低イコトデゴザイマス、故ニ其人數ト云フモノ頗ル多數ナモ

ノデアリマス、其中ニハ印形モ忘レテ參リマスガ爲メニ、投票ヲ爲サントシテ之ヲ拒絕セラル、モノガ随分澤山アルデアリマス、是ハ實例ニ徴シテ明カナコトデアリマス、故ニ現在ノ市制ニ於キマシテハ、唯選舉名簿並ニ選舉名簿ノ抄本ニ對照ヲ受ケレバ宜イコトニナッテ居ルノデゴザイマス、之ニ準ジマシテハ府縣會ノ選舉ニ於キマシテモ、此抄本並ニ選舉名簿ニ對照ヲ受ケマシテ、一々投票簿ニ捺印スルコト云フガ如キ手數ヲ省キタイ、是ガ二ツノ主要ナル點デアリマス、承ル所ニ依レバ政府ハ此府縣制ニハ大ナル缺點アルコトヲ認メラレテ、遠キ將來ニ於テ此改正案ヲ出サル、ト云フコトハ屢々明言サレテ居ルノデゴザイマス、唯今ノ議會ニハ遂ニ此提出ヲ見ナイノデアリマスガ故ニ、我々ハ其中ニ於キマシテ最も緊要トシ、最も必要トスル唯今ノ二點ヲ、茲ニ提出シテ諸君ノ御贊成ヲ得マスル次第デアリマス、簡單ニ理由ヲ申述セマス

○齋藤隆夫君 提案者ニ質問致シマス、本案ノ骨子トスル所ハ現行法ニ於ケル府縣選舉會員ノ選舉ヲ改正セラル、ノデアリ、即チ從來ノ連記制ヲ改メテ單記制ト爲シ、以テ少數代表ノ實ヲ舉ゲルコト云フノデアリ、一應御尤デゴザイマスガ、本員ノ見ル所ニ依リマス、府縣ノ選舉會ナルモノハ、府縣行政ノ最高機關デアリ、最高機關ト云フ語ハ少シ妥當デナイカ知レマセスガ、免ニ角最高機關ニ近イ所ノ機關デアリ、ソレ故ニ府縣ニ於ケル選舉會ノ位置ハ恰モ中央行政ニ於ケル内閣ノ位置ト同ジヤウナモノデアリ、然ルニ「違フ」ト呼フ者アリ、此機關ノ骨子ヲハ少數代表者ヲ以テシテ、種々ノ分子ヲバ此中ニ混淆セシムルコト云フコトハ、恰モ中央政治ニ於ケル内閣、聯合内閣若クハ混淆内閣ヲ認ムルモノト同ジデアリマス（答辯ノ必要ナシ）ト呼フ者アリ、府縣ノ行政事務ヲハ進捗スル上ニ於テ大ナル妨トナリハセヌカト思フノデアリガ、提案者ハ如何ナル考デアリマスガ

○大口喜六君 御答致シマス、齋藤君ハ法律家デアラレマス故ニ、能ク其事ハ御承知ノ答デアルト思フ居タノデス、法律ハ御覽ニナレバ明ニ分ル話デアリマシテ、現在ノ我日本ニ於ケル府縣制ノ下ニ行ハル、名譽職選舉會員ナルモノハ、其職務權限ノ中ノ四ト五ハ如何ニモ執行機關デアリガ如キ形ヲ居ルノデアリガ、其他ハ遺憾ナガラ議決機關ノ形ニナルデアリ、即チ市制ニ於ケルト殆ト同意味ニナルモノデアルト私ハ解釋シテ居リマス

○手塚正次君 府縣制ヲ改正シテ郡制ハドウナサルノデアリマスガ

○大口喜六君 ツレハ一言御答致シテ置キマセウ、御尤ナ御尋デアリマスガ、郡制ニ關シマシテハ我々同志ハ別ニ大ナル意見ヲ有シテ居ルノデアリマス、不日研究ノ結果本議會ニ提出スル考デアリマス

○松田源治君 本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

○副議長（關直彦君） 松田君ノ議長指名九名ノ委員付託ニ御異議ハアリマセヌカ

（異議ナシ）聲起ル

○副議長（關直彦君） ツレナラバ直様決定致シマシタ、次ハ日程第十七、輕便鐵道法中改正法律案、第一讀會ヲ開キマス

第十七 輕便鐵道法中改正法律案（豐福泰造君提出） 第一讀會

輕便鐵道法中改正法律案

輕便鐵道法中左ノ通改正ス

第五條中「第二十條」ノ下ニ「第二十三條、」ヲ加フ

（山谷虎三君登壇）

○山谷虎三君 本案ハ極ク簡單ナ改正デゴザイマシテ、輕便鐵道法ノ第五條ノ中ニ

「第二十條」トゴザイマス下ニ「第二十三條」ト云フ此五字ヲ加ヘヤウト云フ案デゴザイマス、其理由ハ私設鐵道法ノ今加ヘマセウト申シマシタ第二十三條ハ斯ウ云フ條文デアリマス「會社ハ株金全額拂込前ト雖主務大臣ノ認可ヲ受ケ線路ノ延長又ハ改良ノ費用ニ充ツル爲メ其ノ資本ヲ増加スルコトヲ得」斯ウ云フ條項ガ私設鐵道法ニゴザイマス、デ輕便鐵道法ハ私設鐵道法ノ重ナルモノヲ取リマシテ些カ異ナル、規定ヲ設ケタノデゴザイマス、此條項ハ鐵道事業ト致シマシテハ他ノ諸會社ノ事業トハ些カ性質ヲ異ニシテ居リマスルデ、私設鐵道法ニ於テハ特ニ此規定ヲ設ケテゴザイマス、輕便鐵道ニ於キマシテモヤハリ此點ニ於テハ私設鐵道モ變タコトハゴザイマセヌノニ……

（副議長關直彦君議長席ヲ退キ議長大岡育造君議長席ニ著ク）

○山谷虎三君 此第五條ニ依テ私設鐵道法ヲイロ／＼引用シテアル中ニ第二十三條ト云フモノ、規定ガ漏レテ居ルノハ、特ニ之ヲ輕便鐵道ノ方ニハ適用シナイト云フ深イ意味ガアッテ之ヲ漏ラシタデハナクシテ、何等カ其際ニ於テ遺漏致シタモノデアラウト思ハレル、實際今日此輕便鐵道法ニ依リマシテ輕便鐵道ヲ敷設スル場合ニハ、私設鐵道法ノ第二十三條ノ如キ規定ノ無イ場合ハ、事業ノ進行上ニ非常ニ不便ヲ感シテ居ル例ハ多クゴザイマス、是非此缺點ヲ速ニ補テ改正ヲ致シテ置キマセヌト云フト、將來輕便鐵道ヲ敷設スル上ニ於テ非常ナ障礙ヲ來シマス、大キク申セバ運輸機關ノ完成ノ上ニ障礙ガアルト申シテモ宜イヤウナ始末デゴザイマス、サウ云フ趣意デ此改正ヲ提出致シマシテゴザイマス、デ此案ニ就キマシテハ他ノ多クノ案ノ如ク何等ノ財源モ要シナイ、單ニ此條文デケラ直セバ實際ニ非常ナ便利ヲ感ズルノデゴザイマス、ドウカ宜シク……

○松田源治君 本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

○議長（大岡育造君） 本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託スルニ御異議ハゴザイマセヌカ

（異議ナシ）聲起ル

○議長（大岡育造君） 御異議ガ無ケレバ其事ニ決シマス、日程第十八、衆議院議員選舉法中改正法律案ノ第一讀會ヲ開キマス、提出者小泉又次郎君

第十八 衆議院議員選舉法中改正法律案（小泉又次郎君提出） 第一讀會

衆議院議員選舉法中改正法律案

衆議院議員選舉法別表中左ノ通改正ス

神奈川縣橫濱市ノ次ニ

一八

長崎縣長崎市ノ次ニ

一八

新潟縣新潟市ノ次ニ

一八

高岡市

一八

三重縣四日市市ノ次ニ

一八

宇治山田市

一八

愛知縣名古屋市ノ次ニ

一八

静岡縣静岡市ノ次ニ

濱松市 一人

長野縣長野市ノ次ニ

松本市 一人

福島縣若松市ノ次ニ

福島市 一人

廣島縣廣島市ノ次ニ

吳市 一人

ヲ加フ

大分縣

大分市 一人

郡部 六人

附則

本法ハ次ノ總選舉ヨリ之ヲ施行ス

〔小泉又次郎君登壇〕

○小泉又次郎君 私ハ本案提出ノ理由ヲ簡單ニ申述ベシテ、諸君ノ御賛成ヲ仰ギ
タイト思ヒマス、本案ニ列記致シテ居リマス所ノ 神奈川縣ノ横須賀市、長崎縣ノ佐
世保市、新潟縣ノ長岡市、及高田市、三重縣ノ宇治山田市、愛知縣ノ豊橋、静岡縣ノ
濱松市、長野縣ノ松本市、福島縣ノ福島市、廣島縣ノ吳市、此十一市ハ諸君御
承知ノ如ク明治三十五年改正ニナッタ、即チ現行ノ衆議院議員選舉法ノ改正施
行以後ニ於テ新ニ市ニナッタ市デゴザイマスルガ、現在衆議院議員ヲ選出致シテ居リ
マスルコロノ他ノ各市ニ對照シテ見マスルト、市政上ニ於キマシテモ人口ノ上ニ於キマシ
テモ、何等ノ差異ノアルデハナク、總テノ狀態ヲ同ジウシテ居ルノデゴザイマス、而シテ未ダ
衆議院議員ヲ選出スルコトノ權能ヲ有セナイト云フコトハ、選舉法ノ施行以後ニ於テ
市ニナッタト云フノ一事ヲ以テ、他ノ獨立市同様議員ヲ選出スルコトノ權利ヲ有セナ
イト云フコトガ甚ダ不條理ニシテ、而モ此十一市ノ市民ニ對シマシテ特ニ同情ヲ致スノ
一人デゴザイマス、此故ニ本案ハ二十二議以來引續キ議院ニハ提出セラレテ居ルノデゴ
ザイマス、而モ毎回本院ハ通過シテ居リマスルガ、獨リ貴族院ニ於キマシテハ此二十五
年ニ改正致シマシタ現行ノ衆議院選舉法別表中ノ末項ニ「本表ハ選舉區人口ニ増
減ヲ生ズルモ少クモ十箇年間に之ヲ更正セス」ト斯様ナ但書ヲ附テ致シテ、或ハ否決
シ或ハ議決シラズシテ、遂ニ今日マデ遷延シ來ッタノデゴザイマス、而シテ本年ハ既ニ其十
年ト云フ期間モ經過シテ居ルノデゴザイマスカラ、今回ノ議會ニ於キマシテハ、政府ハ勿
論貴族院ニ於キマシテモ 何等異議ノアル筈ガナイ、忽チ是ハ贊成スルモノデアルト私
ハ深ク信ズルノデゴザイマス、此理由ノタメニ本案ヲ提出シテ次第デゴザイマスカラ、何
卒御賛成アラントラ希望致シマス

○石黒磐君 提出者ニ質問ガシタイ

○議長(大岡育造君) 石黒君ニ發言ヲ許シマシタ

○石黒磐君 提出者ニチヨット御尋ヲシテ置キタイノハ、昨年デゴザイマシタカ大選舉

官報號外

大正二年三月十四日

衆議院議事速記録第九號

衆議院議員選舉法改正法律案 第二讀會 確定議

土地收用法中改正法律案 第二讀會 確定議

土地收用法中改正法律案 第二讀會 確定議

土地收用法中改正法律案 第二讀會 確定議

土地收用法中改正法律案 第二讀會 確定議

土地收用法中改正法律案 第二讀會 確定議

區ト小選舉區ノ場合ニ於テ、相當ニ人口ニ付テツレ、比較ヲ取ッテ大改正ノ案ガ出
タヤウニ記憶シテ居リマス、此案ア見ルト僅ニ市デケト云フコトデアル、如何ニモ姑息ノヤ
ウニ思フ、其邊ハドウ云フ御考ニナッテ居ラウカ、且此橫須賀市外十市ト人口ガ
殆ト同様デアル、其一二ノ例ヲチヨット示シテ貰ヒタイ、大體デ宜シウデゴザイマス

○小泉又次郎君 チヨット御答シテ置キマス、人口等ノ詳シイ統計ノ材料ハ唯今手許
ニハゴザイマセヌ、ツレモ能ク調ベテアリマスガ、此十一市ノ中ニハ人口等ヲ同ジウシテ居
ル處ハアリマセヌ、或ハ七八万以上若クハ五六万、若クハ二三万ト云フ事ガ含ンデ居リ
マス、而シテチヨット御注意マデ申上ゲテ置キマスルガ、現在獨立ヲ致シテ居リマシテ、衆
議院議員ヲ選出致シテ居リマスルコロノ現在ノ市ニ比較致シマシテ、此十一市ハ何
等ノ等差モナイ別段變タトコロハナイノデアリマスルカラ、此段御答シテ置キマス

○松田源治君 本案ハ簡單明瞭ナル案デゴザイマシテ、提出者ノ説明ノ通り毎年衆
議院ヲ通過致シテ居ルノデゴザイマス、昨年ノ如キハ貴族院モ之ニ同意シマシタケレドモ、
兩院協議會ニ於テ大小選舉區ノタメニ、貴族院衆議院衝突ヲ致シマシテ、遂ニ成案トナ
ラナカッタノデゴザイマシテ、此市ノ獨立ニ向テハ昨年貴族院ニ於テモ贊成ヲ表シテ居ル
デ、實ニ簡單明瞭ナル當然ノ案デゴザイマス、故ニ委員會ニ移サズシテ直チニ二讀會ヲ
開キ二讀會ヲ省略シテ、原案通り可決確定セラレンコトヲ望ミマス

〔拍手起ル〕

○議長(大岡育造君) 松田君ノ勸議ニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(大岡育造君) 御異議ガナイコトヲ認メマス依テ直チニ二讀會ヲ開キ二讀會ヲ

省略致シマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

衆議院議員選舉法中改正法律案 第二讀會(確定議)

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(大岡育造君) 是ニテ本案ハ可決確定シタルコトヲ宣告致シマス(拍手起ル)

次ハ日程ノ第十九、土地收用法中改正法律案ノ第一讀會ヲ開キマス、武市庫太君

第十九 土地收用法中改正法律案(武市庫太君外三

名提出)

第一讀會

土地收用法中改正法律案

第二條第四號中「軌道」ノ下ニ「索道、」ヲ加フ

〔武市庫太君登壇〕

○武市庫太君 諸君、本日ハ多クノ日程ニ重要ナル問題ガ掲ゲテアリマシタ、其末

ニ斯ル簡單ナルコトヲ申上ゲマシテ、餘リ時間ヲ費スノヲ甚ダ恐縮ニ存シマスルカラ、極ク

簡單ナ問題ダケニ簡單ナル理由ノ説明ヲ致ス積リデゴザイマス、ツレハ此土地收用法中

ノ第二條第四號ニ、鐵道トカ軌道トカ列舉シタル處ガアリマスガ、其中ハ索道ト云フ

モノヲ加ヘマシテ、此法律ヲ索道ノ上ニ適用致シタイト云フ考デゴザイマス、今日交通

運搬ノ機關ガ益々發達致シマシタニ付キマシテハ、山間僻陋ノ土地ノ運輸ノ上ニ於キマ

ス

ス

ス

ス

ス

ス

シテモ、索道ノ必要ヲ認メマシテ、各地ニ於テ是ガ計畫ヲ致スモノハ多クアルノデアル、然ルニ其土地ノ收用若ハ使用ニ付キマシテ、一定ノ法律ガアリマセカ、自ラ其事業ヲ妨グルヤウナ有様ニ立至テ居リマス、此改正案ハ即チ是等ラシテ便宜ヲ得セシメ、益々其交通運輸ノ計畫ヲシテ發達セシメタイト云フニ過ギナイノデゴザイマス、委細提案者ノ意思ハ委員會ニ於テ又申上ゲマスガ、大體斯ノ如キニ過ギス、極ク簡單ナ案デゴザイマスカラ諸君御賛成ヲ願ヒマス

○松田源治君 本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託セラレムコトヲ望ミマス

〔賛成々々下呼フ者アリ〕

○議長（大岡育造君） 御賛成モアリマスカラシテ、本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託スルコトニ致シマス、日程第二十、社寺境内地下戻ニ關スル法律案ノ第一讀會ヲ開キマス、提出者福井三郎君

第二十 社寺境内地下戻ニ關スル法律案（福井三郎君 第一讀會 外八名提出）

社寺境内地下戻ニ關スル法律案

第一條 從來社寺境内地下戻ニシテ社寺土地處分其ノ他ノ處分ニ依リ現ニ國有ニ屬スル土地林野ハ其ノ社寺ニ下戻スヘシ

第二條 本法ニ依ル下戻ノ申請ハ大正三年七月三十一日迄トス

第三條 此ノ申請ニ對スル處分ニ付不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第四條 第一條ニ依リ下戻ヲ受ケタル者ハ國ノ有スル權利義務ヲ承繼ス

第五條 本法ニ依リ下戻ヲ受ケタル土地林野及其ノ立木竹ハ主務大臣ノ許可ヲ受クルニ非サレハ抵當權、質權ノ設定若ハ賣渡、讓渡等ノ處分ヲ爲スコトヲ得ス

附則 本法ハ大正二年五月一日ヨリ之ヲ施行ス

本法施行前行政處分又ハ裁判所ノ判決ヲ受ケタル者ト雖本法ニ依リ下戻ノ申請ヲ爲スコトヲ妨ケス

本法公布ノ日ヨリ國ハ社寺土地ノ土地林野ニ對シ申請者ノ利益ヲ害スル處分ヲ爲スコトヲ得ス

（福井三郎君發言）

○福井三郎君 此案ハ極メテ簡單ナト云ヒタイケレドモ、サウ簡單ニナイノデス、ソレデ本年ハドレトテ御土產案ト云フモノモゴザイマセ、承ッテ居ルニ皆緊急必要ナ問題バカリゴザイマスガ、是モ無論御土產案デハナイノデアリマス、是ハ各派ノ有志議員九名ヨリ聯合テ提出ヲ致シテ居リマス、又各派ノ賛成者ガ約百十餘人署名ラシテ居ラレハ、モウ會議ヲ開ラカレザルニ早ク既ニ決定ラシテ居ルヤウナ有様デアリマス、故ニ之ヲシモ御土產案ト申シマスナラバ、私一人ノ土產ニアラズシテ滿場諸君ノ御土產案デアルノデアリマス、故ニドウア暫時ノ間御辛抱ヲ願ヒマス、案ハ御手許ニ配布シテアル通り凡ソ五條ニ亙ル法律案デゴザイマスガ、是ハ其目的ハ明治三年ノ十二月ノ布告ニ、社寺境

内ハ其社寺ノ私有トシテ存置スベキコトヲ命ゼラレテ居ルニモ拘ハラズ、維新ノ改革ノ餘波トシテ全部ノヲ取上ゲラレテシマッタノデアリマス、其取上ゲラレテシマッタノ諸君御承知ノ通り、明治八年六月ニ地租改正局ノ乙第四號ノ訓令トカニ依ッテ強制的ニ取上ゲラレテシマッタサウデアリマス、維新ノ改革ノ趣意ハ僧侶ニ布教ヲ禁ズルト云フ趣意デモナシ、社寺ノ不要ヲ認メヌト云フ趣意デモナカッタノデ、要ハ唯社寺ガ社寺領トシテ持ッテ居ッタヤウナモノヲ取上ゲルト云フコトニ過ギナカッタノデアアル、然ルニモ拘ハラズ維新ノ改革ノドサクサ紛レニ細カク注意ヲ拂フ暇ナクシテ、遂ニ社寺ノ殆ド兩垂落マデ取上ゲルト云フヤウナ慘酷ノコトニ陥ッタノデアリマス、ソレデ此土地ハ全體ドウ云フ土地デアルカト云ヘバ、御承知ノ通り歴代ノ帝王若クハ當時ノ執政、或ハ國守守護若クハ檀信徒等ヨリ皆寄附ニ係ッテ居ルモノデアリマス、其寄附ノ趣意何レニ在ルカ、之ニ道德ノ本源ヲ預ケテアルノデアリマスカラ、盛ニ活動セシメ、即チ布教セシメ、國家根本ノ基礎ヲ養ハシメヤウト云フ目的デアアル、又養ウテ大ナル效果ガアッタカラ之ニ酬ユルト云フ趣意デアッタ、故ニ此社寺境内ノ土地山森ナルモノハ、未來永劫社寺ト共ニ有ラン限リ終始スベキモノデアアルニモ拘ハラズ、社寺ハ依然トシテ振ハサルモ存シテ居ルノニ、早ク既ニ是ハ取上ゲラレテシマッタト云フ始末ニナッテ居ルノデアリマス、所デ總テ此僧侶ノ布教ナド、云フヤウナコトハ無用ナ事デアルカラ止メサセルト云フ趣意デモナカッタトスレバ、ソレハ無論ソナモノヲヤッテ置ク必要ハナイノデアリマセウケレドモ、無論僧侶ハ之ヲ取上ゲラレテ裸ニサレテシマッタニモ拘ハラズ、維新以來殆ド四十餘年來隨分窮苦ニ堪ヘ、貧骨ニ徹スルモ尙且疲レズ屈セズシテ、國家道德ノ根元ニ向ッテ此培養ニ努メテ居ルノデアリマス、其效果ノ大ナルコトハ、言換ヘレバ日本ノ今日在ルハ實ニ是等ノ產ンダ賜物デアアルト言ウテ宜シ、然ルニ歐米ノ「ハイク」風ガ一朝吹込シテ來ルヤ、產ンダ母親ハ忘レテシマッタ此毫碌ニ著物ヲ著セル必要モナケレバ飯ヲ食ハセル必要モナイト云フヤウニ、母親ヲ虐待スル有様ニナッテ來タノデアアル、サリナガラ產ンダ母親トスレバ母親ハ年ヲ取ッタダカラ毫碌モシヤウケレドモ、社寺僧侶等ノ扱ッテ居ルトコロノ布教ト云フヤウナモノハ是ハ、毫碌ハシヤシナイ、是ハ其養ウテ行ケバ益々若返ッテ益々活動スルノデアリマスカラ、時勢ノ進運ニ從ッテ昔ト今トハ多少布教ノ仕方ノ趣ハ異ナテ來ルニセヨ、是ガ要ラナクナッテ來ルト云フ趣意ハ斷ジテ無イノデアアル、從ッテ國家ガ之ヲ禁ジテモ居ラナイ、唯維新ノドサクサ紛レノ誤リガ畢竟此間違ラ致シタニ過ギナイ、一例ヲ申シマスレバ、今カラ考ヘルト滑稽ナヤウナ事デゴザイマスガ、慥カ明治五年デゴザイマシタガ、僕モ能ク記憶シテ居リマセ、教部省令ノ下ニ教導職ナルモノヲ置イテ、其教導職ナルモノハ神道僧侶ヲ通ッテ教導職ニ任シテ、サウシテ芝ノ増上寺カ何カラ大教院ニシテ、之ニ坊サンヲ集メテ其坊サンハ法衣ヲ著テ來ルコトハナラズ、俗服ヲ著ルト云フコトデ、サウシテ坊サンハ肉食妻帯ラシテハナラヌト云フヤウナワシ野暮ナコトハイカスカラ盛ニ肉食ヘ、肴ヲ食ヘ、サウシテ坊サンハ根本カラ坊サンノ守ルベキコトヲ破壞サレテ待遇ヲ廢サレ、坊サンノ食物ヲ奪ハレ坊サンノ衣物ヲ剝ガレテ殘忍非道ノ取扱ヲ受ケタニモ拘ハラズ、屈セズシテ國家道德ノ本源ニ向ッテ働イテ今ニ疲レテ居ヌノデアアル、ソレナラバ之ニ依ッテ位ノ效果ガアッタカト云ウタナラバ、既往ノ效果ノ澤山アッタコトハ御同様ニ其效果ヲ受ケタ、若イ御方ハ學校ト云フモノガ出來テヨリ以前ニ吾々ヲ教ヘテ利口ニシテ呉レタ機關ガアルト云フコトハ御存知ガナカラウケレド

モ、吾々ノ如キ頭ノ禿ゲタ者ハ子供ノ時カラ寺ヘ行キ坊主ノ厄介ニナッタ、吾々ガサウデアルカラ吾々ヨリ以前ノ人ハ尙更此教化ヲ受ケ、之ニ依テ物識ニモナリ、之ニ依テ元氣モ起リ、之ニ依テ道モ知リシテ殆ド之ニ依テ今日アルヲ得タ、今日ノ文明ノ賜物モ此素養アッタカラコトデアアル、故ニ根本ヲ忘レルコトハ無論ナラヌト同時ニ、又國家ガコレヲ不必要トシテ居ルノデハナイ、寧ロ之ニ向テ獎勵ヲ加ヘテ居ルノデアアル、獎勵ヲ加ヘテ居ルナラバ食物ヲ取テシマヒ着物ヲ剃イデシマウテ、汝ハ元來飛鳥デアアルカラ羽毛モ要ルマイモ要ルマイ、羽毛ヲ撈テシマウテ本來飛鳥デアアルカラサア飛ベ斯ウ云フヤウナ命令ヲシテ居ル、羽ヲ取リ、毛ヲ撈テ、貴様ハ飛鳥デカラ飛ベ、斯ウ云フヤウナ命令ヲシテ居ルコトニナッテ居ル、モウ一ツ昇近ノ譬ヲ取タナラバ蛙ノ眼玉ニ炙點ヘテ、ソレデモ飛ブナラ飛ンデ見ロ(笑聲起ル)ト云フヤウナコトデ恰モ其流義ノ取扱ヲシテ居ルノデアアル、ソレデハ到底布教ノ行届ク筈モナシ、又布教シテ見タコトガ坊サンガ人ニ乞食ヲシテ歩イテ無暗ニ物ヲ貰テ、何處ヘ行テモ御辭儀ヲシナケレバナラヌヤウナ昇シイ見苦シイ坊サンガ出來タナラバ、其坊サンノ言フコトヲ聞イテ有難ガル者ハナイ、故ニ是非共坊サン自身ガ自カラ養ヒ事足リテ、サウシテ多クノ人ノ厄介ニナラヌ、餘リ哀レナ者ガアレバ多少餘財ヲ割イテ自身ガ救フト云フ位ノ勢デ布教ヲスルト云フコトニナラナケレバ、布教其モノ、效モ無イ、故ニ是等ノ即チ布教ノ元資トナルベキ社寺ノ土地竝ニ山林等ヲ、謂レテ取上ゲテ居ルノヲ還付シタイ、斯ウ云フコト唯一ツ之ヲ還付スルト云フコトニ付テ、斯ウ云フ弊害ガ起リハセヌカト云フ心配ガアル、近來ノ坊サンハナカク開ケテ來テ餘リ信用ガ出來ナイカラ、ソレヲ返シテヤルト早速檀徒ナド、申合セテ質ニ置クトカ、賣拂フトカシテ、酒デモ飲ムトカ詰ラヌ事ニ費消スルト云フコトニナッテ、偶々之ヲ返シテヤッタノガ却テ坊サンヲ墮落サセル種ニナリハセヌカ、小人罪ナシ壁ヲ懷イテ罪アリト云フコトニ陥リハセヌカ、斯ウ云フ心配ヲスル人ガアルケレドモ、此心配ハ一理ナキニアラズダガ、其心配ハ方法ヲ以テ防グコトガ此案ニ出來テ居ル、ドウ云フ方法ニ依テ防グルカト云フナラバ、御承知ノ通り返シテ貰タモノハ勝手放題ニ賣ルコトモ出來ヌ質ニ置クトモ出來ヌト云フコトニナッテ居ル、之ヲ質ニ置キ竝ニ賣ラナケレバナラヌト云フ時分ニハ、ソレノ相當ノ機關ノ許諾ヲ受ケテ成程賣ラザルベカラザル必要ガ追ッタカラ賣ル、質ニ置カザルベカラザル必要ガ追ッタカラ質ニ置クト云フコト、相當ノ機關ニ於テ認メテセムルハ可ナリ、勝手ニ自カラ一檀徒、二二三ノ信徒位ト相談シテ處分スルト云フヤウナコトハサセヌト云フコトニ、此處ニ系ガ附ケテアル、故ニ之ヲ下渡シタコトコガ功アッテ害ハナイ、之ニ依テ各坊サンハ斯ノ如ク國家ガ言ニ向テ親切ナル以上ハ、ト云フコト善キ感情ヲ持チ又食フニ困ラズ居ルニ差支ヘズレテ活躍スルコトニナッテ來メタラバ、今日諸君ガ朝ニ晩ニ憂ヘテ居ルコトノ道徳ノ根元ニ向ッテ多大ナル働キヲ致シテ、諸君ノ心配ノ幾部分ハ取去ルコトガ出來ヤウト思フノデアリマス、道徳ノコトニ至ッテハ、斯ク云フ自身ガ云爲スルノ道徳其モノヲ安ウスル忍レガアルト思ヒマスカラ、彼此申サヌカ、サナカラ今日ノ日本ノ道徳ト云フモノガ――

ガ――淺薄ナル私ガ見テ以テ尙且慨嘆ニ堪ヘヌ位デアリマス、況ヤ氣慨ダノ氣節ダノト云フモノハ地ヲ拂テ無クナッテ居ル、能ク上手ニ饒舌ル人ハ澤山居ルノデアアル、能ク本ヲ讀ミ英語ヲ使シテ感心セシムル人ハ出來テ居リマスケレドモ、腕ニ筋金ガ入ッテ居ル人ガ果シテ幾人アルカト云ツタナラバ、甚ダ少クナッテ居ルヌカト思フ、故ニ腕ニ筋金ノアル道徳ヲ養成スルト云フコトハ、ヤハリ昔カラ世話ニナリツケタ者ニ働カシメテ效果ヲ收メルコトニシナケレバナラヌト思フ、然ラバ是ノ源泉タル食物ヲ與ヘ、サウシテ衣食住ニ不自由ナカラシメ、人ニ馬鹿ニサレヌヤウニシテ尊敬ヲ受ケツ、效果ヲ擧ゲルヤウニシタイ、此法案ガ通過致シマシタナラバ、蓋シサウナリハセヌカト思フ、終リニ臨ンデ一言致シマスガ、山林局トヤラニ是ガ反對ガアルト云フコトデアアル、山林局ガ獨リ國家ノ衰頹ヲ希望スル氣遣ハナイ、山林局ニモ山サハ繁昌スレバ國家ガ亡ビテモ宜イト云フ考ハ無論ナカラウ、故ニ是ハ山林局ガ反對トカ不同意トカ云フ小サイ問題デナク、國家ト云フモノトノ關係ニナッテ來タデアリマスカラ、縱シ山林局ニ反對ガアッタコトコガ、左様ナコトニ耳ヲ假ス必要ハナカラウト思フシ、願慮スル必要ガナカラウト思ヒマス、又去年マデソレハ反對デアリマスガ、今年ハ山林局ハマサカサウ云フ分ヲ又人ガ役人ニナッテ居ラレルノデナカラウト信ジテ居リマスカラ、奮テ賛成サレヤウト思ヒマスカラ、ドウカ諸君モ之ニ満場一致テ御贊成アラント希望致シマス

○開信之介君 此法案ハ是マデ當議場ニ現ハレタコトノ案トハ、少シ趣キヲ異ニシテ居ルヤウデアリマスガ、是デ御差支ナイト云フ譯デアリマセウカ

○福井三郎君 昨年ト少シ違ッテ居リマス、違ッテ居リマスガ別ニ時勢ノ進運ニ依テサウ變ヘナケレバナラヌト感シタ譯デアリマス、蓋シ此方ガ宜カラウト今年ハ提出者ガ考ヘマシタデアリマス、提出者ノ意見ニ過ギナイデアリマス、若シ御修正等ノ御意見ガゴザイマシタラ、ソレニモ無論從フ積リデアリマス

○開信之介君 本案ニ依リマスト唯社寺境内地トアリマスガ、社寺境内地ト申シマスノハ、今日デモ寺ニ監督權ガアッテ何モ差支ガナクナッテ居ル、思フニ是マデ出シマシタノハ社寺境外地ト地下反法律案デアアルマイカト思フ、是ハ何ゼサウデアアルカト云フト、行政裁判所ニ於テ當初ノ頃ハ社寺境外地ト地上トコトハ皆下反サナイ判決ニナッテ、半バ以上ニナッテ、是ハ原告ノ勝訴ニナッタト云フ話デアッテ、同シ實質ノモノデ同シ性質ノモノデ、一ハ其寺院ニ渡シ一ハ社寺ノ敗訴ニナッタト云フコトハ不權衡デアアル、故ニ此法律ヲ以テ是等ノモノヲ補フト云フ私ハ御精神デアアルカト考ヘテ居ル、然ルニ唯境内地ト云フコトハ明治二年カラ今日マデ寺ガ所領致シテ居ル譯デアリマス

○福井三郎君 御答致シマス、之ニ對シテ御答致シタウゴザイマスガ、其御答ヲ致シテ居ルト今マデ申述ベタル提出ノ理由ヨリモト長ク掛リハセヌカト思ヒマス、故ニ親切ナル御尋ネデアリマスカラ、希クハ委員會ニ於テ尙モウ少シク委シク承ッテ、サウシテ丁寧ニ御答ヲ致シタイト思ヒマス

○石黒磐君 此問題ニ對シテハ開ク所ニ依レバ數年前ニ議會ニ掛ッタサウデス、此頃私ハ請願委員ニナッテ居リマスガ、請願ガ出テ居リマシテ請願委員會デモ相當ノ議論ガ出タ、マダ決シマセヌ、ソコデ御尋ラシテ置キタイノハ、明治三十三年ノ國有土地森林原野拂下法デ地租改正又ハ社寺ノ土地處分云々、此前ニ或ハ高野山等ガ訴訟ヲヤデ敗訴ヲ受

ケタ、其後ニモ敗訴ヲ受ケタ、ツレカラ坊サンが頻リニ運動スル、マアサウ云フ結果ラシク見エマスカ、免ニ角之ヲ下ケルノニ宗教ノ效能ガアツタカラ下ケルナド云フコトナラ私ハ不同意ナノデス、大體此財產ヲ與ヘルトカ、元ガ云々ナラ個人ノ私有地デモ三十二年ノ法律ト同様ノ法律ヲ制定セラレタイト云フ希望ガアル、ツレバ御取除キニナルト云フナラ巴恩惠的ニヤイト云フコトニナツテ來ヤシナイカ、斯ウ云フ疑問ガ一ツアル、ツレバ何故御除ケニナツタト云フコトヲ御尋シタイ、ツレカラ勝手ニ保護ノ爲ニ賣ラセヌ、斯ウ云フ話デアアル、今日マデ條件附テ抵當ニシタモノナドハドウナサル、若シ高野山ニ一萬圓位ノ山林ガアルト云フコトデガ、其一萬圓位ノ山林ヲ既ニ悉皆抵當ニシテアツタラドウナサル、之ヲ御尋シテ置キタイ

○福井三郎君 第一ノ御尋ノ高野山ノ坊サンが運動シテ居ルトカ、訴訟ニナツタトカ云フコトヲ承テ、私ハ唯今サウ云フコトモアツタカト云フコトヲ承知致シマシタ、ツレト是トハ沒交渉テ何等關係ハナイノデアリマス、斯ク申ス私モ各派提出者ノ一人ニ加ツテ居ルガ爲ニ、此説明ハ寧ロ金尾稜嚴君ノ專門デハナカラウカト思ツテ、其方ニ願ツタノデゴザイマシタレドモ御見エニナラズシテ、ツイ私が代ツテ説明ヲスルト云フ位ナ單純ナル關係、而シテ希望致シマスルコトハ私ハ實ニ斯クナケレバナラヌト確信ヲ致シテ居リマス、ツレカラモウ一ツ終リノ御尋ハ、質ニ置イタ例ガ既ニアルガツレハドウスルカト云フ御尋ノヤウデゴザイマシタガ、法律ハ何デモ承ハルト既往ニ遡ラズトカ申スコトデアリマス、過去ツタコトハ致方ゴザイマセヌガ、今後ハ斷シテ許サヌ積リデアリマス

○松田源治君 本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ願ヒマス

(贊成ト呼フ者アリ)

○議長(大岡育造君) 松田君カラ委員説が出マシタ、議長指名九名ノ委員ニ付託スルニ御異議ハゴザイマセヌカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(大岡育造君) 御異議ガナイト認メマス、依テ本案ハ九名ノ委員ニ付託致シマス、日程第二十一、災害地方田畑地租免除ニ關スル法律案、第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長森茂生君

第二十一

災害地方田畑地租免除ニ關スル法律案(森茂生君外六名提出)

第一讀會ノ續(委員長)

(森茂生君登壇)

○森茂生君 諸君本案ニ對シマシテ委員會ノ經過及ヒ結果ヲ御報告致シマス、委員會ニ於テハ政府委員ト數回應答質問ヲ致シタコトデアリマス、然ルニ政府委員ヨリハ地租ト云フモノハ年ノ豐凶ニ依テ免稅スルモノデナイト云フコト、風害ナルモノハ水害ヨリハ害ガ少ナイト云フノ理由デ反對ヲ致シテ居ルノデアリマス、然ルニ委員會ノ大多數ハ風害ト水害ト何等、災害ニ罹レテ皆無ト云フ場合ニハ水害デモ風害デモ差ガナイト云フコトデ、是等ニ對シテハ免租ノ處分ヲ行ツテヤツタ先例モ度々アルコトデアリカラ、本案ハ此理由ニ依ツテ可決スベキモノト認ムルト云フコトニ委員會ハ決定致シマシタカラ、此段御報道致シマス

(政府委員菅原通敬君登壇)

○政府委員(菅原通敬君) 本案ニ對シマシテ遺憾ナガラ御同意致シ兼ヘマスノ、簡單ニ其理由ヲ申上ゲテ、水害ノ場合ニ於テ免租致シマス云フコトハ、明治三十四年ノ法律テ免租法案ガ出來テ居ルノデアリマス、水害以外ノ災害ニ因ル場合ニ於テハ、明治三十八年ニ於テ地租ノ延納法ト云フモノガ出來テ居ルノデアリマス、ツマリ此場合ニ於テ申上ゲテ置キタイノハ、何故ニ水害ニ付テハ免租ヲスル、水害以外ノモノニ付テハ免租ヲセヌノデアリカト云フコトコロノコトガ常ニ皆サシノ問題ニナツテ居ルノデアリマス、其事ニ付テ一言申上ゲテ置カウト思フノデアリマスガ、明治三十八年ニ於テ水害以外ノ災害ニ因ル場合ニ於テハ、地租ノ免除方法ニ依ラズシテ、延納ノ方法ニ依テ救済ヲ與ヘルト云フコトガ最モ適當ナルモノデアルト云フ理由ヨリ、水害ニ付テハ既ニ免租法ノアルニモ拘ラズ水害以外ノ災害ニ付テハ、總テ延納ノ方法ニ依ルト云フ事ニナツテ居ルノデアリマス、是ハ多年實驗ノ結果茲ニ參リマシタノ深ク研究ノ末出來タモノデアリマス、爾來今日迄其方法ガ施行セラレテ來テ居ルノデアリマシテ、今改メテ之ヲ免租法ニ改メテ行カネバナラヌト云フ必要ヲ認ムルコトガ出來ヌノデアリマス、現ニ昨年ノ秋田山形兩縣ニ互レル稻熱病ニ對スル地租免除ノ法案ト同様ノ案ガ提出ニナツタノデアリマスガ、其際ニ種々御討議ノ結果當院ニ於テ否決セラレテ居ルノデアリマス、水害ニ付テハ種々沿革モアリ、又被害ノ程度ニモ依リ水害以外ノモノハ自カラ異ツテ居ルノデアリマス、故ニ兩様ノ法律ガ今日現行セラレテ居ルノデアリマス、本案ニ對シマシテハ從來ノ關係上、又地租ノ精神上ドウシテモ御同意ガ出來ヌノデアリマス、殊ニ本案ニ依リマスルト、昨年ノ被害地ニ對シテ免租ヲシヤウト云フ事ニナルノデアリマスカラ、被害現狀ノ全ク存セザル今日ニ於テ昨年ノ被害地ニ對シテ檢査ヲシテ處分ヲ致サナケレバナラヌト云フコトニナルノデアリマスカラ、是ハ實行上甚ダ困難ヲ感ズルノデアリマシテ、到底正確ナル公平ナル處分ヲ爲スコトハ出來ヌノデアリマス、旁、是等ノ理由ヲ以テ反對ヲ致シマス

○三輪市太郎君 チョット當席ヨリ簡單ニ政府委員ニ質問ヲ致シマス、本案ハ春田祐清君ノ提出サレマシタ電害地地租免除法案ノ如キ、總テモノガ包含シテ居ルモノト解釋サレラカ、如何デゴザイマセウ

(政府委員菅原通敬君登壇)

○政府委員(菅原通敬君) 唯今ノ御尋ハ災害又ハ天候不良ト云フ文字ノ中ニ電ノ害モ包含ムト解釋スルヤ否ヤト云フ御質問ト思ヒマス、災害又ハ天候不良ト云フ文字ハ、現行ノ地租延納法ノ中ニモ見エテ居ルノデアリマシテ、其方ノ解釋ト致シマシテハ、電ノ害モ包含スルト云フコトニ致シテ居リマス、隨ツテ唯今案ニナツテ居ルモノガ法律トナツテ施行セラレ、場合ニハ勿論其中ニ電ノ害モ包含ムモノトシテ取扱ツテ行ク積リデアリマス

○加瀬禮逸君 私ハ政府委員ニ……

○議長(大岡育造君) 贊成ナラバ通告ガアリマスガ

○加瀬禮逸君 政府委員ニ質問デアリマス、先刻ノ御意見デ質問ハセナイ積リデアリマシタガ、唯今ノ政府委員ノ答辯ハ甚ダ明瞭ヲ缺イテ居リマス爲ニ、私ハツレバ確メタイト思フ、政府委員ガ本案ニ反對セラレ、理由トシテハ、地租條例ノ根本義ニ關スル立案アル、地租條例ニ斧鉞ヲ加フルナラバ格別、此案ノ如ク獨立立法ヲ爲スノガイカス

ト云フノガ、第一ノ答辯ノ中ニ含マレテ居ル、併ナガラ地租條例二年ノ豐凶ニ依テ輕重ヲ置カスト云フコトハ原則アリマスガ、此原則ハ必ズシモ動カスコトガ出來ナイモノデハナイ、地租條例ニ對スル條例外ノ規定ヲ置クコトハ別ニ妨ハナイ、此本案ノミガ地租條例ニ對スル條例外ノ立法デハナイ、現ニ先刻引用サレマシタル延納ニ關スル法律、水害地租免除ニ關スル法律ナルモノハ、即チ此地租條例ノ根本義地租ヲ動カサスト云フ根本義ニ對シテ、條例外規定デハアリマセヌカ、然ラバ此水害ノ場合ニ於テ既ニ原則ニ對シテ條例外ノ規定ヲ置クモ可ナリトスレバ、ヤハリ此案ノ如ク他ノ災害ニ對シテモ地租條例ニ對スル條例外規定ヲ置クコトバ、別ニ妨ハアルマイト思フ、之ヲ何故ニ妨ニナルトスルノデアリマスカ、ソレヲ一ツ伺ヒタイ、ソレカラ一ツハ水害ト他ノ災害トニ付テ地租ノ免除ノ取扱ヲ異ニスル理由トシテ説明サレマシタモノハ何ニモナイ、先ヅ範圍ガ違フ、水害ノ場合ニ於ケル害ノ程度ハ其他ノ害ヨリモ大キイト云フコトガ一ツ、ソレカラ今一ツハ延納法ト云フモノガアルカラ、ソレデ別段差支ナイデハアルマイト、此二ツヲ以テ反對ノ理トセラレタノデアリマスガ、水害ノ場合ガ他ノ災害ノ場合ヨリモ被害ノ程度ノ多イト云フコトハ、即チ害ノ及ブ範圍ノ廣狹ノ問題デ、收穫皆無ノ場合ニ於テ是ガ地租ヲ免除スルト云フ法律上ノ根柢ヲ覆ヘス理由トハナラヌ、害ノ範圍ガ廣イカラ免除スル、害ノ範圍ガ狹イカラト云フノハ、害ノ及ブ區域ノ廣狹デアツテ、害其モノヲ受ケル程度ハ、即チ田畑ニ對シテ收穫ガ皆無ナリト云フ意味ニ於テ同一デナケレバナラヌト思ヒマスカラ、ソレハ甚ダ理由ニナルマイト思フ、ソレト今一ツハ延納法ガアルカラ宜イデハナイカト云フコトハ、延納法ハ改正スベカラザルモノデアルト斷定スルガ故ニ、其論ガ出ルノデアル、此提出者ノ趣意ハ延納法デハ往ケヌカラ、水害地ノ地租免除ト同様ニ延納ノミニ止メテ、地租ノ免除ヲシテ欲シト云フ立案デアル、其點ニ於テ延納法ガアルカラ妨ゲナイト云フノハ、甚ダ理由ガナイト思フ、私ハ重キ言フ、延納法ノ存在ヲ外ニシ害ノ及ブ範圍ノ廣狹論ヲ別ニシマシテ、田ノ水害ト其他ノ災害トニ於テ區別ヲ設ケナケレバナラヌ、取扱ヒヲ異ニシナケレバナラヌト云フ理由ガアルナラバ伺ヒタイノデアリマス

〔政府委員菅原通敬君登壇〕

○政府委員(菅原通敬君) 此問題ニ付キマシテハ既ニ度々政府ノ意見ハ申上ゲテ居ルノデアリマス、ソレヲ悉ク茲ニ繰返シテ申上ゲマスコトハ、甚ダ煩雜デアルト存ジマスルケレドモ、御問ニ對シテ御答セヌ譯ニモ參リマセヌ、故ニ御答致シマス、田畑ノ收穫ヲ調査致シマシテ數年ノ平均ヲ見テ、ソレニ依テ地價ナルモノヲ定メテ、ソレニ依テ地租ヲ取ルト云フコトニナリマシタ、今日ノ地租法ノ下ニ於キマシテハ收穫ノ多少ガ歲ニ依テアリマシテモ其多少ニ依テ地租ヲ増減スベキモノデナイト云フコトハ申上ゲルマデモナイト思フノデアリマス、是ガ則チ今日ノ地租法ノ原則デアルノデアリマス、否ラザレバ歲ノ收穫ノ多少ヲ見テ所謂従前ノ檢見方法ニ戻ッテ充分ノ作柄デアルガ故ニ十圓ノ課稅ヲスル、三分ノ作柄デアルガ故ニ三圓ノ課稅ヲスルト云フヤウナ、歲ノ豐凶ニ依テ地租ヲ増減スルコトニナラシメバナラヌノデアリマス、ソレハ地租條例ノ明文ニ於テ禁ジテ居ルノデアリマス、歲ノ豐凶ニ依テ地租ヲ増減セスト云フコトハ、既ニ御承知、通りデアリマス、然ルニ收穫ガ皆無ト云フコトハ何デアルカ、收穫ノ皆無ト云フコトハ收穫ノ減少ノ結果ソコニ

至ルノデアリマス、而モ今日ノ取扱ノ上ニ於テ、全クノ皆無ノ場合ノミヲ免除スル譯ニハ往キマセヌ、或ハ延納スル譯ニハ往キマセヌ、詰リ一分ナリ二分ナリノ作ノアル場合ニ於テモ、之ヲ收穫皆無ナリト見テ取扱フト云フコトデナケレバ、時局ハ納マラヌノデアリマス、即チ此事ハ何デアルカト云フト、收穫ノ減少シタル場合ニ於テ地租ヲ減ズル、或ハ免除スルト云フコトニナルノデアリマス、是ハ地租法ノ原則ノ上ニ於テ其根本義ニ於テ許サヌコトデアルト云フノガソレデアリマス(加瀬禮逸君「分ラヌチットモ要領ヲ得ナイ條例外ノ規定ヲ設ケルコトハナセ出來ヌカ」ト呼フ)ソレガアナタノ第三段ノ御問デアリマスカラ御答シヤウト思フ、地租條例ノ本義ガ其處ニアル以上ハ、地租條例ノ根本義ニ對シテ或ル斧鉞ヲ加ヘル、アナタノ言葉ニ依ルト斧鉞ヲ加ヘテ條例外ノ規定ヲ設ケルコトガ出來ルコトニナッテ居ラナケレバナラナイ、今日ノ地租法ノ徵收方法ナルモノハ歲ノ豐凶ニ依テ地租ヲ増減セスト云フコトニ依ッテ出來テ居ルノデアリマス、ソレデアリマス故ニ、ソレニ對スル條例外ヲ設ケルト云フコトデアラナラバ、地租條例ノ方ニ其精神ヲ入レナケレバナラナイノデアリマス、地租條例ノ根本ニ於テ何等改ムルコトナクシテ、ソレニ對スル條例外ノ規定ニ依テ、或場合ニ於テ地租ヲ免除シヤウト云フコトノ規定ヲ設ケルガ故ニ、地租條例ノ精神ニ反スルト云フコトヲ申スノデアリマス、ソレカラ水害地ニ對シテ特例ヲ設ケテ居ルノハ云々ト云フ御尋デアリマシタガ、ソレハ何時モ申上ゲル通りデアリマス、是ハ全ク沿革上ノ理由ニ基キテ居ルノデアリマス、ソレデ政府ト致シマシテハ豫テ御承知ノ通り、此廢止案ヲ既ニ提出シタコトモアリマス、水害ノ場合ニ於テ免租ヲシテ居ルノデアルカラ、水害以外ノ場合ニ於テモ必ズ免租ヲシナケレバナラヌト云フ理由ハナイノデアリマス、加之、先程御話シノアリマシタ通り、水害ノ場合ト水害以外ノ場合トニ於キマシテハ、被害ノ程度區域ト云フモノガ違フノデアル、成程一地一筆ト云フモノニ就テ見マスレバ、其損害ヲ受ケタ人カラ見タナラバ同ジデアリマセウ、併ナガラ法律ヲ設ケテ地租ノ免除ヲスルト云フ特典ヲ與ヘルヤ否ヤト云フコトニナリマスルト、被害ノ程度ノ區域ト云フモノハ大ニ考慮シナケレバナラナイノデアリマス、ソレカラ第三段ニ既ニ延納法ガアル、延納法ガアル以上、ソレヲ改メズシテ免租法ヲ設ケルト云フコトハ宜シクナイト云フコトヲ申シタニ付テ御説ガアリマシタガ、延納法ナルモノハ水害以外ノ災害ノ場合ニ於テ延納法ニ依ルト云フ原則ヲ定メテ、ソレニ法律ガ現行シテ居ル以上ハ、ナゼソレヲ廢セズシテ或ハソレヲ改メズシテ、サウシテ特例ヲ設ケルト云フコトヲナサルカ、大體ノ災害ノ場合ニ於ケル救済方法ト云フモノハ免除ノ方法ニ依ルト云フコトハ弊害ノ多イモノデアリマス、延納ノ方法ニ依ルト云フコトガ最も適當ナルモノデアルトシテ、今日ソレガ認メラレテ法律ガ出來テ居ル以上、其法律ヲ改メズシテ茲ニ免除法ヲ作ルト云フコトハ矛盾デハナイカ、斯ウ云フコトヲ申スノデアリマス

〔加瀬禮逸君「分リマセヌカラモウ問ヒマセヌ要領ヲ得ナイ是ニ對スル答辯ニナラヌ」ト呼フ〕

○三輪市太郎君 議長

○議長(大岡育造君) 反對デスカ賛成デスカ

○三輪市太郎君 本案ニ對スル賛成意見デアリマス

○議長(大岡育造君) ツレナラ先キニ通告ガアリマス——伊東知也君

(伊東知也君登壇)

○伊東知也君 私ハ本案ニ對シテ簡單ニ賛成ノ意思ヲ表明シヤウト思ヒマス、細カナ
理窟ハ今早速君ト(笑聲起リ)早速君デヤナイト呼フ者アリ)政府委員トノ間ニ論究
サレテ私共ノヤウナ鈍イ頭デモ早速君ノ理窟ガ正シイト云フコトハ(加瀬君ダヨト呼フ
者アリ)加瀬君デスカ訂正シマス、分ルノデスカラスノ如キ問題ハ最早討論ヲスル必要ハ
ナイト思フ、唯私ガ之ニ賛成スル理由ニ付テ一言申シ述べたいと思フデアリマス、二十
八議會ニ當ッテ秋田山形地方ハ非常ナル稻熱病、殆ド收穫ハ皆無ト云ツテモ宜シイ地
方ガ甚ダ多カッタデアリマス、又東京府ニ於テモ電害ノ爲メニ非常ナル收穫ヲ減ゼラレ
タデアリ、其際ニ當ッテ其免租ノ請願ヲ出シタノデゴザイマス、所ガ分科會ニ於テハ贊
成ヲ得マシタガ、所謂採擇サレマシタガ豫算總會ニ於テ(笑聲起リ)委員總會ニ於テ不
採擇ニ決セラレタ、此ニ於テカ致シ方ガアリマセヌカラ、當時衆議院議員加藤正英君、
齋藤宇一郎君ノ兩君カラシテ本案ヲ今日此處ニ出テ居リマストコロノ本案ト殆ド同
ナルトコロノ法律案ヲ提出サレタデアリ、然ルニ斯ノ如キ自明ノ理、國民ノ代表者トシテ
ハ斯ノ如キ國民ノ災害ニ對シテ救済方法ヲ講ズルノハ言フ俟タズシテ決スベキ問題ヲ、政
友會ノ諸君ハ其提出者ガ政友會員デアラザラメデアリカト私ノ想像サレル事由ノ下ニ
否決サレタデアリ(「事情ガ違フ」ト呼フ者アリ)併ナガラ諸君、私ハ今日國民黨ノ一
人デアリガ、今日此席ニ政友會ノ諸君ガ提出サレタ此案ト云フモノハ、國民ノ代表者
トシテ當然御贊成シナクチャナラヌ義務ヲ有スルモノデアリト信ジマシテ、唯一言政友會
諸君ノ御提出ニ拘ラズ私ハ國民黨ノ一人トシテ此案ニ賛成ノ意ヲ表シタイト思ヒマ
ス(拍手起ル)

○松田源治君 討論終決ノ動議ヲ提出致シマス

(「贊成」ノ聲起リ發言ヲ求ムル者アリ)

○議長(大岡育造君) 討論終決ノ動議ニ同意ガアリマス故ニ、此動議ヲ決シタル上
ニ於テ他ノ發言ヲ許シマス、討論終結ノ動議ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

起立者 多數

○議長(大岡育造君) 多數、依ッテ討論ハ終決致シマシタ

○松田源治君 直チニ二讀會ヲ開キ二讀會ヲ省略シテ委員長報告通リ可決確定ア
ランコトヲ望ミマス

(「異議ナシ」贊成「贊成」ノ聲交、起ル)

○議長(大岡育造君) 是ニハ別ニ修正案ガ出テ居リマスカラ先ヅ二讀會ヲ開クト云
フ事ダケ決シタイノデ、二讀會ヲ開クニ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ二讀會ヲ開クトニナリマシタ、松田君ノ發
議ニハ直チニ二讀會ヲ開キマシタカラ其意味モ加ハッテ居ルト云フコトニ了解シテ宜カラ
ウト思ヒマス、齋藤宇一郎君(拍手起ル)

災害地方田畑地租免除ニ關スル法律案

(齋藤宇一郎君登壇)

○齋藤宇一郎君 本員ハ此案ニハ其ノ性質ニ於テ賛成ヲシテ居ル一人デアリマス、併
ナガラ斯ノ如キ法律ヲ制定スルナラバ、同ジ被害ニ苦シテ居ルモノ、總テノモノヲ此恩惠ニ
均霑スルヤウニシナケレバナラヌト云フ考ヲ持チマシテ、ウシテ第一條「明治四十四年」
ト云フ六字ヲ加ヘテ即チ唯今伊東君カラ述べラレタ四十四年ニ於ケル秋田山形ノ稻熱
病ノ大被害、是ニ加フルニ東京府下及埼玉縣ニ於ケル電害ノ被害、此皆無地ニ關シ
此法律ヲ適用シタイ、斯ウ云フノガ私ノ考デアリマシテ修正案ヲ出シタデアリマス、ドウカ
折角斯ノ如キ法律ヲ設ケテ農民ニ恩安ヲ與ヘ、農業ノ開發ヲ倍、確實ナラシムルト云フ
趣旨カラ提出サレタモノト考ヘマスカラシテ、此修正案ニ御贊成下スツテ、此恩典ノ廣
行ハレルヤウニ希望スルモノデアリマス、尙私ハ此案ヲ確實ニ贊成スル上カラ、唯今政
府委員ノ述べラレマシタ點ニ付テ二三反駁ヲ加ヘテ此案ノ確實ニ成立スルコトヲ望ム
デアリマス(「モウ宜イ」ト呼フ者アリ)修正案ノ全文ハ即チ「第一條明治四十四年明治
四十五年大正元年中災害又ハ天候不良ニ因リ府縣又ハ北海道ノ全部若ハ一部ニ
互リ收穫皆無ニ歸シタル田畑ノ地租ハ其ノ年度ニ限リ之ヲ免除ス」即チ明治四十四
年ト云フ六字ヲ挿入スルデアリマス(「簡單」分リマシタ)ト呼フ者アリ)別ニ此政府ノ
反對說ニハ反駁ヲ加フルノ必要ナシト認メラレテ、此修正案ニ同意シテ下サルナラバ私ハ
敢テ多言ヲ要シマセヌ

○松田源治君 齋藤君ノ案ハ四十四年ト云フコトヲ入レルト云フコトデゴザリマスルケ
レドモ、政府委員ノ說明ニ依リマシテ、四十四年度ノ検査ガムツカシイト云フコトデゴザ
リマスカラ、此四十四年ヲ入レルト云フコトハ不當ナル修正ト認メマスカラ、否決アラン
コトヲ希望致シマス

(「反對」ト呼フ者アリ)

○議長(大岡育造君) 先ヅ修正ヨリ決ヲ採ラウト思ヒマス、定規ノ贊成ヲ以テ提出
ニナッテ居リマス

○齋藤宇一郎君 唯今松田君カラ修正案否決ノ動議ガ出マシタ以上ハ、私ハ多少
辯シナケレバナラヌデアリマス、唯今松田君ガ述べラレマシタコロニ據レバ、政府委員
ガ調査ガ出來ヌト云フカラ反對デアリ、斯ウ私ハ聽取ツタデアリマスガ、茲ニ書イテアリ
マスル通ニ「明治三十六年法律第三號ニ依リ地租延納ヲ出願シタル者ハ本法ニ依ル、
地租免除ノ出願ヲ爲シタル者ト看做ス」斯ウ書イテアルノデゴザイマス、四十五年ノ災
害ニ於テモ此免除法ニ依ッテ許可ニナツタモノヲ捉ヘテ處分スルヨリ外方法ガナイノデ
アリマス、此處分ニ依ッテ明治四十四年度ノ災害ニ於テモ既ニ免除ニナツテ居ルモノ
延納ニナツテ居ルモノガアルデアリマスカラ、ソレヲ捉ヘテ即チ免除ノ條項ニ當嵌メルトス
レバ、調査ハ少シモ面ダナイ、却テ四十五年度ヨリ確定シテ居ルモノデアリマスカラ難
作ハナイ、故ニソレハ少シモ理由ニナラヌデアリマスカラ、ドウシテモ是ハ修正ニ依ッテ恩
典ヲ均霑スルコトニ爲サラヌト、政友會ノ面目ニモ係ハラウト思フ

○議長(大岡育造君) 免ニ角決ヲ採ルコトニ致シマス、先ヅ修正ヨリ決ヲ採リマス、
齋藤君ノ修正ニ同意ノ諸君起立ヲ求メマス

起立者 少數

○議長(大岡育造君) 少數(政友會ハ不公平ナリト呼フ者アリ)アトハ各條ニ互ラズニ、修正ガアリマセヌカラ全部議題ニ供シテ決ヲ採リタイト思ヒマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(大岡育造君) 御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(大岡育造君) 各條ニ御異議ガアリマセヌカラ二讀會ハ可決シタルコトニ宣告シマス

○松田源治君 直チニ二讀會ヲ開キ二讀會ニ於テ決定シタル通り可決確定セラレンコトヲ望ミマス

○議長(大岡育造君) 直チニ二讀會ヲ開キ二讀會ニ於テ可決シタル通りニ決定スルコトニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

災害地方田地租免除ニ關スル法律案

第二讀會

○議長(大岡育造君) 御異議ハナイト認メマス、依ッテ本案ハ可決確定シマシタコトヲ宣告致シマス、日程第二十二、三輪市太郎君

第二十二

降雹被害地租免除ニ關スル法律案(春田祐清君外二名提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

〔撤回ト呼フ者アリ〕

○議長(大岡育造君) 理由ヲ明カニセラル、ノデセウ

○三輪市太郎君 議席デ宜シイカ

○議長(大岡育造君) 議席デモ宜シイ

○三輪市太郎君 委員會ノ經過ヲ報告致シマス、八日ニ委員會ヲ開キマシテ委員長理事ノ選舉ヲ終リ、引續イテ審議ヲ致シマシタ、幸ニ委員全部御出席デゴザイマシテ、本員ガ提出者ノ一人トシテ説明ヲ致シテ置キマシタ事實ハヤハリ調査ノ結果認メラレテ、尙ホ其地方ハ雹害後ニ農民ガ非常ニ落膽シテ居ル折柄デ、種々ナ後援法ヲ開キマシテ、漸クニ夏作ガ出來マシテ一時ソレデ安堵ヲ致シマシタコトガ、又々暴風ノタメニ災害ヲ被ッテ全ク皆無トナッタト云フ事實ハ、滿場ノ委員諸君ガ認メラレテ、滿場一致ヲ以テ本案ヲ可決致サレタ、然ルニ提出者ノ春田君其他ヨリ、私モ提出者ノ一人デアリマスルガ、此(「簡單」ト呼フ者アリ)災害地ノ免除法案ガ唯一ノ通過ヲ致シ政府委員ノ答辯モ之ヲ現行ト見ル場合ハ包含スルコト云フノ御説明ガアリマシタメニ、重複ノ嫌ヒガアルカラシテ却テ本案ハ撤回シタガ宜イト云フノ意見ヲ相談ヲ受ケマシタ、依テ同意ヲ得タル委員諸君ノ御同情ノ段ヲ厚ク謝シテ、爰ニ撤回ノ同意ヲ求ムル次第アリマス

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(大岡育造君) 撤回ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ本案ハ撤回ニ決シマシタ、日程第二十三、刑法施行法中改正法律案 第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長東武君

第二十三 刑法施行法中改正法律案(高木益太郎君提出)

〔東武君登壇〕

○東武君 此案ハ極メテ簡單ナル案デアリマス、上告裁判所ニ刑ノ執行猶豫ノ言渡ヲ爲スコトガ出來ルト云フコトヲ、刑法第五十五條第二項ノ次ニ一項ヲ加ヘルト云フダケノコトデアリマス、是ハ上訴裁判所ニ執行猶豫ノ此言渡シガ出來ナイ、破棄ノ場合ニハ從來ヤッテ居リマスケレドモ、棄却ノ場合ニハ執行猶豫ノ言渡ガ出來ヌト云フコトニ解釋ヲシテ居ルノハ、刑法五十五條ノ所謂施行ノ精神ニ背キ、人權尊重ノ上カラ申シテモ、刑事政策ノ上カラ申シマシテモ極メテ必要ナコトアルト云フコトデ、委員會ハ全會一致ニ可決シマシタ、尙是ハ昨年ノ議會ニモ本會ニ於テ全會一致ヲ以テ可決致シタトコロノ案デゴザイスカラシテ、諸君ニ於テモ速ニ御贊成アラムコトヲ希望致シマス

〔拍手スル者アリ〕

○松田源治君 本案ハ直ニ二讀會ヲ開キ三讀會ヲ省略シテ、委員長報告通り可決確定セラレムコトヲ望ミマス

〔贊成ト呼フ者アリ〕

○議長(大岡育造君) 松田君ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ直ニ二讀會ヲ開キ三讀會ヲ省略シテ可決確定ノ手續ヲ執リマス

刑法施行法中改正法律案 第二讀會(確定讀)

○議長(大岡育造君) 御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(大岡育造君) 御異議ガナイト認メマス依テ本案ハ可決確定致シマシタ、日程第二十四、新瀨築港速成ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、委員長若杉喜三郎君

第二十四 新瀨築港速成ニ關スル建議案(若杉喜三郎君外四名提出)

〔若杉喜三郎君登壇〕

○若杉喜三郎君 委員會ノ經過ヲ御報告申上ゲマス、委員會ニテハ委員諸君ヨリ詳細ナル質問ヲ發セラレマシタ、政府委員モ之ニ對シテ懇切ナル答辯ヲ與ヘラレマシタ、而シテ其内容チヨット摘シテ申上ゲマスレバ、港灣調査會ニ於キマシテ全國ヲ通シテ約七百箇所ノ港灣ヲ調査致シマシタ、其中全部國庫ヲ設備スベキ港、即チ所謂國港トモ稱スベキモノガ二箇所アリマス、其他地方ガ主トナッテ港灣ヲ設備シタ場合ニハ、政府ハ之ニ補助ヲ與フベキモノニシテ、所謂地方港ト稱スベキモノガ十四箇所アルノデス、而

シテ新潟港ハ即チ其一ツニ編入セラレテアル、最モ大河津分水工事ガ竣工シナケレバ何ヲ爲スモ成績ヲ見ルコトガ出來セヌカラ、河口改修工事ノ中ニ多少築港ニ便宜ヲ與フルト云フヤウナ意味ヲ含蓄シテアルノデアリマス、併ナガラ未ダ具體的ノ設計ハシテ居ラヌト云フコトデアリマス、故ニ大河津分水工事ノ竣ル日ヲ俟ツテ更ニ方法ヲ講ズルヨリ外ハナイト言フテ居ラレル、右ノ如キ政府ノ意見モ新潟築港ノ必要ヲ認メテ居リマス、大河津分水工事ト共ニ河口改修工事ヲスルト云フコトヲ明言セラレテ居リマスカラ、委員會ハ滿場一致ヲ以テ本案ヲ可決致シマシタ、此段御報告申上ゲテ置キマス、同時ニ提出者ノ一人トシテ何卒此案ヲ御賛成ヲ希望致シマス

○松田源治君 本建議案ハ委員長報告通り確定セラレムコトヲ望ミマス

(「贊成」ト呼フ者アリ)

○議長(大岡育造君) 本建議案ハ確定可決スルニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ可決確定シタルコトヲ宣告致シマス——是ヨリ御報告ヲ致シマス

(書記朗讀)

一政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

明治四十五年度歳入歳出總豫算追加案(第一號)

明治四十五年度各特別會計歳入歳出豫算追加案(特第一號)

愛知縣下郡廢置法律案

癩兵院法中改正法律案

一議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

國有土地森林原野下戻法中改正法律案

提出者 岡田 泰藏君 高野 金重君

朝鮮總督府裁判令改正ニ關スル建議案

提出者 岡田 榮君

陸軍幼年學校廢止ニ關スル建議案

提出者 石 黒 磐君 吉原 祐太郎君 早川 六三郎君

○議長(大岡育造君) 次回ノ日程ハ公報ヲ以テ御通知申シマス、本日ハ是ニテ散會
午後五時三十九分散會

衆議院議事速記録第七號正誤

頁	誤	正	頁	誤	正
六六	飯野村	飯能村	三四	第四段ニ貫キ其右方ノ中央ニ	
六九	丹北村	丹比村	三八	「盛岡」ノ二字ヲ加フ	
七五	西向町	西向村	七八	上	一八 百五十方圓位 十五方圓位
	裁判所管轄區域表中			衆議院議事速記録第九號記名投票ノ結果報告中	
	第三段ノ中央ニ「宮城」ノ二字ヲ			加ヘ第五段ノ一關秋田間ノ縱線	
				三七八三三 一五八一三六 一八二八一七ノ誤	